

オペレーション マニュアル

# KOMPLETE KONTROL S-SERIES



NATIVE INSTRUMENTS

THE FUTURE OF SOUND

---

この説明書に含まれる情報は、予期せぬ変更を含み、Native Instruments GmbH の側で責任を代理するものではありません。この説明書によって記述されるソフトウェアはライセンス同意を必要とし、他の媒介に複製してはなりません。Native Instruments GmbH が事前に書面で許可しない限り、どのような目的においても、この出版物のいかなる部分も複製、複写、またはその他の方法での伝達や記録することは許されません。全ての製品・会社名は各所持者の登録商標です。加えて、これを読む人は、このソフトを正規に購買したものであるとします。お客様のおかげで私達はより良いツールを製作していくことが可能になるので、ここに謝辞を惜しむものではありません。

“Native Instruments”, “NI” and associated logos are (registered) trademarks of Native Instruments GmbH.

Ableton is a trademark of Ableton AG.

VST, HALion, Cubase, and Nuendo are registered trademarks of Steinberg Media Technologies GmbH. ASIO is a trademark and software of Steinberg Media Technologies GmbH.

Mac, macOS, GarageBand, Logic, iTunes and iPod are registered trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

Windows, Windows Vista and DirectSound are registered trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

All other trademarks are the property of their respective owners and use of them does not imply any affiliation with or endorsement by them.

著作・校正: Jan Ola Korte, Christian Schulz, Nicolas Sidi, Gustav Sto. Tomas, David Gover

マニュアル翻訳: Akira Inagawa

ソフトウェアバージョン: 2.0.5 (10/2018)

ソフトウェアバージョン: KOMPLETE KONTROL S-Series MK1

製品の向上とバグ報告に関ったベータテスト参加者に特別な感謝をささげます。

---

**NATIVE INSTRUMENTS GmbH**  
Schlesische Str. 29-30  
D-10997 Berlin  
Germany  
[www.native-instruments.de](http://www.native-instruments.de)

**NATIVE INSTRUMENTS North America, Inc.**  
6725 Sunset Boulevard  
5th Floor  
Los Angeles, CA 90028  
USA  
[www.native-instruments.com](http://www.native-instruments.com)

**NATIVE INSTRUMENTS K.K.**  
YO Building 3F  
Jingumae 6-7-15, Shibuya-ku,  
Tokyo 150-0001  
Japan  
[www.native-instruments.co.jp](http://www.native-instruments.co.jp)

**NATIVE INSTRUMENTS UK Limited**  
18 Phipp Street  
London EC2A 4NU  
UK  
[www.native-instruments.co.uk](http://www.native-instruments.co.uk)

**NATIVE INSTRUMENTS FRANCE**  
**SARL**  
113 Rue Saint-Maur  
75011 Paris  
France  
[www.native-instruments.com](http://www.native-instruments.com)

**SHENZHEN NATIVE INSTRUMENTS COMPANY**  
**Limited**  
203B & 201B, Nanshan E-Commerce Base Of Innovative  
Services  
Shi Yun Road, Shekou, Nanshan, Shenzhen  
China  
[www.native-instruments.com](http://www.native-instruments.com)



© Native Instruments GmbH, 2018. 無断複写・転載を禁じます。

# 目次

<b>1 KOMPLETE KONTROL へようこそ</b>	<b>11</b>
1.1 マニュアル特定表記について	11
1.2 梱包内容	12
1.3 動作環境	13
1.4 ユーザー補助機能 (Accessibility)	13
1.4.1 キーボード概観	13
1.4.2 ユーザー補助機能 (Accessibility) の起動	14
1.4.3 トレーニングモード (Training Mode)	15
1.4.4 機能概要とキーボードショートカット	15
<b>2 KOMPLETE KONTROL ワークフロー</b>	<b>18</b>
<b>3 KOMPLETE KONTROL の設定</b>	<b>20</b>
3.1 キーボードをコンピューターに接続する	20
3.2 スタンドアロンアプリケーションの設定	21
3.3 ホスト連携用設定	23
3.4 キーボードに各ペダルを接続する	24
3.5 キーボードに外部 MIDI 機器を接続する	26
<b>4 ソフトウェア概要</b>	<b>27</b>
4.1 ヘッダ	28
4.2 ブラウザ	29
4.2.1 Library ペイン	29
4.2.2 製品選択	31
4.2.3 Files ペイン	33

---

4.2.4	キーボードのブラウザ .....	35
4.3	パフォームパネル .....	36
4.4	プラグインパネル .....	37
4.5	プラグインチェーンパネル .....	38
4.6	プラグインエリア .....	39
<b>5</b>	<b>キーボード概観 .....</b>	<b>40</b>
5.1	トランスポートセクション .....	41
5.2	Perform セクション .....	42
5.3	コントロールセクション .....	43
5.4	NAVIGATE セクション .....	44
5.5	キーベッドと Light Guide .....	46
5.6	Touch Strips .....	46
5.7	トランスポーズボタン .....	47
<b>6</b>	<b>グローバル (Global) コントロールと環境設定 (Preferences) .....</b>	<b>48</b>
6.1	インstrumentビュー (Instrument Views) .....	48
6.1.1	Default View .....	49
6.1.2	Additional View .....	49
6.1.3	Edit View .....	51
6.2	インスタンスの切り替え .....	52
6.3	トランスポートとテンポ .....	53
6.3.1	クロックのリセット .....	54
6.3.2	テンポの調節 .....	54
6.4	マスター音量の調整 .....	55

---

6.5	環境設定 (Preferences) .....	55
6.5.1	Preferences – Audio ページ .....	56
6.5.2	Preferences – MIDI ページ .....	58
6.5.3	Preferences – General ページ .....	60
6.5.4	Preferences – Library ページ .....	61
6.5.5	Preferences – Plug-ins ページ .....	65
6.5.6	Preferences – Hardware ページ .....	69
6.6	デフォルトの状態でプラグインをロードする .....	70
<b>7</b>	<b>MIDI コミュニケーション .....</b>	<b>73</b>
7.1	ホストオートメーション .....	74
7.1.1	オートメーションの録音 .....	74
7.1.2	Perform Panel 用オートメーション ID .....	74
7.2	MIDI モードでキーボードモードを使用する .....	75
7.3	スタンドアロン MIDI コントローラーとしてキーボードを使用する .....	76
<b>8</b>	<b>ホスト連携 .....</b>	<b>78</b>
8.1	MASCHINE との使用 .....	78
8.2	Apple Logic Pro X と GarageBand との連携 .....	81
8.3	Ableton Link との連携 .....	82
8.4	Steinberg Cubase/Nuendo サポート .....	83
<b>9</b>	<b>ライブラリのブラウズ .....</b>	<b>85</b>
9.1	ブラウザの基本 .....	85
9.1.1	Product Types: Instrument と Effect .....	86
9.1.2	ブラウズモード .....	86

---

9.1.3	ライブラリとメタインフォメーションについて .....	87
9.1.4	ライブラリの閲覧とハードディスクの閲覧 .....	88
9.2	ブラウザを開く .....	89
9.3	プリセットファイルのロード .....	89
9.4	ファクトリーコンテンツ、ユーザーコンテンツの選択 .....	90
9.5	プロダクトによるプリセットファイルの絞り込み検索 .....	91
9.6	バンクによるプリセットファイルのプロダクトの絞り込み検索 .....	95
9.7	プロダクトセレクションのリセット .....	97
9.8	Types と Modes タグフィルター .....	98
9.8.1	Types と Modes でプリセットファイルを絞り込む .....	100
9.8.2	同じレベルで複数のタグを選択する .....	103
9.9	お気に入りの活用 (Favorites) .....	103
9.9.1	Favorites にプリセットファイルを追加する .....	104
9.9.2	リザルトリストでお気に入りを表示する .....	105
9.9.3	Favorites からプリセットファイルを削除する .....	107
9.10	テキスト検索の方法 .....	108
9.11	プリセットファイル情報の表示 .....	108
9.12	プリセットファイルのオーディション (Prehear) .....	109
9.13	オンスクリーンオーバーレイによるブラウズ .....	110
<b>10</b>	<b>エフェクトの使用方法 .....</b>	<b>113</b>
10.1	プラグインチェーンパネルを開く .....	113
10.2	エフェクトの追加 .....	114
10.3	プラグインスロットの選択 .....	118

---

---

10.4	エフェクトの配置を変える .....	118
10.5	プラグインチェーンのスクロール .....	119
10.6	エフェクトのバイパス .....	119
10.7	エフェクトの削除 .....	120
<b>11</b>	<b>ライブラリの管理 .....</b>	<b>122</b>
11.1	ユーザー ライブラリにプリセットファイルを保存する .....	122
11.2	ユーザー ライブラリからプリセットファイルを削除する .....	124
11.3	ユーザー プリセットファイルのタグとプロパティーを編集する .....	125
11.4	Files ペインの使用 .....	128
11.4.1	Files ペインのリザルトリストの追加機能 .....	129
11.4.2	ロケーションバーでファイルロケーションをナビゲートする .....	130
11.4.3	最近使ったファイルがある場所への移動 .....	131
11.4.4	ファイル場所をお気に入りにする .....	131
11.5	VST プラグインのロード .....	132
11.6	NKS インストゥルメントのインストール .....	133
11.7	KOMPLETE KONTROL 対応ユーザーファイルをインポートする .....	136
<b>12</b>	<b>インストゥルメントとエフェクトパラメーターの操作 .....</b>	<b>138</b>
12.1	事前にマッピングが施されたインストゥルメント/エフェクトについて .....	138
12.2	パラメーターの調節 .....	138
12.3	パラメーターページの切り替え .....	138
12.4	プラグインパネルを用いたパラメーターマッピングのカスタマイズ .....	139
<b>13</b>	<b>Smart Play - スケールとコード演奏と編集 .....</b>	<b>142</b>
13.1	音楽理論について .....	142

---

---

13.2	スケールエンジンを起動する .....	143
13.3	演奏するスケールの選択 .....	144
13.4	コードの演奏 .....	145
13.5	スケールとコードの編集 .....	146
13.6	SCALE パラメーターの設定 .....	147
13.6.1	SCALE ルートノート .....	147
13.6.2	SCALE バンクとタイプ .....	147
13.7	KEY MODE パラメーターの設定 .....	154
13.8	CHORD パラメーターの設定 .....	156
13.8.1	CHORD モード .....	156
13.8.2	CHORD タイプ .....	158
13.8.3	CHORD ポジション .....	160
<b>14</b>	<b>Smart Play – アルペジオ演奏と編集 .....</b>	<b>162</b>
14.1	Arpeggiator (アルペジエーター) の演奏 .....	163
14.2	サステインペダルでアルペジエーターをコントロールする .....	163
14.3	アルペジエーターの編集 .....	164
14.4	MAIN パラメーター .....	165
14.4.1	MAIN モード .....	165
14.4.2	MAIN タイプ .....	165
14.5	RHYTHM パラメーター .....	166
14.5.1	RHYTHM Rate .....	166
14.5.2	RHYTHM Sequence .....	167
14.5.3	RHYTHM Swing .....	168

---

14.6 OTHER パラメーター .....	168
14.6.1 OTHER Octaves .....	169
14.6.2 OTHER Dynamic .....	169
14.6.3 OTHER Gate .....	169
14.7 ADVANCED パラメーター .....	170
14.7.1 ADVANCED Retrigger .....	170
14.7.2 ADVANCED Repeat .....	171
14.7.3 ADVANCED Offset .....	171
14.7.4 ADVANCED Inversion .....	171
14.8 RANGE パラメーター .....	172
14.8.1 RANGE Min. Key .....	172
14.8.2 RANGE Max. Key .....	172
14.9 HOLD パラメーター .....	173
<b>15 Touch Strips (タッチストリップ) の設定 .....</b>	<b>174</b>
15.1 Touch Strip 設定項目へのアクセス .....	174
15.2 Pitch Strip (ピッチストリップ) の設定 .....	176
15.2.1 アブソルートモードの調節 .....	176
15.2.2 リレティブモードの起動 .....	177
15.3 Modulation Strip (モジュレーションストリップ) の設定 .....	178
15.3.1 Modulation Strip モード .....	179
15.3.2 Modulation Strip モードの選択と編集 .....	181
<b>索引 .....</b>	<b>183</b>

# 1 KOMPLETE KONTROL へようこそ

KOMPLETE KONTROL をお選びいただき、ありがとうございます。

KOMPLETE KONTROL ソフトウェアとその専用キーボードである KOMPLETE KONTROL S-SERIES は音楽制作/パフォーマンスシステムで、これらは密接に連動、KOMPLETE と Native Kontrol Standard (NKS) サウンドすべてを制御するワークフローの中核となります。

KOMPLETE KONTROL は数あるホストとの高度な連動性を実現、Native Instruments と各パートナーが提供するインストゥルメントや NKS を完全制御します。キーボードでは直感的にインストゥルメントエフェクトをブラウズすることができ、KOMPLETE KONTROL 独自のスケールエンジンとアルペジエーターで創造性豊かな演奏を行うことができます。

この製品を存分に楽しんでいただけることを願います。

NATIVE INSTRUMENTS チームより

## 1.1 マニュアル特定表記について

本資料では、特定表記専用フォントを使用して特記事項や、危険事項について解説しています。以下の各アイコンで、特記事項内容を区別しています。



スピーチバブルアイコンはヒントや、効率よく作業を進めるためのヘルプを表示します。



感嘆符（！）は内容の本質となる重要な情報を示します。



赤い十字のアイコンは特に注意しなければならない問題や危険事項について表記しています。

更に、以下の書式を使用する場合があります。

- ソフトウェアで表示される内容 (*Open…*、*Save as…* 等) 及び、ハードディスク、またはその他の記録媒体のパスはイタリックで表示されます。
- ソフトウェアのその他の場所で表示されるテキスト (ボタン、コントロール部、チェックボックス脇のテキスト等) は青色で表示されます。この書体が使用されている場合、同じテキストをスクリーン上で確認できるはずです。

- コントローラー画面表示内容は薄い灰色で明記しています。この書体が使用されている場合、同じテキストをコントローラー画面上で確認できるはずです。
  - ハードウェアコントローラーに関する表示内容はオレンジで明記しています。この書体が使用されている場合、同じテキストをコントローラー上で確認できるはずです。
  - 重要な名称とコンセプトは **ボールド体で表示** しています。
  - コンピュータのキーボード上で操作する場合はそれらのキーワードを括弧で示します (例、[Shift] + [Enter] )。
- ▶ インストラクションの始めには、それぞれ再生ボタンのような矢印マークが添えています。
- 操作の結果を示す場合、小さな矢印が添えられます。

## 資料内での各呼称について

本資料ではハードウェアコントローラーを **KOMPLETE KONTROL キーボード**、(または**キーボード**) と呼び、コンピューターにインストールしたソフトウェアのことは **KOMPLETE KONTROL ソフトウェア** と呼びます。

## キーボードの無記載のボタンについて

KOMPLETE KONTROL キーボードのディスプレイ上下にあるボタンとノブには機能の記載がありません。これらはこの資料に頻出するのでその表記法を記載しておきます。これらの部分は、ディスプレイの上のボタンの場合はボタン 1 からボタン 8、ディスプレイ下のノブはノブ 1 からノブ 8 と表記します。

## 1.2 梱包内容

梱包内容は以下となります。

- **KOMPLETE KONTROL キーボード**
- **USB ケーブル**
- 以下の内容が記載されたフライヤー
  - KOMPLETE KONTROL キーボード用ハードウェア **シリアルナンバー**
  - ダウンロード用 **KOMPLETE KONTROL ソフトウェア** と **KOMPLETE SELECT ソフトウェア** **バンドル ウェブリンク**
- **使用時の注意事項を記載した用紙**

## 1.3 動作環境

KOMPLETE KONTROL が正常に機能するための動作環境は、以下の必要条件を満たすことが必須となります。KOMPLETE KONTROL の動作環境の最新情報を確認するには、以下を参照してください。

<http://www.native-instruments.com/komplete-kontrol-s-series/specifications/>

### KOMPLETE

KOMPLETE KONTROL は KOMPLETE SELECT、KOMPLETE、KOMPLETE ULTIMATE の使用時に最適な仕様に設計されています。

KOMPLETE システムの動作環境の最新情報を確認するには、以下を参照してください。

<http://www.native-instruments.com/products/komplete/>

## 1.4 ユーザー補助機能 (Accessibility)

KOMPLETE KONTROL では 以下の機能に対して音声補助を含んだ視覚障害者用機能を備えています。これらの機能は KOMPLETE KONTROL キーボード使用時に特化したもので、以下機能のスピーチ機能も利用できます。

- Perform、Transpose ボタン、ページ左右ボタンとキーナビゲーションボタン
- 全ブラウザ用機能
- インスタンスの切り替え
- プラグインパネル、パフォームパネル (Scale、Arp、Touch Strip) 機能を含む現在使用しているエディットモード。
- 全エディットモードを含んだノブに触れている際のパラメーター名称とパラメーターセクション



ユーザー補助機能は Apple Logic Pro X または GarageBand 内で KOMPLETE KONTROL のホスト統合機能と Apple VoiceOver を併用することで特に有効に機能します。

### 1.4.1 キーボード概観

KOMPLETE KONTROL キーボードのボタンとノブは以下グループ各に分けることができます。

- Transpose
- Perform
- Transport (トランスポート)
- Control セクション

- ナビゲート

Transpose セクションはキーベッドのとなり、鍵盤の一番左端にあり、2つのTouch Strips の真上にあります。ここには2つのボタンがあります。

左から各ボタンは以下となります。

- OCT -
- OCT +

キーボードの左上にはパフォームセクションがあります。ここには3つのボタンがあります。

左から各ボタンは以下となります。

- SHIFT
- SCALE (EDIT)
- ARP (EDIT)

Transport セクションは Perform セクションの真下にあります。ここには以下の6つのボタンがあります。

最初の列のボタンは左から以下となります。

- LOOP
- RWD
- FFW

2列目のボタンは左から以下となります。

- PLAY (RESTART)
- REC (COUNT-IN)
- STOP

コントロールセクションは KOMPLETE KONTROL キーボードの中央部に設けてあります。キーボード上部には8個のノブがあります。これらのすぐ左には小さなボタンが2つあり、ここでパラメーターページを左右に切り替えます。

Navigate セクションは KOMPLETE KONTROL キーボードの右上に設けてあります。ここには10のボタンと大きなコントロールエンコーダーがあります。以下がその概要となります。

## 1.4.2 ユーザー補助機能 (Accessibility) の起動

の起動、または起動解除は KOMPLETE KONTROL ソフトウェア起動時に KOMPLETE KONTROL キーボードから操作することもできます。

1. キーボードの左上の SHIFT ボタンを押したままにします。
2. SHIFT を押しながらキーボードの右上の PRESET 上ボタンを押します。  
→ スピーチ機能がユーザー補助機能の起動、起動解除を伝えます。



ユーザー補助機能は、KOMPLETE KONTROL プラグインを使用する際に最適な状態となるよう設計されています。KOMPLETE KONTROL スタンドアロンアプリケーション使用時は、初期インストール時、および追加インストゥルメントとエフェクトをインストールした後、アプリケーションを起動した状態にしておく必要があります。これによって KOMPLETE KONTROL ブラウザに、全インストゥルメントとエフェクトが正しく表示されるようになります。



ユーザー補助機能を起動すると、KOMPLETE KONTROL のブラウズモードがハードウェアに切り替わります。

### 1.4.3 トレーニングモード (Training Mode)

KOMPLETE KONTROL Training Mode は、間違った操作をすることなく簡単に特定のボタンやパラメーターを操作することができる機能です。トレーニングモードを起動すると、ボタンとパラメーター操作時に音声ガイドが再生されます。この時、該当する操作内容は機能しません。

#### トレーニングモードの起動

- ▶ KOMPLETE KONTROL ソフトウェアを起動した状態で KOMPLETE KONTROL キーボード上でトレーニングモードを起動、起動解除するには、キーボードの左上にある **SHIFT** ボタンを 2 度押します。



トレーニングモードはユーザー補助機能起動時にのみ使用することができます。

### 1.4.4 機能概要とキーボードショートカット

以下の概要では KOMPLETE KONTROL キーボードと KOMPLETE KONTROL ソフトウェア各の KOMPLETE KONTROL 用ユーザー補助機能を記載しています。表には関連するキーボードショートカットを記載しています。

	機能	キーボードから使用できる機能	キーボード ショートカット
<b>Accessibility モード</b>	Accessibility モードの起動と起動解除	はい	SHIFT + PRESET 上
<b>ブラウザ</b>	Factory 及び User Preset ファイルのブラウズ	はい	左/右ページボタンを押す
	Category と Vendor により表示順序を入れ替えます。	はい	SHIFT + ノブ 1
	プリセットファイルを Favorites に追加する	はい	SHIFT + ノブ 4
	お気に入り (Favourite) による整理		SHIFT + ノブ 3
	User Preset ファイルの保存と編集	いいえ	
	他のベンダーからの NKS プラグインのブラウズ	はい	デフォルトサポート
<b>インストゥルメントコントロール</b>	キーインストゥルメントパラメーターの設定	はい	ノブ 1-8
	インストゥルメントパラメーターカスタムマッピング	いいえ	
<b>Smart Play</b>	Scale と Chord パラメーターへのアクセス	はい	SHIFT + SCALE Edit
	Scale と Chord パラメーターの調整		ノブ 1-8
	Scale & Chord パラメーターへのアクセス	はい	SHIFT + ARP Edit
	ARP パラメーターの調整		ノブ 1-8
	パラメーターページの選択		左/右ページ
<b>タッチストリップ</b>	Touch Strip 設定項目へのアクセス	はい	SHIFT + OCT- + OCT+

	機能	キーボードから使用できる機能	キーボード ショートカット
	左ピッチトリップを Absolute Mode にする		1. <b>SHIFT + OCT-</b> 2. ノブ 1 を回す
	左ピッチトリップを Relative Mode にする		1. <b>SHIFT + OCT-</b> 2. ノブ 9 を回す
	右 Modulation Strip の設定		1. <b>SHIFT + OCT+</b> 2. ノブ 1 を回す
トレーニングモード	意図しない機能を起動しないでコントロールを見つける	はい	
	トレーニングモード (Training Mode) の起動/起動解除	はい	<b>SHIFT</b> の二度押し
環境設定 (Preferences)	ソフトウェアとハードウェアの環境設定内容を設定します。	いいえ	
ソフトウェアダイアログ	ソフトウェアでダイアログボックスを開くとお知らせします (ダイアログコンテンツはスピーチ機能を利用できません)。	はい	デフォルトサポート



KOMPLETE KONTROL のホスト統合用ユーザー補助機能は Logic Pro X と GarageBand で Apple VoiceOver を使用することで機能します。KOMPLETE KONTROL のホスト統合機能に関しては [↑8, ホスト連携](#) を参照してください。

## 2 KOMPLETE KONTROL ワークフロー

KOMPLETE KONTROL では KOMPLETE と Native Kontrol Standard (NKS) サウンドのすべてを扱うことができます。各ホストに対応した高水準連携により KOMPLETE KONTROL キーボードから直接素早く各サウンドにアクセス、ひらめいたアイディアを逃すことが無くなります。

KOMPLETE KONTROL ワークフローはサポートホストとの高い連動性を維持、戸惑うことなくアイディアをスケッチすることができます。

1. KOMPLETE KONTROL プラグインがあるトラックをホストで選択、この時の操作もキーボードで行います。これも KOMPLETE KONTROL の高水準連携によるものです。
  2. キーボードでブラウザのフィルターとプレビュー機能を活用し、KOMPLETE KONTROL ライブラリをブラウズ、インストゥルメントとエフェクトから気に入ったプリセットファイルを選択します。
  3. キーボードの Control セクションを用いてロードしたインストゥルメントとエフェクトを編集し、独自のサウンドを作成します。
  4. 更に KOMPLETE KONTROL の Smart Play 機能を使用して Scale エンジンとアルペジエーターを用いて演奏内容に厚みを加えることもできます。
  5. キーボード操作によるトランスポートとループ機能の活用でホストに新規クリップを録音することもできます。これも KOMPLETE KONTROL の高水準連携によるものです。
  6. アンドゥー/リドゥー機能で気に入らない内容を簡単にやり直すこともできます。キーボードの各ボタンを使用し、録音内容に対してクオントライズやオートメーション機能を用いてクリップをより理想に近い内容にすることも可能です。
- 音楽のアイディアを素早くスケッチしてから、同じ操作を繰り返したり、トラックをレイヤーにすることで曲作りを進めます。

### 主要機能

以下の主要機能は KOMPLETE KONTROL ワークフロー用です。

- **ブラウザ:** ブラウザで KOMPLETE KONTROL ライブラリのインストゥルメントとエフェクト、プリセットファイルを検索、ロード、管理します。詳細は [↑9, ライブラリのブラウズ](#)、[↑10, エフェクトの使用方法](#) と [↑11, ライブラリの管理](#) を参照してください。
- **インストゥルメントコントロール:** キーボードの Touch Strips とノブは予め全ての KOMPLETE と NKS インストゥルメントとエフェクトにマッピングされた状態となっており、すぐにコントロールできるようになっています。詳細は [↑12, インストゥルメントとエフェクトパラメーターの操作](#) と [↑15, Touch Strips \(タッチストリップ\) の設定](#) を参照してください。

- **Smart Play:** Scale エンジンと Arpeggiator でスケール、コード、アルペジオを生成します。詳細は [↑13, Smart Play – スケールとコード演奏と編集](#) と [↑14, Smart Play – アルペジオ演奏と編集](#) を参照してください。
- **ホストとの連携:** 各ホストへの高水準連携によりキーボードから直接メイン機能を制御することができます。詳細は [↑3.3, ホスト連携用設定](#) と [↑8, ホスト連携](#) を参照してください。

## 3 KOMPLETE KONTROL の設定

このセクションでは KOMPLETE KONTROL スタンドアローンの使用と、KOMPLETE KONTROL が対応するホストとの連動に関する各設定情報を記載しています。

KOMPLETE KONTROL ソフトウェアはスタンドアロンアプリケーションと VST、Audio Unit、AAX プラグインがインストールされます。



新規インストゥルメントとエフェクトをインストールした後は、DAW 上のプラグインを使用する前に KOMPLETE KONTROL スタンドアロンアプリケーションを一度必ず起動してください。

KOMPLETE KONTROL スタンドアロンアプリケーションは KOMPLETE KONTROL の Preferences で設定したオーディオ/MIDI インターフェイスと直接やり取りします。KOMPLETE KONTROL はホストでプラグインとして起動し、オーディオ/MIDI インターフェイスとのやり取りはホストによって行われます。



使用しているホストソフトウェアのオーディオと MIDI の設定に関してはホストのマニュアルを参照してください。

### 3.1 キーボードをコンピューターに接続する

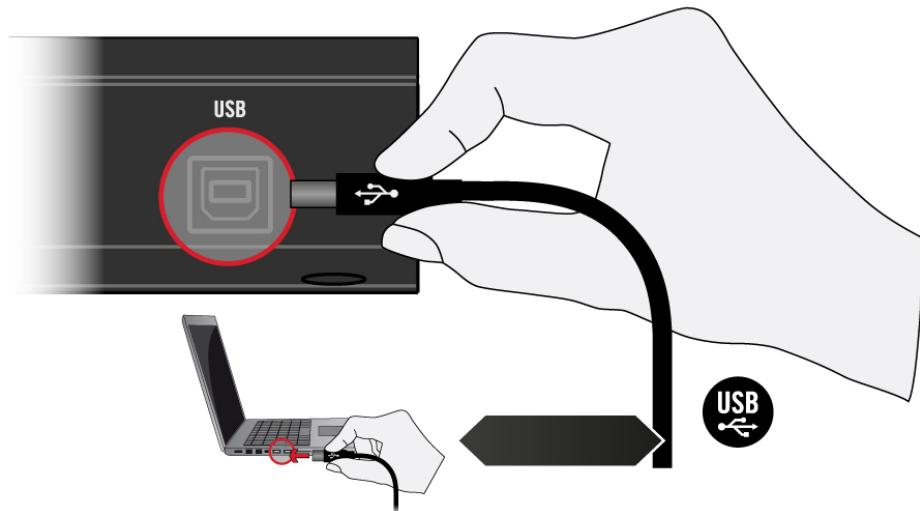


このセクションでは同梱した使用上の注意事項を記載したフライヤーの内容に沿って電源を接続した場合を前提として解説を進めます。

KOMPLETE KONTROL キーボードをコンピューターに接続する方法は以下となります。

1. USB ケーブルの機器用端子をキーボードのリアパネルにある USB ソケットに接続します。

- USB ケーブルのコンピューター接続用端子をコンピューターの USB 2.0 以降のポートに接続します。



- キーボードのリアパネルの電源スイッチを入れてください。

→ オペレーションシステムがキーボードを認識します。

## 3.2 スタンドアロンアプリケーションの設定

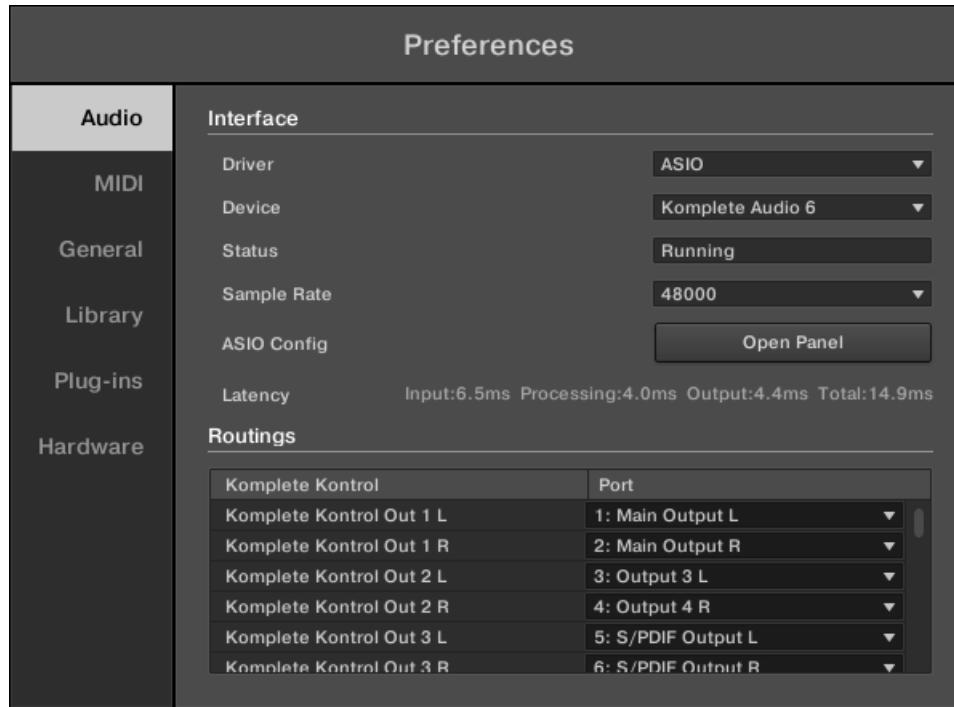
KOMPLETE KONTROL ソフトウェアをインストールディレクトリから開くと、ホストとは独立したスタンドアロンモードで起動します。

デフォルトでアプリケーションはコンピューターで指定しているオーディオインターフェイスを使用します。他のオーディオインターフェイスを使用し、キーボードから MIDI ノートを受信する場合は Preferences (環境設定) でアプリケーションを設定する必要があります。

### オーディオインターフェイスの設定

- KOMPLETE KONTROL メニューで *Edit > Preferences* と進み、*Preferences* を選択します。
- Audio* をクリックし、*Audio* ページを表示します。
- Driver* ドロップダウンメニューで使用するオーディオデバイス用ドライバを選択します。

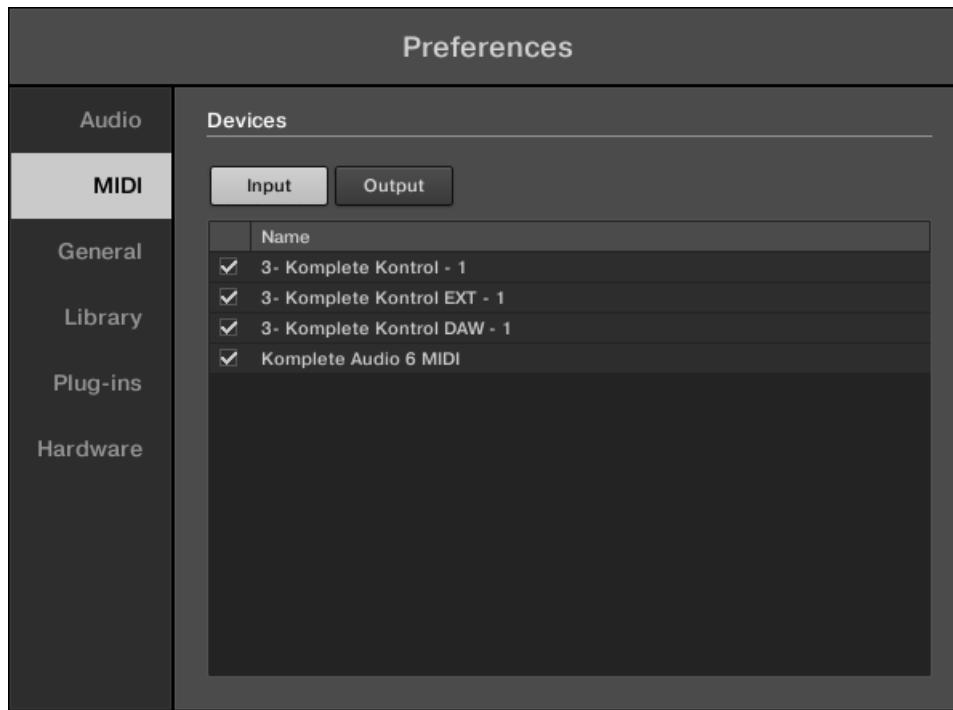
4. Device ドロップダウンメニューでオーディオインターフェイスを使用します。
5. KOMPLETE KONTROL のマスターアウトプットとして使用するオーディオインターフェイスの左右アウトプットチャンネルを、[Routings](#) 内にある [Komplete Kontrol Out 1 L](#) と [Komplete Kontrol Out 1 R](#) ドロップダウンメニューで選択します。



Preferences パネル— Audio ページ

## MIDI コントロールの起動

1. MIDI をクリックして [MIDI](#) ページを表示します。
2. [Input](#) をクリックし、入力 MIDI シグナル用に有効な機器を表示します。
3. [Komplete Kontrol](#) チェックボックスをクリックしてキーボードから入力される MIDI シグナルを受信できる状態にします。



Preferences パネル— MIDI ページ (コンピューターによってエントリー内容が異なります)

→ ソフトウェアが設定され、キーボードでコントロールできるようになります。



MIDI Output 設定は KOMPLETE KONTROL の Smart Play 機能を他の MIDI インstrument と使用する際に必要となります。

### 3.3 ホスト連携用設定

KOMPLETE KONTROL は各ホストに対応、KOMPLETE KONTROL ライブラリサウンドの演奏と録音がスムーズに行えるよう緻密に設計されています。

KOMPLETE KONTROL は以下のホストに対して高度連携します。

- MASCHINE 2
- Apple Logic Pro X

- Apple GarageBand
- Ableton Live 9
- Steinberg Cubase Artist 8.5/9/9.5
- Steinberg Cubase Pro 8.5/9/9.5
- Steinberg Nuendo 7/8

KOMPLETE KONTROL キーボードを用いてサポート対象となっているホストを制御する場合は、以下の設定を行います。

## ホストを設定してキーボードを使用する

KOMPLETE KONTROL のホスト連携機能が円滑に機能するためには、ホストが以下の機能に対応している必要があります。以下のナレッジベースの記事を参照し、各ホストアプリケーションが対応する連動用各機能について確認してください。 <https://support.native-instruments.com/hc/articles/210280325>

KOMPLETE KONTROL キーボードを使用する際に必要なホストの各設定に関しては、以下のナレッジベース各記事を参照してください。

- KOMPLETE KONTROL 用 Apple Logic Pro X 設定  
<https://support.native-instruments.com/hc/articles/210279905>
- KOMPLETE KONTROL 用 Ableton Live 設定  
<https://support.native-instruments.com/hc/articles/209557689>
- KOMPLETE KONTROL 用 Apple GarageBand 設定  
<https://support.native-instruments.com/hc/articles/210844489>
- KOMPLETE KONTROL 用 Steinberg Cubase / Nuendo 設定  
<https://support.native-instruments.com/hc/articles/209557849>



KOMPLETE KONTROL で Ableton Live を使用する際、ハードドライブの KOMPLETE KONTROL インターフェースフォルダの Host Integration Files サブフォルダにも PDF ファイル Ableton Live Setup を用意しています。

## 3.4 キーボードに各ペダルを接続する

KOMPLETE KONTROL キーボードのリアパネルには 2 つのペダル用 1/4" インプット端子 **SUSTAIN** と **EXPRESSION** が装備しております。



キーボードのリアパネルのペダルインプットです。

これらのインプット端子を用いることで、演奏に表現力を与えるサステインペダルとエクスプレッションペダルを接続できます。

- **SUSTAIN**: フットスイッチを接続することで演奏ノートのサステインを調整できます。これはオンオフスイッチです。
- **EXPRESSION**: エクスプレッションペダルを接続することでベロシティーを調節できるようになります。これは連続値コントロールペダルとなります。



MIDI メッセージを Controller Editor アプリケーションのペダルインプットにアサインすることもできます。詳細は Controller Editor マニュアルを参照してください。

## 各ペダルを接続する

1. キーボードのリアパネルにある **SUSTAIN** インプットにサステインペダルを接続します。
2. キーボードのリアパネルにある **EXPRESSION** インプットにエクスプレッションペダルを接続します。

## サステインペダルのポラリティー（方向性）の設定

キーボードのスイッチを入れると、自動的に接続したサステインペダルのポラリティー（極性）を設定します。

- キーボードのスイッチをオンにする際、サステインペダルを「オフ」または「押していない」状態にし、設定が正しく行われるようにしてください。

サステインペダルの反応が通常使用時と逆になる場合は、以下のように設定を行ってください。

1. キーボードのスイッチを切ります。
2. サステインペダルを「オフ」または「押していない」状態にしてください。
3. キーボードのスイッチを入れます。

→ これでサステインペダルのポラリティーが正しく設定されます。

## 3.5 キーボードに外部 MIDI 機器を接続する

KOMPLETE KONTROL キーボードには専用の MIDI 端子があり、5 ピン DIN 規格の MIDI ケーブルを用いて外部機器を接続することができ MIDI セットアップ内に取り込むことができます。



KOMPLETE KONTROL キーボードのリアパネルの MIDI 端子です。

外部 MIDI 機器を接続する方法は以下となります。

1. MIDI ケーブルを用いてキーボードのリアパネルの **MIDI OUT** に外部機器を接続、MIDI シグナルを受信できる状態にします。
2. MIDI ケーブルを用いてキーボードのリアパネルの **MIDI IN** に外部機器を接続、MIDI シグナルを送信できる状態にします。

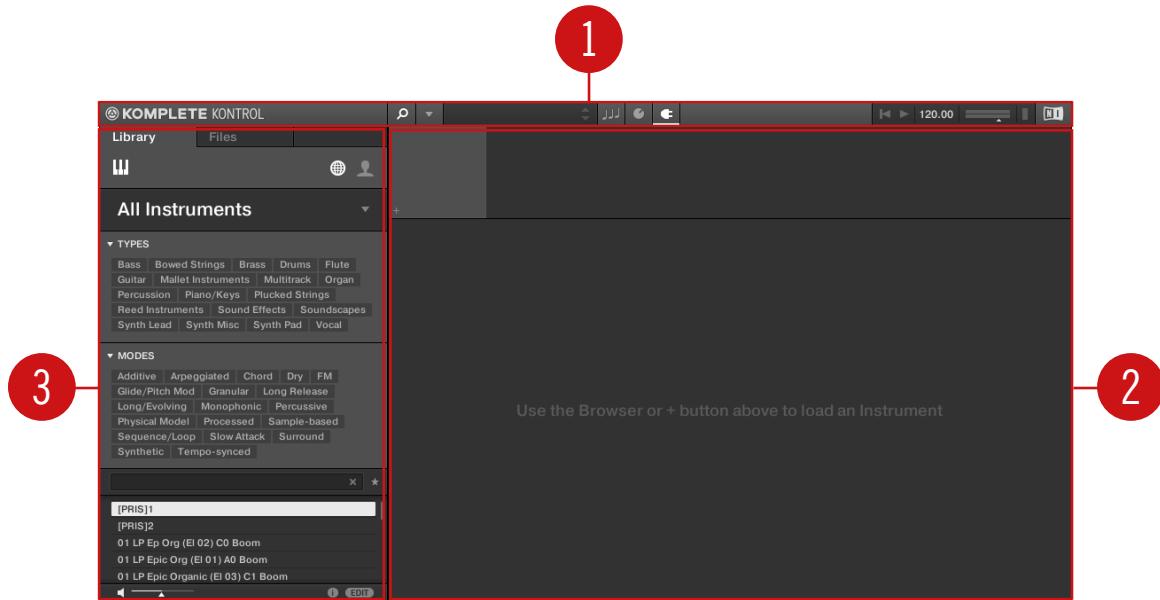
→ MIDI 機器が接続されました。

使用する用途に合わせてさらにソフトウェアで設定を行う必要がある場合があります。

- KOMPLETE KONTROL をスタンドアローンとして起動している場合、Preferences の MIDI ページで該当する MIDI インプット/MIDI アウトプットを起動します。詳細は [↑7.3, スタンドアロン MIDI コントローラーとしてキーボードを使用する](#) を参照してください。
- KOMPLETE KONTROL をホストアプリケーションでプラグインとして起動している場合は、MIDI の設定はホスト上で行います。詳細は [↑7.2, MIDI モードでキーボードモードを使用する](#) を参照してください。
- USB 接続せずに MIDI コントローラーとしてキーボードを使用する場合、キーボードの **MIDI IN** と **MIDI OUT** 端子を介して MIDI データが直接送受信されます。MIDI マッピングの詳細に関しては [MIDI Assignment エディターの使用](#) 章を参照してください。

## 4 ソフトウェア概要

このセクションでは、KOMPLETE KONTROL ソフトウェアの各エリアと各コントロール部について紹介します。



KOMPLETE KONTROL ソフトウェアの概観です。

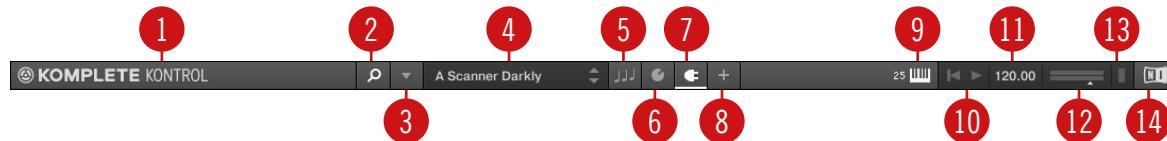
**(1) ヘッダ:** ここから Main メニュー、プリセットディスプレイ、Transport と Master Volume コントロール、ユーザーインターフェイスエリアの表示非表示等の主な機能にアクセスします。詳細は [↑4.1, ヘッダ](#) を参照してください。

**(2) プラグインエリア:** ここにロードしたインストゥルメントとエフェクトを表示、ソフトウェアで直接操作することができます。詳細は [↑4.6, プラグインエリア](#) を参照してください。

**(3) ブラウザ:** インストゥルメントとエフェクトをブラウズ、プリセットファイルを管理します。詳細は [↑4.2, ブラウザ](#) を参照してください。

## 4.1 ヘッダ

ヘッダで KOMPLETE KONTROL のグローバル設定項目にアクセスします。表示されていないユーザーインターフェイスにもここからアクセスします。



ヘッダです。

- (1) **KOMPLETE KONTROL ロゴ**: アバウトスクリーンを表示、表示内容は KOMPLETE KONTROL ソフトウェアのバージョンナンバーとなります。
- (2) **Browser ボタン**: ブラウザを表示/非表示します。 詳細は [↑4.2, ブラウザ](#) を参照してください。
- (3) **KOMPLETE KONTROL メニュー**: 環境設定を含む基本設定項目を含んだ KOMPLETE KONTROL メニューを開きます。
- (4) **プリセットディスプレイ**: ロードしたプリセットファイル名称、KONTAKT キースイッチが表示される部分です。 右の矢印ボタンでブラウザの検索結果リスト（リザルトリスト）内の次のプリセットファイルをロードします。
- (5) **パフォームパネルボタン**: Scale エンジンとアルペジエーター用パラメーターがあるパフォームパネルを表示、最小化します。 Scale エンジン、またはアルペジエーターが起動するとパフォームパネルボタンが点灯します。 詳細は [↑4.3, パフォームパネル](#) を参照してください。
- (6) **プラグインパネルボタン**: プラグインパネルを表示、非表示し、ここで各プリセットファイル用にキーボードの Control セクションに対しパラメーターマッピングを行います。 詳細は [↑4.4, プラグインパネル](#) を参照してください。
- (7) **プラグインチェーンパネルボタン**: プラグインチェーンパネルの表示/非表示用ボタンで、起動すると白く点灯します。 詳細は [↑4.5, プラグインチェーンパネル](#) を参照してください。
- (8) **View ボタン**: ロードしたインストゥルメントのデフォルトビューと追加ビューの切り替えを行います。 View ボタンはロードしたインストゥルメントに追加ビューがある場合に表示されます。 エフェクトを選択した場合、View ボタンは機能しません。
- (9) **Keyboard ボタン**: 現在接続しているキーボード S25、S49、S61、S88 を表示します。 複数の KOMPLETE KONTROL ソフトウェアが起動している場合は（例、ホスト内での複数使用）ボタンをクリックすることでこのインスタンスがキーボードに接続されます。 このインジケーターは最低一つの互換性がある危機が接続された場合に表示されます。 詳細は [↑6.2, インスタンスの切り替え](#) を参照してください。

(10) **トランスポートコントロール**: 内部クロックをスタート、停止、リセットします。プラグインホストとして KOMPLETE KONTROL をロードしている場合トランスポートは自動的にホストのトランスポートに従い、この機能は無効の状態となります。詳細は [↑6.3, トランスポートとテンポ](#) を参照してください。

(11) **テンポコントロール**: テンポを BPM (beats per minute) で指定します。詳細は [↑6.3, トランスポートとテンポ](#) を参照してください。

(12) **Master ボリュームコントロール**: KOMPLETE KONTROL 全体のボリュームを調整します。メーターはアウトプットシグナルの現在のピークレベルを表示します。詳細は [↑6.4, マスター・ボリュームの調整](#) を参照してください。

(13) **CPU メーター**: コンピューターのプロセッサーの現在の使用率をリアルタイムに随時表示します。この値は 70% に到達しない様に制御するのが理想的です。

(15) **NI ロゴ**: NI ロゴから About スクリーンを表示、表示内容は KOMPLETE KONTROL ソフトウェアのバージョンナンバーとなります。

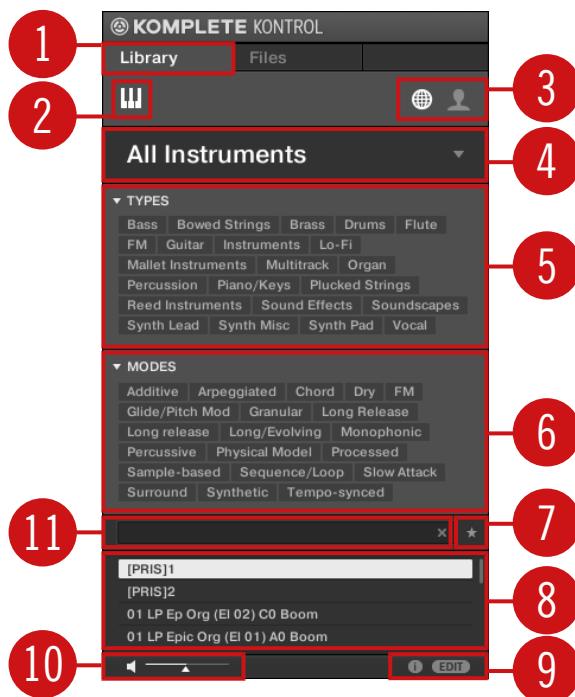
## 4.2 ブラウザ

ブラウザ から KOMPLETE KONTROL ライブラリにアクセスし、プリセットファイルを追加、編集、管理します。ここには [Library](#) ペイン、Product セレクター、[Files](#) ペインがあります（以下概要参照）。

ブラウザとプリセットファイル管理の詳細は [↑9, ライブラリのブラウズ](#)、[↑10, エフェクトの使用方法](#)、[↑11, ライブラリの管理](#) を参照してください。

### 4.2.1 Library ペイン

[Library](#) ペインでインストゥルメント、エフェクト、プリセットファイルをブラウズします。は以下の項目を含んでいます。



Library ペインです。

- (1) **Library:** Library ペインを表示します。
- (2) **Product Type アイコン:** インストゥルメント、エフェクトのブラウズ時に各内容を表示します。プラグインチェーンで選択したプラグインスロットに合わせて自動的に表示内容が切り替わります。プロダクトタイプの変更に関しては [↑9.1.1, Product Types: Instrument と Effect](#) を参照してください。
- (3) **コンテンツセレクター:** 球状アイコンでファクトリーコンテンツを選択、ユーザーアイコンでユーザーコンテンツを選択します。 選択したコンテンツのプリセットファイルのみがリザルトリストに表示されます (8)。 詳細は [↑9.4, ファクトリーコンテンツ、ユーザーコンテンツの選択](#) を参照してください。
- (4) **Product selector:** 特定のインストゥルメント、エフェクト、インストゥルメントカテゴリー、選択したプロダクトのバンクを選択します。 選択した内容によってリザルトリストに表示されるプリセットファイルの内容が切り替わります (8)。 詳細は [↑4.2.2, 製品選択](#) を参照してください。
- (5) **TYPES:** プリセットファイルに適用した Type と Sub-Type タグによってプリセットファイルをブラウズできます。 TYPES の隣の小さな矢印をクリックすることでこの部分を表示、非表示の状態にします。 詳細は [↑9.8, Types と Modes タグフィルター](#) を参照してください。

(6) **MODES:** プリセットファイルに適用した MODE タグ によってプリセットファイルをブラウズできます。MODES の隣の小さな矢印をクリックすることでこの部分を表示、非表示の状態にします。詳細は [↑9.8, Types と Modes タグフィルター](#) を参照してください。

(7) **Favorites:** Favorites 機能によるお気に入り検索を可能にします。起動すると、お気に入り登録したプリセットファイルのみがリザルトリストに表示されます(8)。 詳細は [↑9.9, お気に入りの活用 \(Favorites\)](#) を参照してください。

(8) **リザルトリスト:** 検索内容に沿ったプリセットファイルを表示する場所です。 詳細は [↑9.3, プリセットファイルのロード](#) を参照してください。

(9) **コントロールバー:** KOMPLETE KONTROL ライブラリをブラウズ、編集する際に便利な各ツールを装備しています。

- **Information ボタン (i)** では選択したプリセットファイルの情報を表示します。
- **EDIT ボタン**で **Attribute エディター** を開き、ここで選択したプリセットファイルのタグを表示、編集、プロパティーも表示します。

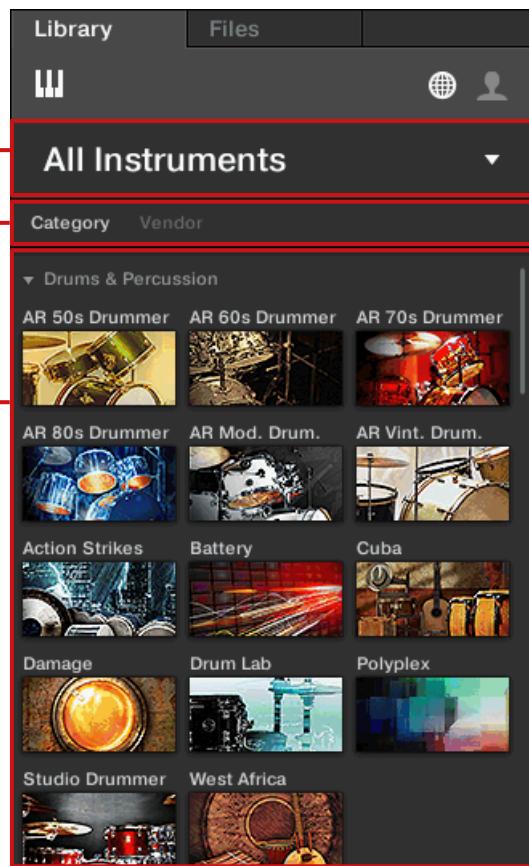
詳細は [↑9.11, プリセットファイル情報の表示](#) を参照してください。

(10) **試聴コントロール:** プリセットファイルを試聴します。 詳細は [↑9.12, プリセットファイルのオーディション \(Prehear\)](#) を参照してください。

(11) **サーチフィールド:** テキスト検索を行います。 詳細は [↑9.10, テキスト検索の方法](#) を参照してください。

## 4.2.2 製品選択

インストゥルメントとエフェクトのブラウズ時にプロダクトセレクター で特定のカテゴリー、特定のプロダクト、インストゥルメントのバンクに照準を当てた絞込検索を行うことができます。



プロダクトセレクターです。

(1) **Product セレクターへッダ**: ヘッダが選択したプロダクトを表示します。なにも選択していない場合はジェネリックラベル ([All Instruments](#) または [All Effects](#)) が表示されます。A ヘッダをクリックしてプロダクトセレクターを表示、非表示します。

(2) **Category/Vendor セレクター**: [Category](#) または [Vendor](#) を基準にプロダクトリストを表示します。

(3) **プロダクトリスト**: KOMPLETE KONTROL ライブラリ内の全プロダクトを表示します。

**Category/Vendor セレクター** で [Category](#) を選択すると、プロダクトリストは以下のカテゴリーによって保存されます。

- DRUMS & PERCUSSION

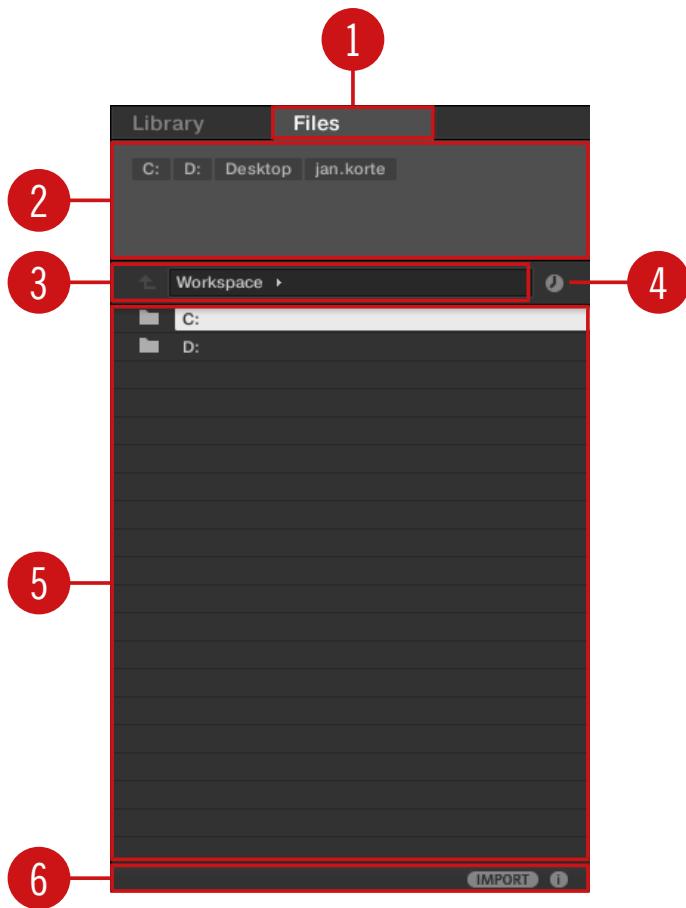
- SAMPLED INSTRUMENTS
- SYNTHESIZERS
- NO CATEGORY

**Category / Vendor** セレクターで **Vendor** を選択すると、プロダクトリストは製造者名を基準に表示されます。

詳細は [↑9.5, プロダクトによるプリセットファイルの絞り込み検索](#) と [↑9.6, バンクによるプリセットファイルのプロダクトの絞り込み検索](#) を参照してください。

#### 4.2.3 Files ペイン

Files ペイン は以下の内容を含んでいます。



ブラウザの [Files](#) ペインです。

- (1) **Files:** [Files](#) ペインを表示します。詳細は [↑11.4. Files ペインの使用](#) を参照してください。
- (2) **Favorite バー:** お気に入りフォルダをすべて表示します。お気に入りフォルダのどれかをクリックすると特定のパスにジャンプし、リザルトリストにその内容を表示します(5)。 詳細は [↑11.4.4, ファイル場所をお気に入りにする](#) を参照してください。
- (3) **Location バー:** 選択したパスを表示します。このロケーションバーにはファイルシステムを素早く制御するための各ツールを用意しています。 詳細は [↑11.4.2, ロケーションバーでファイルロケーションをナビゲートする](#) を参照してください。

(4) **Recent Locations ボタン**: 最後に閲覧したリストを表示します。詳細は [↑11.4.3, 最近使ったファイルがある場所への移動](#) を参照してください。

(5) **リザルトリスト**: ロケーションバーが表示するフォルダの内容を表示します。KOMPLETE KONTROL で使用できるファイルのみが表示されます。詳細は [↑11.4.1, Files ペインのリザルトリストの追加機能](#) を参照してください。

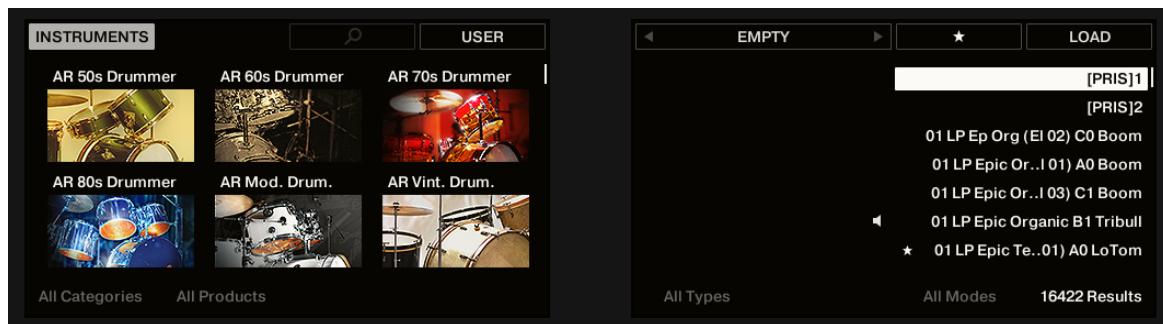
(6) **Control バー**: ファイルシステムのブラウズ時に便利なツールを用意しています。

- **Information ボタン (i)** では選択したプリセットファイルの情報を表示します。
- **IMPORT ボタン** で KOMPLETE KONTROL ライブラリに選択したフォルダのコンテンツをインポートできます。ファイルをインポートする前に **Attribute エディター** でファイルにどのタグをアサインするか選択しておきます。

詳細は [↑11.3, ユーザープリセットファイルのタグとプロパティーを編集する](#) と [↑11.7, KOMPLETE KONTROL 対応ユーザーファイルをインポートする](#) を参照してください。

#### 4.2.4 キーボードのブラウザ

キーボードディスプレイでブラウザは次のように管理されます。



キーボードのディスプレイのブラウザです。

- 左画面ではプロダクトセレクターパラメーターを表示、コンテンツタイプ (ファクトリー、またはユーザーコンテンツ)、製品カテゴリー、製品、バンク、サブバンクを選択することで検索結果を絞り込みます。
- 右画面ではパラメーターを表示、任意の TYPE (または MODE) タグを選択することで検索結果を絞り込みます。対応するリザルトリストも表示されます。

以下の図はブラウザパラメーター概要で、キーボードの 9 つの該当画面内容となります。

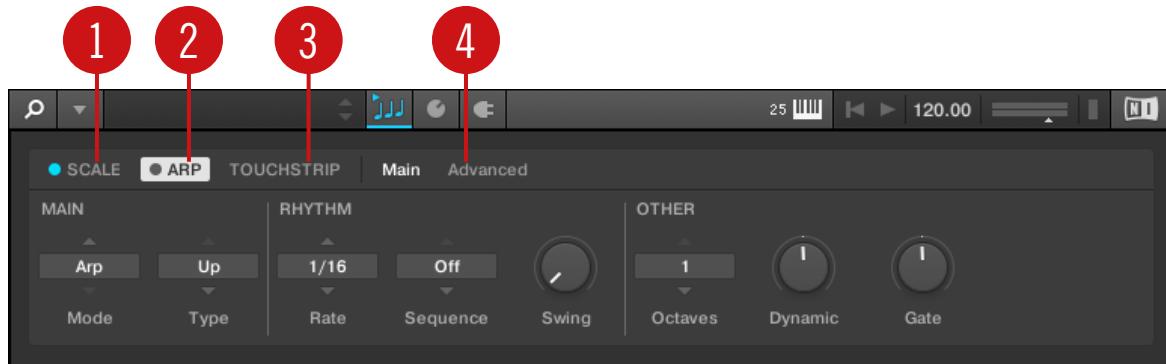


キーボードのディスプレイのブラウザです。

- (1) 選択したコンテンツタイプを表示します (ファクトリー、またはコンテンツ)。
- (2) 選択したプロダクトカテゴリーを表示します。
- (3) 選択したプロダクトを表示します。
- (4) - (5) 選択した BANK と SUB-BANK を表示します。
- (6) - (7) 選択した TYPE と SUB-TYPE を表示します。
- (8) リザルトリスト (検索結果) を表示します。

### 4.3 パフォームパネル

パフォームパネル で Scale エンジン、アルペジエーター、Touch Strips に関する全パラメーターにアクセスします。



Perform パネルです。

- (1) SCALE: SCALE スイッチの左にある丸いボタンをクリックして Scale エンジンをオンオフします。SCALE ラベルをクリックすると Scale エンジンの各パラメーターを表示します。↑13, Smart Play – スケールとコード演奏と編集 を参照してください。

(2) ARP: ARP スイッチの左の丸いボタンをクリックしてアルペジエーターをオンオフします。ARP ラベルをクリックするとアルペジエーターのパラメーターが表示されます。[↑14, Smart Play – アルペジオ演奏と編集](#) を参照してください。

(3) TOUCHSTRIP: TOUCHSTRIP ラベルをクリックすると Touch Strips のパラメーターが表示されます。[↑15, Touch Strips \(タッチストリップ\) の設定](#) を参照してください。

(4) Parameter ページ: パラメーターページが複数ある場合は、ページ切り替えをここで行います。

(1) SCALE: SCALE スイッチの左にある丸いボタンをクリックして Scale エンジンをオンオフします。SCALE ラベルをクリックすると Scale エンジンの各パラメーターを表示します。[↑13, Smart Play – スケールとコード演奏と編集](#) を参照してください。

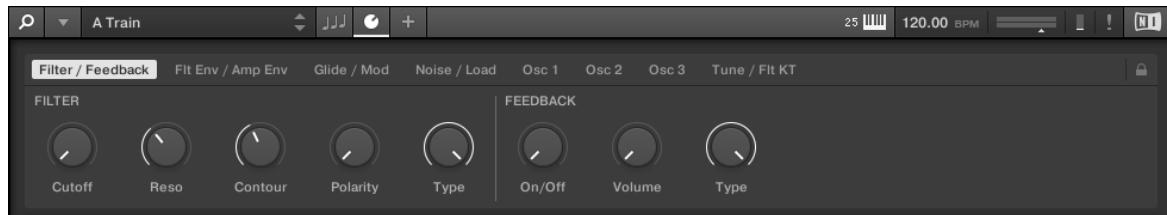
(2) ARP: ARP スイッチの左の丸いボタンをクリックしてアルペジエーターをオンオフします。ARP ラベルをクリックするとアルペジエーターのパラメーターが表示されます。[↑14, Smart Play – アルペジオ演奏と編集](#) を参照してください。

(3) Parameter ページ: パラメーターページが複数ある場合は、ページ切り替えをここで行います。

詳細は[↑13, Smart Play – スケールとコード演奏と編集](#) を参照してください。

## 4.4 プラグインパネル

プラグインパネル で KOMPLETE KONTROL キーボードの Control セクションにマッピングしたパラメーターを、各プリセットファイルごとにカスタマイズすることができます。ページ/パラメーターの総数はロードしたインストゥルメント/エフェクトによって異なります。



プラグインパネルです。

詳細は[↑12.4, プラグインパネルを用いたパラメーターマッピングのカスタマイズ](#) を参照してください。

## 4.5 プラグインチェーンパネル

Plug-in チェーンパネルは Plug-in エリアの上部にあります。 プラグインチェーンにインストゥルメントプラグイン (プラグインスロット 1) とエフェクトプラグイン (プラグインスロット 2 から複数設置できます) をロードでき、水平方向に配置されます。 各プラグインはプラグインチェーンを作成するプラグインスロットにロードされます。 プラグインの配置はカスタマイズ可能ですが、インストゥルメントはプラグインスロットの最初が定位置となります。



プラグインチェーンパネルの概要です。

- (1) **プラグインチェーン:** ロードしたインストゥルメントとエフェクトを表示します。
- (2) **プラグインスロット:** 各プラグインスロットはプラグインを収納し、プロダクトの名称と画像を表示します。 プラグインスロットを使用してプラグインの直接ロード、エフェクトのバイパス、配置の置き換えを行います。

詳細は [↑ 10, エフェクトの使用方法](#) を参照してください。

## 4.6 プラグインエリア

KOMPLETE KONTROL ソフトウェアのプラグインエリアには、ブラウザからロードしたインストゥルメントとエフェクトが表示されます。各インストゥルメントは異なるコントロール部とパラメーターを装備していますが、コンピューター画面や KOMPLETE KONTROL キーボードで簡単に操作することができます。パラメーターの変更によってキーボードの画面とプラグインエリアのインストゥルメントのユーザーインターフェイスが同調して表示内容を切り替えます。



殆どのインストゥルメントには追加設定画面があり、その他のコントロールセットにアクセスすることができます。[↑6.1, インストゥルメントビュー \(Instrument Views\)](#) を参照してください。



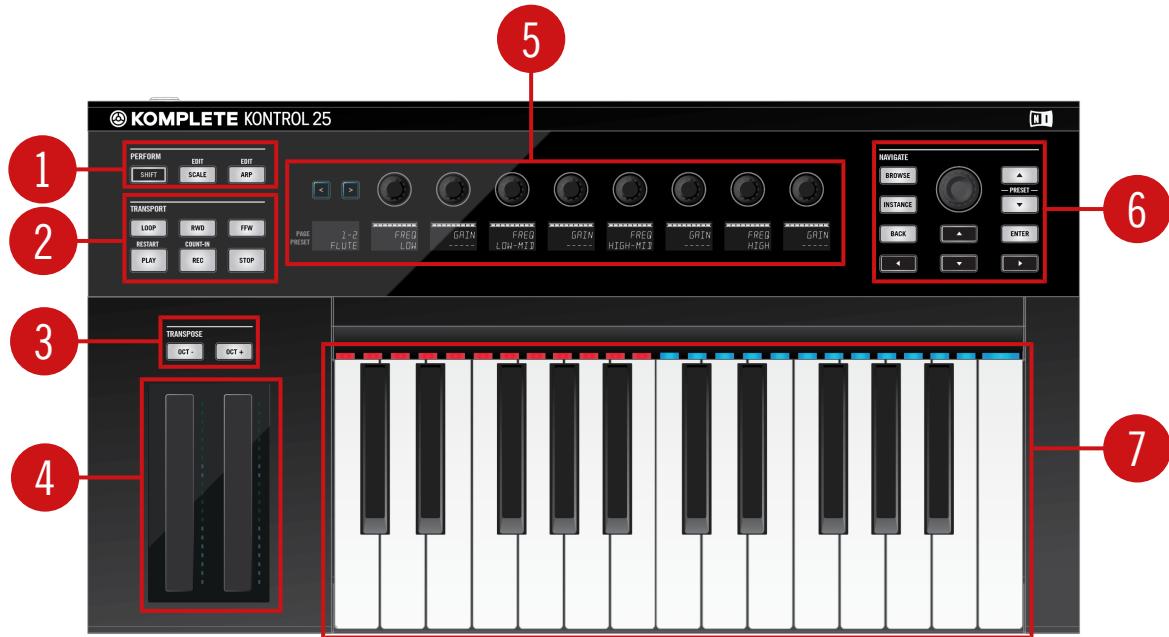
インストゥルメント、Form を表示しているプラグインエリアです。

## 5 キーボード概観

KOMPLETE KONTROL ソフトウェアはソフトウェアと密接に連動し、プロダクトのブラウズ、コントロール、演奏ができ、サポートホストのコントロールも可能です。

キーボードには 4 つのキーボードタイプがあり、S25、S49、S61 には高品質を誇るセミウェイトアフタータッチ付き Fatar キーベッドを採用しています。 S88 にはプロ仕様のフルウェイトハンマーアクション鍵盤を採用、こちらも Fatar 製です。 鍵盤仕様以外は、KOMPLETE KONTROL キーボードの各機能は同一仕様となっています。

キーボードには以下のセクションがあります。



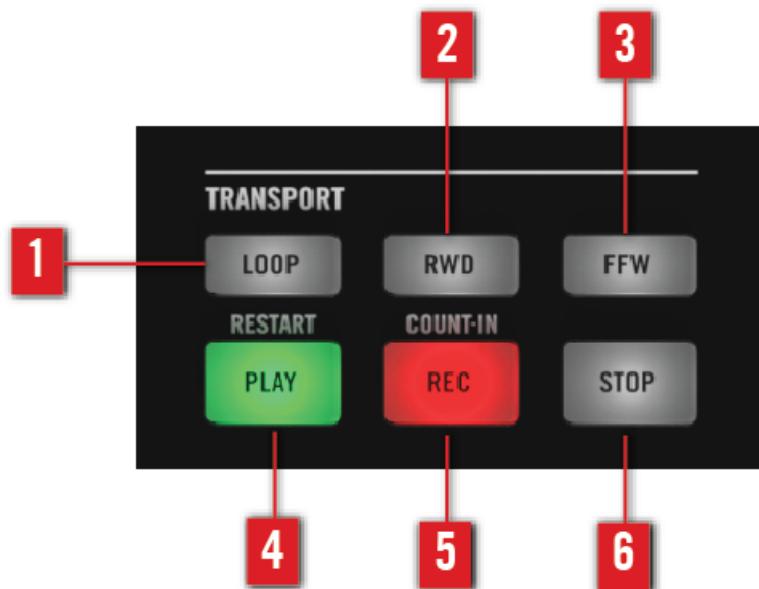
KOMPLETE KONTROL S25

(1) **PERFORM セクション**: スケール演奏、コード、アルペジオ演奏に用いる Smart Play 機能をここで制御します。 **PERFORM** セクションで設定した内容はコントロールセクション(5) に表示され、Light Guide とキーベッド (7) に反映されます。 詳細は [↑5.2, Perform セクション](#) を参照してください。

- (2) **TRANSPORT** セクション: ホストのトランスポートをコントロールします。 詳細は [↑5.1, トランスポートセクション](#) を参照してください。
- (3) **TRANSPOSE** ボタン OCT- と OCT+ ボタンでキーベッドのオクターブを変更します。 詳細は [↑5.7, トランスポーズボタン](#) を参照してください。
- (4) **タッチストリップ**: ロードしたインストゥルメントに対応してピッチストリップとモジュレーションストリップ該当コントロールが自動アサインされます。 詳細は [↑5.6, Touch Strips](#) を参照してください。
- (5) **Control** セクション: ロードしたプロダクト、または選択したモードに対応してノブとディスプレイに自動的にパラメーターがアサインされます。 ページボタンで他のパラメーターセットに移動します。 詳細は [↑5.3, コントロールセクション](#) を参照してください。
- (6) **NAVIGATE** セクション: ここでプロダクトのブラウズとロード、KOMPLETE KONTROL ソフトウェアのインスタンス間の切り替え、ホストのトラックの切り替え、プラグインインスタンスの切り替えを行います。 更にマスターボリュームもここで設定します。 詳細は [↑5.4, NAVIGATE セクション](#) を参照してください。
- (7) **Keybed** と **Light Guide**: LED の表示内容で Smart Play 機能の各状態を把握することができます。 Light Guide はインストゥルメントの設定内容も表示し、例えば BATTERY または KONTAKT マッピングを確認する際に便利です。 詳細は [↑5.5, キーベッドと Light Guide](#) を参照してください。

## 5.1 トランスポートセクション

キーボードの左端にある **TRANSPORT** セクション から簡単に再生、録音、停止、ループ等のトランスポート操作をホストに対して行うことができます。

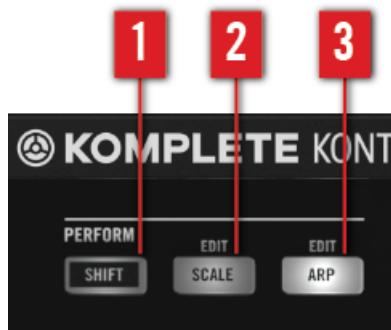


TRANSPORT セクションです。

- (1) **LOOP**: 通常再生とループ再生を行います。
- (2) **RWD**: 曲の再生を巻き戻します。
- (3) **FFW**: 曲の再生を早送りします。
- (4) **PLAY (RESTART)**: 再生を開始します。 **SHIFT + PLAY (RESTART)** 先頭部分から再生を再開します。
- (5) **REC (COUNT-IN)**: 録音機能のオン/オフです。 **SHIFT + REC (COUNT-IN)** カウントイン機能のオン/オフです。
- (6) **STOP**: 再生を停止します。

## 5.2 Perform セクション

KOMPLETE KONTROL キーボードの左端にある **Perform** セクション の各ボタンで Scale エンジンとアルペジエーターを起動、編集用各パラメーターにアクセスします。コントロールセクションのディスプレイにパラメーターが表示され、ノブでそれらを編集することも可能です。



PERFORM セクションです。

- (1) SHIFT: 例えば SCALE (Edit) (2) と ARP (Edit)(3) 各ボタンの Edit 機能等のコントロール部の副次機能にアクセスします。
- (2) SCALE(EDIT) : Scale エンジンをオン、オフ切り替えします。詳細は ↑13, Smart Play – スケールとコード演奏と編集を参照してください。
- (3) ARP (EDIT): アルペジエーターのオン/オフ、Arp パラメーターの編集はここで行います。詳細は ↑14, Smart Play – アルペジオ演奏と編集を参照してください。

### 5.3 コントロールセクション

コントロールセクション は KOMPLETE KONTROL キーボードの中央部に設けてあります。ノブとボタン、ディスプレイにはロードしたプロダクト、または選択したモードの各パラメーターが自動的にアサインされます。これらを用いて KOMPLETE KONTROL の様々な機能を楽曲作成の各局面で活用することができます。

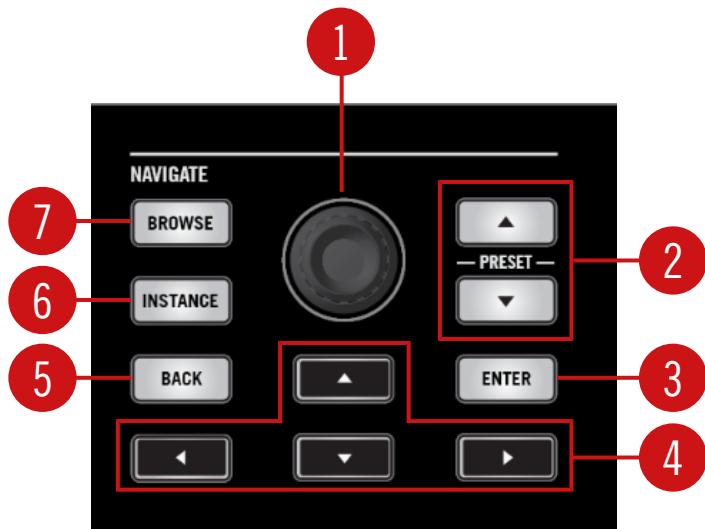


コントロールセクションの各コントロール部です。

- (1) ページボタン: このボタンで次のページに移動(5)、結果ノブ(2)と画面(3)を他のパラメーター用に再マッピングします。
- (2) ノブ: ロードしたプロダクト、または選択したモードのパラメーターをコントロールします。ノブはタップセンシティブで、これらをタップすることで画面にパラメーター値を表示できます。
- (3) ディスプレイ: マッピングされたノブとロードしたプロダクトの情報、またはパフォーム機能の各パラメーターを随時表示します。
- (4) PRESET ディスプレイ: ロードしているプリセットファイルを表示します。キースイッチで KONTAKT インストゥルメントを演奏している場合、対応するキーを押すとキースイッチの名称が PRESET ディスプレイに表示されます (キースイッチの詳細は KONTAKT インストゥルメントのマニュアルを参照してください)。
- (5) PAGE ディスプレイ: 現在のマッピングを表示します。 PAGE ディスプレイは 1/6 または ARP 等のマッピング内容を表示します。

## 5.4 NAVIGATE セクション

NAVIGATE セクションでプロダクトをブラウズ、ロードします。



NAVIGATE セクションです。

- (1) **Control encoder:** ブラウザでリザルトリストをスクロール、[TYPES](#) と [MODES](#) で内容を絞り込みます。さらに [SHIFT](#) を押しながらエンコーダーを回すことで、起動している KOMPLETE KONTROL インスタンスのボリューム全体をコントロールすることができます。 詳細は [↑9, ライブラリのブラウズ](#) を参照してください。
- (2) **PRESET ボタン:** ロードしたプロダクトのプリセットファイルの前後ファイルに移動します。
- (3) **ENTER:** ブラウザの選択内容を確認し、ブラウザの次の階層に移動します。 詳細は [↑9, ライブラリのブラウズ](#) を参照してください。
- (4) **Navigate 矢印:** プラグインチェーンでプラグインスロットを選択します。 ホスト上でプラグインページを切り替えます。 詳細は [↑10, エフェクトの使用方法](#) を参照してください。
- (5) **BACK:** オンスクリーンオーバーレイを用いてブラウザ階層の前の段階に戻ります。 詳細は [↑9.13, オンスクリーンオーバーレイによるブラウズ](#) を参照してください。
- (6) **INSTANCE:** ホストが連動しない場合は、KOMPLETE KONTROL ソフトウェア切り替えにはこのボタンを用います。 詳細は [↑6.2, インスタンスの切り替え](#) を参照してください。
- (7) **BROWSE:** ブラウザを表示します。 詳細は [↑9, ライブラリのブラウズ](#) を参照してください。

## 5.5 キーベッドと Light Guide

キーベッドでロードしたインストゥルメントを演奏します。 キーベッドの上の Light Guide はロードしたインストゥルメントとサンプルのキーマッピングを色で視覚化します。 サンプルの有無は鍵盤上で LED が示します。 Light Guide は Smart Play の設定内容にも対応します。 これで例えばスケール、またはコードを選択すると、スケール、またはコードに該当するキーに属する LED が点灯、無効の状態のキーは無灯となります。 Light Guide はホストで MIDI ノートによるパターンを再生する際も演奏キーを表示します。

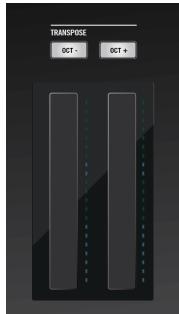


キーベッドとその上の Light Guide です。

詳細は [↑12, インストゥルメントとエフェクトパラメーターの操作](#)、[↑13, Smart Play – スケールとコード演奏と編集](#) と [↑14, Smart Play – アルペジオ演奏と編集](#) を参照してください。

## 5.6 Touch Strips

2つの でロードしたインストゥルメントのピッチとモジュレーションパラメーターをコントロールします。



KOMPLET KONTROL キーボードのタッチストリップです。

左の Touch Strip を Pitch Strip と呼び、自動的にロードしたインストゥルメントのピッチベンドパラメーターがロードされるので MIDI ラーンにより毎回アサインする必要がありません。左の Touch Strip は典型的なピッチホイール（またはピッチベンドホイール）と同等の機能を果たしますが、デフォルト値に戻るまでのスピードを設定することができます。

ロードしたプリセットファイルによって、右側のタッチトリップ（モジュレーショントリップと呼びます）には、左側のタッチトリップと同様にマッピングが行われる場合と、MIDI ラーンによって自由にインストゥルメントパラメーターのアサインを行える場合があります。右のタッチトリップは典型的なモジュレーションホイールと同等の機能を果たしますが、通常のモジュレーションホイールでは設定できない動きを設定することができます。

詳細は [↑15, Touch Strips（タッチトリップ）の設定](#) を参照してください。

## 5.7 トランスポーズボタン



OCT- と OCT+ ボタン ボタンでキーベッドのオクターブを変更します。同時に両方のボタンを押すと、オクターブがセンターピッチに戻ります。

## 6 グローバル (Global) コントロールと環境設定 (Preferences)

このセクションでは KOMPLETE KONTROL のヘッダからアクセスできるグローバルコントロールと環境設定について解説します。

### 6.1 インストゥルメントビュー (Instrument Views)

Once ブラウザからインストゥルメントをロードすると、KOMPLETE KONTROL ソフトウェアのプラグインエリアに表示されます。殆どのインストゥルメントには複数のビューがあり、各コントロールによる詳細設定が可能な状態です。 インストゥルメントビューには **Default View**、**Additional View**、**Edit View** があり、KOMPLETE KONTROL メニューで直接選択できます。



KOMPLETE KONTROL メニューのインストゥルメントビューです。

- ▶ 更にヘッダの View ボタン (+ アイコン) をクリックし、Default View と Additional View を切り替えることができます。

KOMPLETE KONTROL ソフトウェアでインストゥルメントビューを選択した状態であっても、KOMPLETE KONTROL キーボードでインストゥルメントの全インストゥルメントパラメーターを常に制御することができます。



ロードしたインストゥルメントによってビューの総数が異なります。

## 6.1.1 Default View

デフォルトビューは ブラウザからインストゥルメントをロードすると表示されます。ここで各 NKS インストゥルメントの最重要制御部にアクセスします。



POLYPLEX のデフォルトビューです。

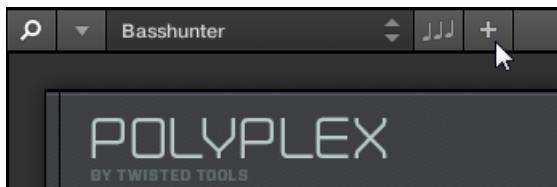
## 6.1.2 Additional View

殆どの NKS インストゥルメントには 2 番目のパラメーター表示部となるアディショナルビュー (Additional View) があります。ロードしたインストゥルメントによって、このアディショナルビューでは詳細コントロール部、またはまったく異なる機能用のコントロール部が用意されます。



POLYPLEX のアディショナルビューです。

KOMPLETE KONTROL メニューとアプリケーションメニューでアディショナルビューを選択する代わりに、KOMPLETE KONTROL のヘッダの **+** ボタンを押して表示することもできます。もう一度押すと Default View に戻ります。



**+** ボタンで Additional View を表示、非表示にします。

### 6.1.3 Edit View



エディットビュー (Edit View) は KONTAKT または REAKTOR インストゥルメントのみで使用可能なビューです。

Edit View で KOMPLETE インストゥルメントを KONTAKT PLAYER または REAKTOR PLAYER から開くことができます。このエディットビューで、通常スタンドアローンモードの KONTAKT または REAKTOR 内で使用できる柔軟な全コントロール部と各機能にアクセスすることができます。



POLYPLEX のエディットビューです。



エディットビューで KOMPLETE KONTROL ブラウザからはロードできないファイルにアクセスします。例えば KONTAKT multis はエディットビューの KONTAKT ブラウザからロードすることとなります。

## 6.2 インスタンスの切り替え

複数の KOMPLETE KONTROL ソフトウェアインスタンスを起動している場合（ホスト上の異なるトラックでプラグインとして複数起動している場合）、KOMPLETE KONTROL キーボードで制御するインスタンスをどれかに絞る必要があります。

### ソフトウェアからインスタンスを切り替える

- ▶ KOMPLETE KONTROL ソフトウェアの特定のインスタンス用にキーボードを切り替えるには、使用するインスタンスのヘッダで Connect ボタン（キーボードアイコン）をクリックします。



### ホストでの自動切り替え

高度連携によりホスト内でプラグインとして KOMPLETE KONTROL を使用する際、選択したトラック内容によってキーボードは自動的にそのモードを KOMPLETE KONTROL ソフトウェアを使用できる状態、または MIDI モードに切り替えます。

- ホストで KOMPLETE KONTROL プラグインを使用しているトラックを選択すると、キーボードは自動的に KOMPLETE KONTROL ソフトウェアの該当インスタンスに切り替わります。これにより鍵盤で即座にプロダクトのパラメーターを制御することができます。
- ホストで KOMPLETE KONTROL プラグインを使用していないトラックを選択すると、キーボードは自動的に MIDI モードになります。ここでホストのパラメーターや、MIDI ラーン機能（を使用できる場合、）で設定したインサートプラグインに対してキーボードから操作することができます。
- ▶ キーボードからサポートホストのトラックを選択するには、トラックがハイライト表示されるまで **NAVIGATE** セクションの上下ボタンを押します。

### キーボードでインスタンスを切り替える

高度連携がない状態でホスト内でプラグインとして KOMPLETE KONTROL を使用する場合は、自動的にインスタンスが切り替わることが無くなります。ですがオンスクリーンオーバーレイを使用することによってキーボードから KOMPLETE KONTROL ソフトウェアの特定のインスタンスを選択することができます。キーボードで KOMPLETE KONTROL インスタンスを切り替える方法は以下となります。

1. **INSTANCE** ボタンを押してオンスクリーンオーバーレイに起動しているすべての KOMPLETE KONTROL ソフトウェアを表示させます。
2. **NAVIGATE** セクションのコントロールエンコーダーを用いて、オンスクリーンオーバーレイでインスタンスを選択します。
3. コントロールエンコーダーを押しインスタンスを選択すると、スクリーン画面が閉じます。  
→ これでキーボードから KOMPLETE KONTROL ソフトウェアの特定のインスタンスを選択することができます。

## 6.3 トランスポートとテンポ

KOMPLETE KONTROL をスタンドアロンで使用する場合、専用 Transport と Tempo コントロールを使用できます。これらはシーケンスを用いた KONTAKT と REAKTOR インストゥルメントやアルペジエーターに反映されます。更にテンポの値は音楽テンポを使用したパラメーターを扱う全インストゥルメントに反映されます (例、リズミックなモジュレーションやディレイエフェクト)。

トランスポートとテンポコントロール部はヘッダーにあります。



KOMPLETE KONTROL のトランスポートとテンポコントロール部です。

- (1) **Play** ボタン: 内部クロックを起動、停止します。これらの値はシーケンスを含む KONTAKT と REAKTOR インストゥルメントに適用されます。
- (2) **Reset** ボタン : リセットボタンで内部クロックをスタート位置にリセットします。KONTAKT と REAKTOR インストゥルメントのシーケンサーも最初から再生されるようになります。アルペジエーターも同様に反応します。
- (3) **Tempo コントロール**: テンポを BPM (beats per minute) で設定します。



KOMPLETE KONTROL をプラグインとして使用している場合、自動的にホストと同期します。これによりトランスポートとテンポ機能は使用できない状態となります。

### 6.3.1 クロックのリセット

ソフトウェア、または鍵盤からソフトウェアのクロックをリセットします。

#### ソフトウェアでクロックをリセットする

- 内部クロックを停止すると、リセットボタンをクリックすることで、内部クロックがリセットされます。プレイボタンを押すと最初から再生を開始します。
- 内部クロックが起動している場合は、リセットボタンをクリックすることで内部クロックをリセットし、最初から再生を続けます。

#### キーボードからクロックをリセットする

- 内部クロック停止時に **STOP** を押すと内部クロックがリセットされます。**PLAY (Restart)** ボタンを押すと最初から再生を開始します。
- 内部クロックが停止している状態で **SHIFT + PLAY (Restart)** を押すと内部クロックがリセットされた後、最初から再生されます。
- 内部クロックが起動している状態で **SHIFT + PLAY (Restart)** を押すと内部クロックがリセットされた後、最初から再生されます。

### 6.3.2 テンポの調節

ソフトウェア、または鍵盤からソフトウェアのテンポをリセットします。

#### ソフトウェアでテンポを設定する

Tempo コントロールでテンポを BPM (beats per minute) で指定します。

- ディスプレイをクリックし、マウスを上下にドラッグします。
- ディスプレイダブルクリックすることで数値を入力することもできます。  
→ テンポは 1 BPM ごと変化します。

## キーボードでテンポを設定する

KOMPLETE KONTROL キーボードを用いてテンポを BPM (beats per minute) で調節することもできます。

- ▶ **SHIFT** を押したままコントロールエンコーダーを押し、回してください。  
→ テンポは 1 BPM ごとで調節できます。

## 6.4 マスター・ボリュームの調整

マスター・ボリュームスライダーで KOMPLETE KONTROL の音量全体を設定します。ボリュームメーターはアウトプットシグナルの現在のピークレベルを表示します。



マスター・ボリュームコントロールです。

以下はアウトプットボリュームの調節方法です。

- ▶ スライダーをクリックして左右にドラッグします。  
→ これでアウトプットボリュームを 0.5 dB ずつ調整できます。設定幅は -30dB から +10dB です。-30dB になると、キーボードのボリュームコントロールは素早くボリュームを下げ、無音となります。

## キーボードでマスター・ボリュームを調整する

以下はキーボードを使ったアウトプットボリュームの調節方法です。

- ▶ **SHIFT** を押したままコントロールエンコーダーを押します。

## 6.5 環境設定 (Preferences)

Preferences で KOMPLETE KONTROL の各設定を行います。

Preferences を開く方法は以下です。

- ▶ KOMPLETE KONTROL メニューで *Edit > Preferences* をクリックします。



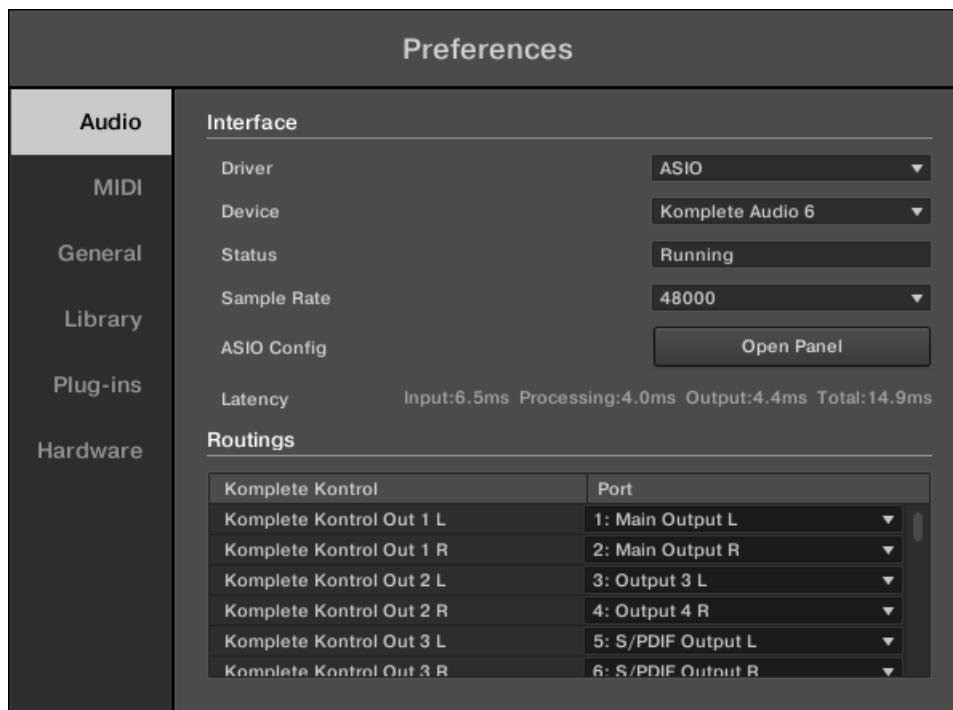
### 6.5.1 Preferences – Audio ページ

KOMPLETE KONTROL をスタンドアローンアプリケーションとして起動している場合、[Audio ページ](#)でオーディオインターフェイスに関する各設定項目を使用できます。



プラグインとして KOMPLETE KONTROL を使用する際オーディオ設定はホストでの設定を使用するので [Audio ページ](#)は使用できない状態となります。

[Routings](#) セクションで KOMPLETE KONTROL のバーチャルアウトプットと、オーディオインターフェイスの物理アウトプットの接続を設定します。



Preferences パネル— Audio ページ

セッティング	内容
Driver	ここで オーディオドライバを選択します。
Device	複数のオーディオインターフェイスを接続している場合は、ここで使用する機器を指定します。
Status	ここでオーディオインターフェイスが正常に機能しているか確認します。
Sample Rate	ここで使用しているオーディオインターフェイスのサンプルレートを表示します。サンプリングレートを変更した後は KOMPLETE KONTROL を再起動してください。

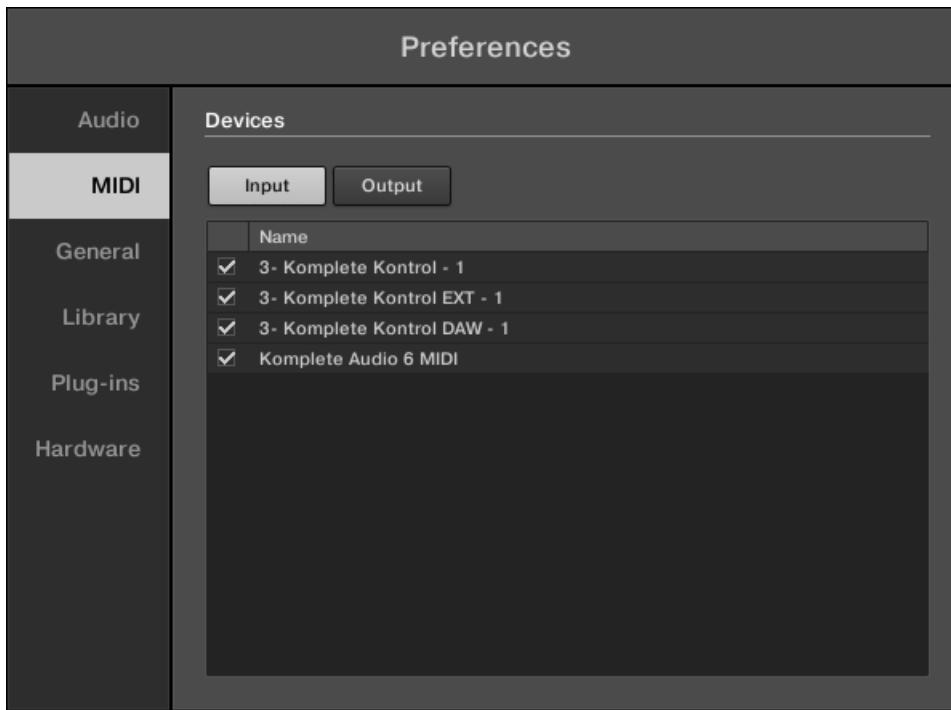
セッティング	内容
Buffer Size (バッファサイズ)	<b>macOS:</b> このスライダーでオーディオインターフェイスのバッファサイズをサンプル単位で調節します。低い値で反応速度は高くなりますが、CPU 負担が高くなる為、オーディオにクリックが生じる場合があります。大きな値で CPU への負担は軽減しますが、レイテンシーは大きくなります (例、パッドを叩いても音声が発音するまでに遅れが生じます)。使用頻度に合わせてクリックが生じない程度まで値を下げてください。 <b>Windows:</b> ASIO ドライバを使用している場合、Audio ページでは Buffer Size スライダーの代わりに ASIO Config ボタンを表示します。このボタンをクリックして選択した ASIO ウィンドウの設定ダイアログを表示します。
Latency	ここでは現在の Buffer Size 設定によるディレイを表示します。
Routings	Routings では KOMPLETE KONTROL の 16 個のステレオアウトプットをリスト表示します。右の欄で、オーディオインターフェイスのアウトプットにアサインします。右の欄のフィールドをクリックしてドロップダウンメニューで任意のアウトプットを選択します。

## 6.5.2 Preferences – MIDI ページ

MIDI ページで KOMPLETE KONTROL をスタンドアロンで起動する際の MIDI インプット/アウトプットの設定を行います。



プラグインとして KOMPLETE KONTROL を使用する際 MIDI 設定はホストでの設定を使用するので MIDI ページは使用できない状態となります。



Preferences パネル— MIDI ページ (コンピューターによってエントリー内容が異なります)

要因	内容
Input	<a href="#">Input</a> をクリックすると、システムで有効な全ての MIDI インプットを表示します。名称隣のチェックボックスをクリックすることで起動/起動解除します。
Output	<a href="#">Output</a> をクリックすると、システムで有効な全ての MIDI アウトプットを表示します。名称隣のチェックボックスをクリックすることで起動/起動解除します。

MIDI Output 設定は KOMPLETE KONTROL の Smart Play 機能を他の MIDI イнструメントと使用する際に必要となります。

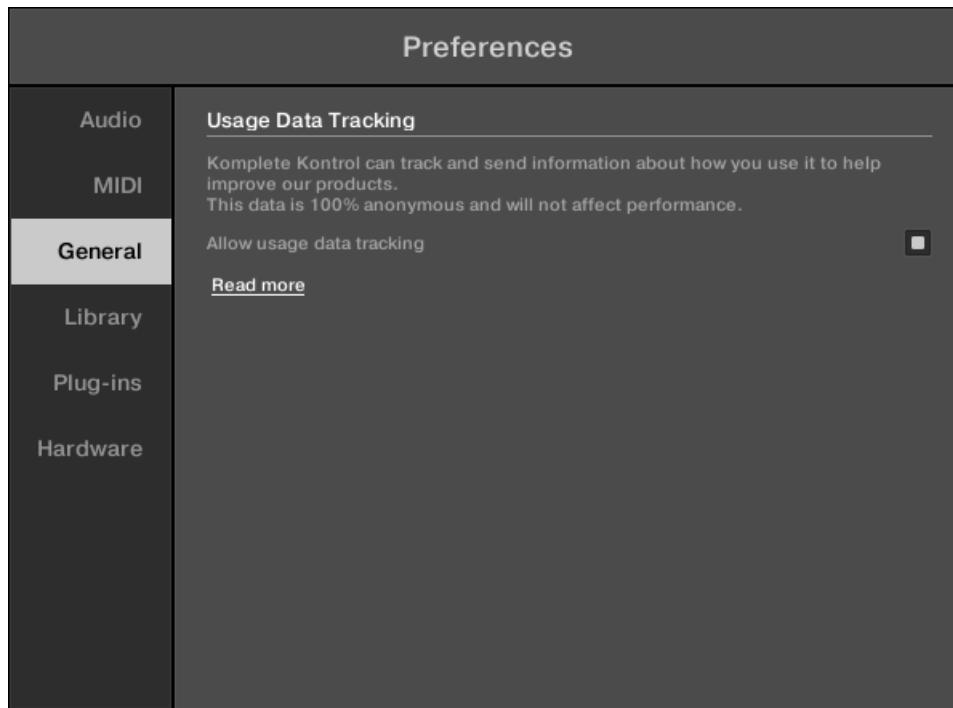
### 6.5.3 Preferences – General ページ

General ページには Usage Data Tracking があります。使用データトラッキング技術により KOMPLETE KONTROL は自動的に使用データを匿名情報として扱います。このデータ共有機能は許可または拒否することができます。

この使用データトラッキング (Usage Data Tracking) 機能は KOMPLETE KONTROL ソフトウェアの Preferences の General ページで起動、起動解除することができます。しかしこのデータトラッキングを有効にすることで Native Instruments アプリケーションが実際の環境でどのように使用されているか把握することは非常に有益であり、今後の技術向上を目的に当社はこれを推奨します。この機能を用いて Native Instruments に送信されるデータは完全に匿名情報として扱われ、操作環境に支障が生じることはありません。

使用データトラッキングに関する詳細は、Native Instruments ウェブサイトで記載しているナレッジベース記事を参照してください。

<https://support.native-instruments.com/hc/en-us/articles/209545029>



KOMPLETE KONTROL Preferences の Usage Data Tracking です。

### データトラッキングの起動と起動解除

Usage Data Tracking 機能を起動/起動解除する方法は以下です。

1. KOMPLETE KONTROL メニューの [Preferences…](#) をクリックして Preferences の *General* ページを開きます。
2. [Allow usage data tracking](#) チェックボックスをクリックし、ユーザーデータトラッキング機能を起動、または起動解除します。

### 6.5.4 Preferences – Library ページ

[Library](#) ページでブラウザの [Library](#) ペインの KOMPLETE KONTROL Library ファイル (ファクトリー、ユーザー) の全ロケーションを編集します。

ページの上部にある [Factory](#) と [User](#) ボタンで Factory ペイン User ペインを切り替えます。

## Factory ペイン

Factory ペインでは有効な全ファクトリーライブラリを表示します。これらのライブラリはブラウザの Library ペインの Factory ビューに表示されます。

The screenshot shows the 'Preferences' window with the 'Library' tab selected. At the top, there are two tabs: 'Factory' (which is highlighted in blue) and 'User'. Below the tabs is a table listing various library locations and their corresponding products. A 'Rescan' button is located at the bottom right of the table area.

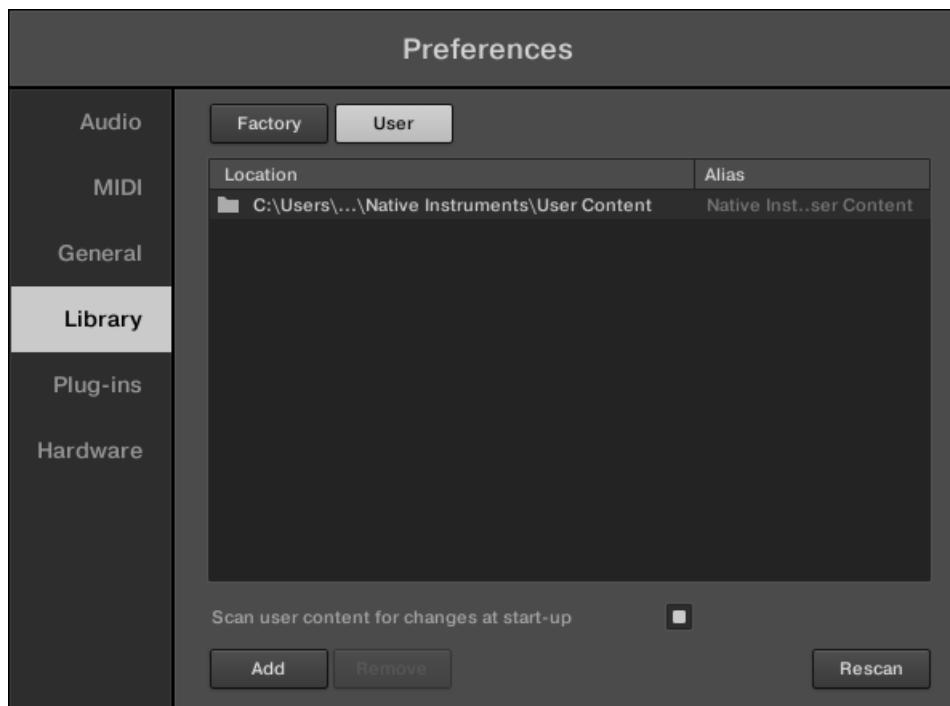
Location	Product
D:\...\Abbey Road 50s Drummer Library	Abbey Ro..Drummer
D:\...\Abbey Road 60s Drummer Library	Abbey Ro..Drummer
D:\...\Abbey Road 70s Drummer Library	Abbey Ro..Drummer
D:\...\Abbey Road 80s Drummer Library	Abbey Ro..Drummer
D:\...\Abbey Road Modern Drummer Library	Abbey Ro..Drummer
D:\...\Abbey Road Vintage Drummer Library	Abbey Ro..Drummer
C:\...\Native Instruments\Absynth 5	Absynth 5..y Content
D:\...\Komplete 9\Action Strikes Library	Action Strikes
D:\...\Komplete 9\Action Strings Library	Action Strings
D:\...\Komplete 9\Alicias Keys Library	Alicias Keys
D:\...\Komplete 9\Balinese Gamelan Library	Balinese Gamelan
D:\...\Komplete 9\Battery 4 Factory Library	Battery 4..ory Library
D:\...\Komplete 9\Berlin Concert Grand Library	Berlin Concert Grand

Preferences パネル - Library ページの Factory ペインです。

要因	内容
Location カラム	各ライブラリのパスを表示します。コンピューターの他の場所にライブラリを移動した場合は、ライブラリの左のフォルダアイコンをクリックして新規パスを指定します。
Product カラム	各製品名称を表示します。これらの名称は編集できません。
Rescan ボタン	ライブラリの内容を変更した場合 (例、場所の変更) は、リストのこの部分をクリックし、Rescan ボタンをクリックしてライブラリの内容を再スキャンします。

## User ペイン

User ペインでは現在使用している全ユーザー・ライブラリを表示します。ここには KOMPLETE KONTROL のスタンダードユーザー・ディレクトリとその他のディレクトリが含まれます。これらのライブラリはブラウザの Library ペインの User ビューに表示されます。



Preferences パネル– Library ページの User ペインです。

要因	内容
Location カラム	各ライブラリのパスを表示します。コンピューターの他の場所にライブラリを移動した場合は、ライブラリの左のフォルダアイコンをクリックして新規パスを指定します。
Alias カラム	各ライブラリ用に保存されたエイリアスを表示します。エイリアスをクリックして編集します。エイリアスをクリックして編集します。ユーザーフォルダー用にエイリアスを設定することは必須ではありませんが、異なるコンピューターを使用する際に大変便利です（以下参照）。ロケーションを追加した後（以下 <a href="#">Add</a> 参照）、新規項目欄のフィールド部をクリックし、Alias カラムで新規ロケーション用エイリアスを設定します。デフォルトユーザーフォルダエイリアスである <a href="#">Native Instruments User Directory</a> は編集することができません。ここにデフォルトで全ユーザーファイルが保存されます。
Scan user content for changes at start-up	デフォルトで起動した状態となるこのオプション機能は、KOMPLETE KONTROL 起動時に追加された新規ユーザーコンテンツがあるか自動的にチェックします。
Add ボタン	<a href="#">Add</a> をクリックしてユーザーライブラリにディレクトリを手動で追加します。詳細は以下を参照してください。
Remove ボタン	<a href="#">Remove</a> をクリックして選択したユーザーライブラリを削除します。ファイルは KOMPLETE KONTROL ブラウザから削除されるだけで、ハードディスクから削除されることはありません。
Rescan ボタン	ライブラリの内容を変更した場合（例、ファイルの追加、削除後）は、リストのこの部分をクリックし、 <a href="#">Rescan</a> ボタンをクリックしてライブラリの内容を再スキヤンします。



この Preferences（環境設定）パネルのサイズは通常コンピューター上で行う方法と同様の方法で変更することができます。各項目欄の境界線をドラッグして各欄のサイズ変更を行うこともできます。

## ユーザーライブラリにフォルダを追加する

Library ページの User ペインで KOMPLETE KONTROL ライブラリのユーザーコンテンツに他のフォルダを追加することができます。方法は以下となります。

1. ペインの下の [Add](#) をクリックします。  
フォルダ選択ダイアログが表示されます。
2. ダイアログでコンピューター上の任意のフォルダを選択、 [OK](#) をクリックします([Choose](#)、 選択、 macOS)。  
→ 選択したフォルダ内の全 KOMPLETE KONTROL-互換ファイルが KOMPLETE KONTROL のユーザーコンテンツに追加されます。



KOMPLETE KONTROL-互換ファイルは *ens*、*rkplr*、*nrkt*、*nksn*、*nfm8*、*nabs*、*nki*、*nmsv*、*nbkt*、*nis* となります。

更にインポートした全てのファイルのアトリビュートセット (Instrument/Bank/Sub-Bank、Type/Sub-Type/Mode タグ、プロパティー) も再現されます。

KOMPLETE KONTROL ライブラリのユーザーコンテンツにフォルダを追加する場合は、ブラウザの [Library](#) ペインにファイルを作成して検索とロードがスムーズに行えるようにしてください。



ブラウザの [Files](#) ペインの [IMPORT](#) ボタンを介して追加したフォルダのパスもここに表示されます。ここで解説する [Preferences](#) パネルで [Add](#) ボタンを使用してフォルダを追加する方法とブラウザの [Files](#) ペインの [IMPORT](#) ボタンを使用してフォルダを追加する方法の相違点は、後者ではインポートしたファイルに直接タグをつけることが可能な点にあります。

フォルダ選択時に [User](#) または [Factory](#) ペインに既に表示してあるフォルダを選択、またそのフォルダを含んだフォルダを選択することはできません。 フォルダセレクションダイアログで [OK](#) 、([Choose](#)、 選択、 macOS) を押した時点で KOMPLETE KONTROL が上に該当するようなフォルダを検出した場合は [Duplicate Location](#) メッセージが表示されるので、[OK](#) をクリックしてフォルダセレクションダイアログに戻り、コンピューターで他のフォルダを選択します。

## ユーザーライブラリからフォルダを削除する

デフォルトユーザーコンテンツディレクトリである、 [Native Instruments User Content](#) 以外のユーザー フォルダをライブラリから削除することもできます。

### 6.5.5 Preferences – Plug-ins ページ

[Plug-ins](#) ページで KOMPLETE KONTROL 内の VST プラグインを管理します。

ページ上部の [Manager](#) と [Locations](#) ボタンで [Manager](#) ペインと [Locations](#) ペインを切り替えます。

## Manager ペイン

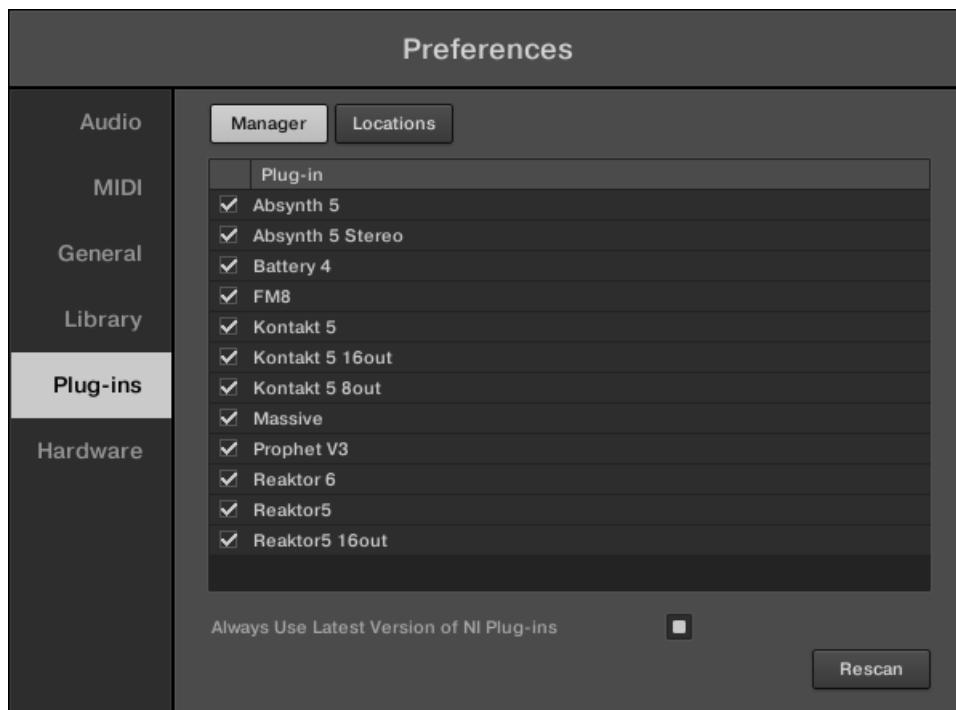
Manager ペインで KOMPLETE KONTROL の全 VST プラグインを閲覧、管理することができます。デフォルトでは全てのプラグインが KOMPLETE KONTROL 内で使用できる状態に設定しております。

- ▶ KOMPLETE KONTROL で必要としないプラグインを起動しない状態にするには、プラグイン名称横のチェックを外します。

[Always use latest version of NI Plug-ins](#) オプションでプラグインをライブラリからロードする際最新のプラグインをロードするか否かを指定します。このオプションを無効にすると、Library コンテンツはコンピューターの最低限必要な動作環境に対応するものをロードします。



例えば、このオプションはフルバージョンの REAKTOR 5 と REAKTOR 6 Player が必要な KOMPLETE インストゥルメントをインストールしている場合等で使用できます。このオプションを無効にすると、フルバージョンの REAKTOR 5 をロード、REAKTOR 5 の Factory Library が使用でき、KOMPLETE インストゥルメントは REAKTOR 6 Player 内で起動します。この場合、REAKTOR 5 Factory Library を REAKTOR 6 Player で使用できない場合ため、このような状態になります。



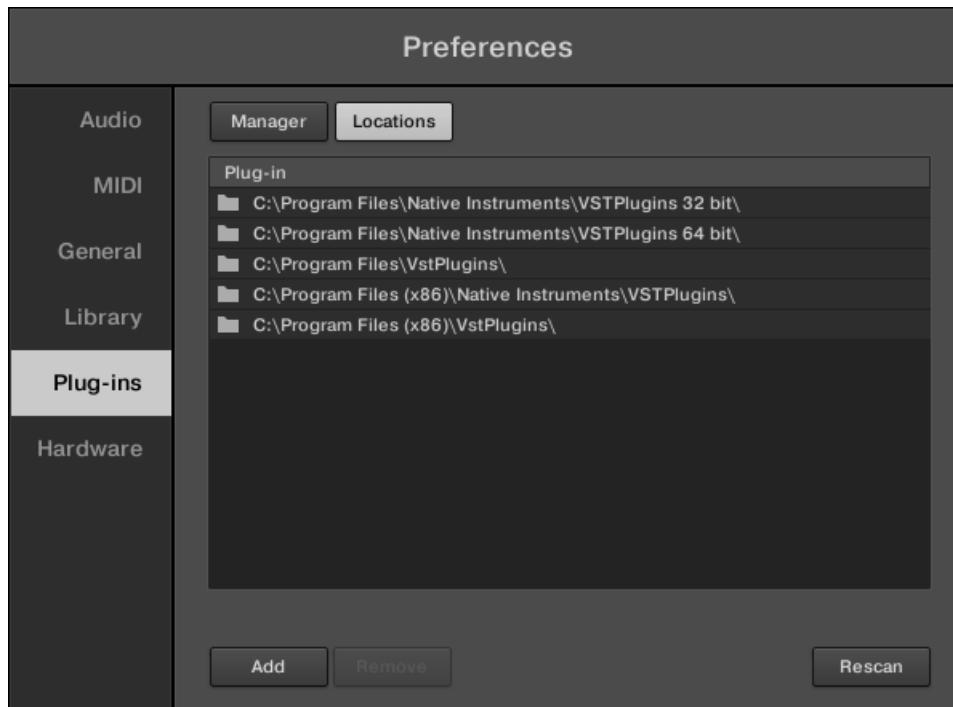
Preferences パネル—Plug-ins ページの Manager ペインです。

要因	内容
チェックボックス欄です。	KOMPLETE KONTROL で使用するプラグインをここで起動、起動しない状態にするか選択します。
Plug-in 欄	KOMPLETE KONTROL の全 VST プラグインをリスト表示します。
Always use latest version of NI Plug-ins	このオプションを有効にすると、Library コンテンツは最新バージョンのプラグインをロードします。 このオプションを無効にすると、Library コンテンツは最低限必要な動作環境に対応するものをロードします。

## Locations ペイン

Locations ペインでハードドライブにあるプラグインを含んだ各フォルダを管理します。KOMPLETE KONTROL がそれらのフォルダをスキャンし、VST プラグインを検索、Manager ペインに追加します。リストからフォルダを Add (追加)、Remove (削除) したり、フォルダの内容を変更した場合や更新した場合は Rescan 機能で KOMPLETE KONTROL 内のプラグインをアップデートすることもできます。

- ▶ Locations ペインを表示するには、Plug-ins ページ最上部にある Locations ボタンを押します。



Preferences パネル—Plug-ins ページの Locations ペインです。

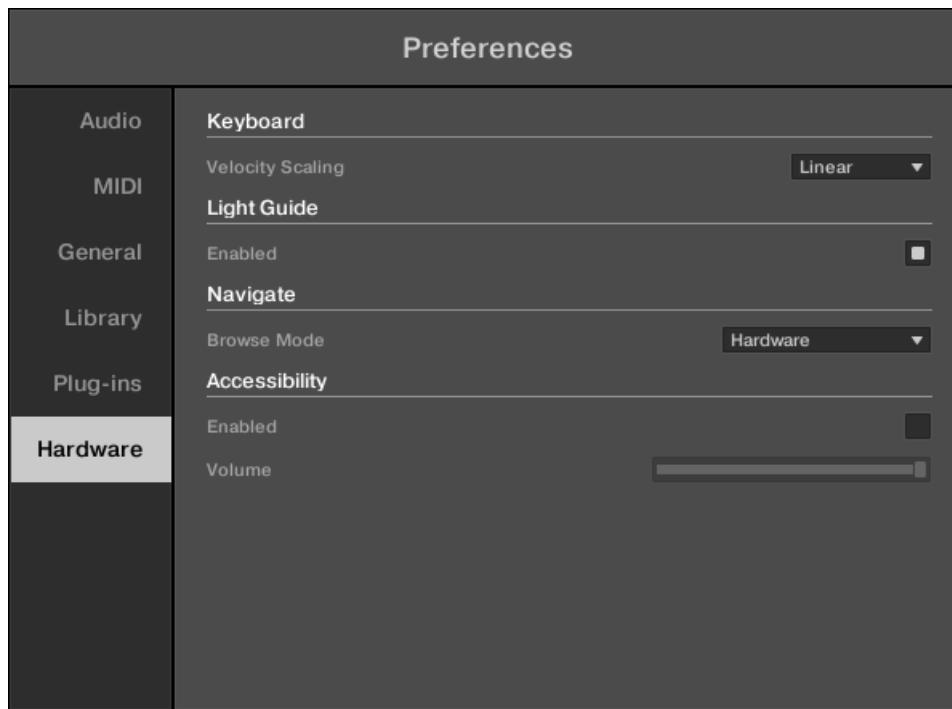
セッティング	内容
Plug-in 欄	KOMPLETE KONTROL が VST プラグインを対称に全フォルダをスキャンします。
Add	ファイルダイアログを開き、リストに他のフォルダを追加します。

セッティング	内容
Remove	リストから選択しているフォルダを削除します。
Rescan	リストにある全フォルダをスキャンし、プラグインの更新内容にあわせて Manager ペイン内容をアップデートします。

## 6.5.6 Preferences – Hardware ページ

Hardware ページで鍵盤の反応、Light Guide のオン/オフ性質をカスタマイズすることができます。

- ▶ Hardware ページを表示するには、KOMPLETE KONTROL を接続した状態で Preferences パネル左の Hardware タブをクリックします。



Preferences パネル—Hardware ページです。

セッティング	内容
<b>Keyboard</b>	
Velocity Scaling	<a href="#">Velocity Scaling</a> (ベロシティースケーリング) で演奏情報をどのようなペロシティーで対応するか選択します。選択肢は <i>Soft 3</i> (反応感度が高い) から <i>Linear</i> を介し、 <i>Hard 3</i> (力を入れて鍵盤を叩かないと反応しません) までとなっています。
<b>Light Guide</b>	
Enabled	<a href="#">Light Guide</a> は鍵盤上部にある色付き LED 部で、この部分がオンオフ点灯します。Light Guide はホストが再生する MIDI パターンを視覚化、また Perform Panel で設定したスケールを基準に発音しているキーを表示します。
<b>ナビゲート</b>	
Browse Mode	<a href="#">Hardware</a> と <a href="#">On-Screen Overlay</a> モードを切り替え、キーボードでのブラウズに活用します。
<b>ユーザー補助機能 (Accessibility)</b>	
Enabled	視覚障害者用 機能で、text-to-speech 機能を有効にします。
Volume	text-to-speech 機能のボリュームを調節します。

## 6.6 デフォルトの状態でプラグインをロードする

KOMPLETE KONTROL メニューからデフォルトの状態のプラグインをロードすることもできます。

- ▶ KOMPLETE KONTROL メニューで *Plug-ins > Native Instruments > Massive* と選択します。



→ プラグインがロードされます。全パラメーターをデフォルト値にリセットします。



デフォルトの状態のプラグインのロードはソフトウェア操作のみで行えます。

## 7 MIDI コミュニケーション

KOMPLETE KONTROL は使用している MIDI 環境に対応する MIDI コントロールとホストオートメーションに対応しています。このセクションでは MIDI 信号とホストオートメーションについて、またキーボードを MIDI モード、スタンドアロン MIDI コントローラーモードで活用する方法を解説します。

### MIDI 入力

KOMPLETE KONTROL とロードするインストゥルメントは MIDI とホスト (KOMPLETE KONTROL をプラグインとして使用している場合) を介して操作できます。

- **Triggering Instruments via MIDI notes:** デフォルトで受信 MIDI ノートはロードしたインストゥルメントを発音、Light Guide の対応する鍵盤上部の LED を点灯します。
- **Controlling parameters via host automation:** ホストオートメーションで KOMPLETE KONTROL とインストゥルメントのパラメーターをコントロールすることができます (KOMPLETE KONTROL をプラグインとして使用している場合)。

### MIDI クロックの受信

KOMPLETE KONTROL は MIDI Clock を受信しません。しかし KOMPLETE KONTROL をプラグインとして使用している場合、自動的にホストのテンポと同期します。KOMPLETE KONTROL ヘッダのテンポ表示部は灰色表示となり、テンポはホストテンポと同期していることを示します。

### MIDI 送信

send MIDI data from KOMPLETE KONTROL で KOMPLETE KONTROL から MIDI データを送信することができます。

- **MIDI インストゥルメントのトリガーと MIDI ノートの録音:** KOMPLETE KONTROL は MIDI Note、Pitch Bend、Channel Pressure (アフタータッチ) メッセージをホスト、または MIDI アプリケーション、機器に送信します。
- **MIDI アプリケーション/機器の制御:** KOMPLETE KONTROL の MIDI モードで各 MIDI アプリケーションや機器に対してコントロールチェンジ/プログラムチェンジメッセージを送信します。
- **加工した MIDI ノートのルーティングと録音:** KOMPLETE KONTROL が MIDI アウトプットを介してスタンドアロンアプリケーション、プラグインから Scale エンジン、アルペジエーターにより生成された MIDI ノートを送信します。MIDI ノートを他の MIDI インストゥルメントにルーティング、またはホストで MIDI パターンとして録音することもできます。



MIDI アウトプットはスタンドアローンアプリケーションと VST と AAX バージョンのプラグイン使用時に使用できます。AU (Audio Unit) バージョンのプラグインで MIDI アウトプット機能は使用できません。

## 7.1 ホストオートメーション

ホスト上で KOMPLETE KONTROL プラグインをロードすると、インストゥルメントのパラメーター、Scale パラメーター、アルペジエーター・パラメーターをホスト上でオートメーションすることができます。

### 7.1.1 オートメーションの録音

ホストを録音オートメーション用に設定すると、ソフトウェアとキーボードでの操作により以下の内容を反映させることができます。

- ソフトウェアで各ボタンをクリック、またはキーボードで各ボタンを押すことで Scale と Arpeggiator 機能を起動、起動解除します。
- ソフトウェア、またはハードウェアの各ノブを回すことでパラメーター値を選択します。



ホストによるオートメーション録音の詳細は使用しているホストソフトウェアの資料を参照してください。

ホストによってはプラグインの特定のパラメーターにマッピングされたオートメーション ID を用いてオートメーションを扱う場合もあります。KOMPLETE KONTROL にはあらかじめ設定が施されたオートメーション ID のリストを備えており、ホストはこれらを自動的に検知します。

### 7.1.2 Perform Panel 用オートメーション ID

以下のオートメーション ID は KOMPLETE KONTROL の Perform パネルのパラメーター用です。

Automation ID	パラメーター
000	インスタンス認識と自動フォーカスフォロー用のものです。
001	Scale On / Off
002	Root Note (Scale)
003	Scale Type (Scale)
004	Key Mode (Scale)

Automation ID	パラメーター
006	Chord Mode (Scale)
007	Chord Type (Scale)
026	Arp On / Off
027	Mode (Arp)
028	Type (Arp)
029	Rate (Arp)
030	Sequence (Arp)
031	Swing (Arp)
032	Octaves (Arp)
033	Dynamic (Arp)
034	Gate (Arp)
035	Retrigger (Arp)
036	Repeat (Arp)
037	Offset (Arp)
038	Inversion (Arp)
039	Min. Key (Arp)
040	Max. Key (Arp)
041	Hold (Arp)

## 7.2 MIDI モードでキーボードモードを使用する

KOMPLETE KONTROL キーボードで KOMPLETE KONTROL ソフトウェアを使用する他にも、キーボードを USB や DIN 規格の 5 ピン MIDI 接続を介してコンピューターに接続し、万能な MIDI コントローラーとして MIDI 使用が可能なアプリケーションや機器を操作することが可能です。

KOMPLETE KONTROL は MIDI イнструメント用に MIDI Note、Pitch Bend、Channel Pressure (アフタータッチ) メッセージを送信、また MIDI アプリケーション、または機器用に Control Change と Program Change メッセージを送信します。

- キーボードを起動するとディスプレイが PRESS BROWSE と表示、KOMPLETE KONTROL ソフトウェアインスタンスをコントロールしていることを示します。
- キーボードを起動するとディスプレイが MIDI CC ナンバーを表示している場合、キーボードは MIDI モードであることを意味します。KOMPLETE KONTROL ソフトウェアを起動していない状態でキーボードは直接 MIDI モードを起動します。

## MIDI モードへの切り替え

キーボードの KOMPLETE KONTROL ソフトウェアモードと MIDI モードを切り替える方法は以下となります。

1. キーボードで **SHIFT + INSTANCE** を押します。
2. 更に **INSTANCE** ボタンを押して **Switch to MIDI mode** を選択することで専用画面を表示することも可能です。
3. MIDI モードを解除するには、**SHIFT + INSTANCE** を押します。



サポートホスト内でプラグインとして KOMPLETE KONTROL を使用する際、選択したトラック内容によってキーボードは自動的にそのモードを KOMPLETE KONTROL ソフトウェアを使用できる状態、または MIDI モードに切り替えます。

## MIDI アサイン

MIDI モードの多様性はコントローラーエディター (Controller Editor) アプリケーションによるものです。このアプリケーションによってキーボード制御に必要な正確な MIDI アサインが設定できます。コントローラーエディターは KOMPLETE KONTROL インストールの過程でインストールされます。詳細を確認するには、ハードドライブ内のコントローラーエディターインストールフォルダ内のサブフォルダ、Documentation にある Controller Editor Manual (PDF) を参照してください。

## 7.3 スタンドアロン MIDI コントローラーとしてキーボードを使用する

USB 接続を介さずに（電源のみを用いて）KOMPLETE KONTROL キーボードを起動すると、キーボードのリアパネルにある DIN 規格の 5 ピン MIDI 端子を用いて MIDI 機器を接続してスタンドアロン MIDI キーボードとして使用することができます。

キーボードのキーベッドとコントロールがスタンドアローン用デフォルトテンプレートを用いて各 MIDI メッセージを送信します。



Controller Editor アプリケーションのテンプレートを右クリックし、*Set as Standalone Default* を選択することでスタンドアローン用デフォルトテンプレートを他のものに変更することもできます。詳細を確認するには、ハードドライブ内のコントローラーエディターインストールフォルダ内のサブフォルダ、Documentation にある Controller Editor Manual (PDF) を参照してください。

## 8 ホスト連携

に対応したホストを使用する際、KOMPLETE KONTROL キーボードがスタジオセットアップの中核となります。KOMPLETE KONTROL にロードしたインストゥルメントまたはエフェクトの操作のみならず、サポートホストの主要機能も制御できます。



高度運動機能を使用する前に、必要な設定を施す必要があります。詳細は [↑3.3, ホスト連携用設定](#) を参照してください。

KOMPLETE KONTROL は以下のホストに対して高度連携します。

- MASCHINE 2
- Apple Logic Pro X
- Apple GarageBand
- Ableton Live 9
- Steinberg Cubase Artist 8.5/9/9.5
- Steinberg Cubase Pro 8.5/9/9.5
- Steinberg Nuendo 7/8

サポートホストの連動に関しては各ホストの関連セクションを参照してください。

- [↑8.1, MASCHINE との使用](#)
- [↑8.2, Apple Logic Pro X と GarageBand との連携](#)
- [↑8.3, Ableton Link との連携](#)
- [↑8.4, Steinberg Cubase/Nuendo サポート](#)

### 8.1 MASCHINE との使用

MASCHINE を使用する際、KOMPLETE KONTROL キーボードで MASCHINE の多くの機能をハードウェアから直接操作することができます。キーボードにマッピングされる機能は以下となります。

#### ソフトウェアを使用して MASCHINE を接続する

KOMPLETE KONTROL キーボードと MASCHINE ソフトウェアを接続する方法は以下です。

- ▶ ヘッダのキーボードアイコンをクリックします。



## キーボードを使用して MASCHINE を接続する

1. INSTANCE を押しオブスクリーンオーバーレイで MASCHINE インスタンスを選択します。
2. コントロールエンコーダーを押してキーボードと MASCHINE を接続します。

## Transport Control

MASCHINE に対する操作内容	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
<b>基本トランスポート</b>	
再生/再生停止	PLAY (RESTART)
ループレンジの最初から再生を開始します。	SHIFT + PLAY (RESTART)
録音を開始、停止します。	REC (COUNT-IN)
カウントしてから録音を開始します。	SHIFT + REC (COUNT-IN)
再生/録音停止	STOP
メトロノームを起動/起動解除します。	SHIFT + STOP
<b>ループレンジ</b>	
ループレンジ全体の移動	LOOP + コントロールエンコーダー
ループレンジの起点の移動	LOOP + 左ナビゲート + コントロールエンコーダー
ループレンジの終点の移動	LOOP + 右ナビゲート + コントロールエンコーダー
ループレンジの全シーンを含む	SHIFT + LOOP
<b>再生ヘッドのジャンプ</b>	
パターングリッド単位で再生位置を後方移動する	RWD
パターングリッド単位で再生位置を前方移動する	FFW

MASCHINE に対する操作内容	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
ステップグリッド単位で再生位置を後方移動する	SHIFT + RWD
ステップグリッド単位で再生位置を前方移動する	SHIFT + FFW

## エディットコントロール

MASCHINE に対する操作内容	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
選択したグループの Scale エンジンを起動、起動解除します。	SCALE (EDIT)
選択したグループのアルペジエーターを起動、起動解除します。	ARP (EDIT)
選択したグループの Scale エンジンを編集します。	SHIFT + SCALE (EDIT)
選択したグループのアルペジエーターを編集します。	SHIFT + ARP (EDIT)

## Transpose

MASCHINE に対する操作内容	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
Pitch Strip 用 Touch Strip 設定を編集します。	SHIFT + OCT-
Modulation Strip 用 Touch Strip 設定を編集します。	SHIFT + OCT+

## Navigation

KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン	MASCHINE に対する操作内容
コントロールエンコーダー	
パターングリッド単位でソングポジションを移動します。	コントロールエンコーダー (回す)
スロットボリュームを調整します。	SHIFT + コントロールエンコーダー (回す)
ブラウズ時にプリセットファイルをお気に入り登録します。	SHIFT + コントロールエンコーダー (押す)
ナビゲート矢印	

KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン	MASCHINE に対する操作内容
選択したサウンドスロットで前のプラグインスロットを選択します。	左ナビゲート矢印
選択したサウンドスロットで次のプラグインスロットを選択します。	右ナビゲート矢印
前のプラグインページの選択	ページ左
次のプラグインページの選択	ページ右
選択したグループで前のサウンドスロットを選択します。	上ナビゲート矢印
選択したグループで次のサウンドスロットを選択します。	下ナビゲート矢印
前のグループを選択します。	SHIFT + 上ナビゲート矢印
次のグループを選択します。	SHIFT + 下ナビゲート矢印
<b>Other</b>	
ブラウザを開く	BROWSE
MASCHINE と KOMPLETE KONTROL インスタンスの切り替えを行います。	INSTANCE
MIDI モードへの切り替え	SHIFT + INSTANCE
前のプリセットファイルの選択	PRESET 上
次のプリセットファイルの選択	PRESET 下
オンスクリーンオーバーレイでその前の段階に戻ります。	BACK
オンスクリーンオーバーレイでその後の段階に移動します。	ENTER

## 8.2 Apple Logic Pro X と GarageBand との連携

Apple Logic Pro X または GarageBand を使用する際、KOMPLETE KONTROL キーボードからこれらの多くの機能をハードウェアから直接操作することができます。キーボードにマッピングされる機能は以下となります。

Apple Logic Pro X、GarageBand のホスト統合に関しては Apple Logic Pro X と GarageBand の設定を参照してください。

Logic Pro X と GarageBand での動作	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
再生開始	PLAY (RESTART)
録音を開始します。	REC (COUNT-IN)
カウントインの起動/起動解除	SHIFT + REC (COUNT-IN)
再生/録音停止	STOP
メトロノームを起動/起動解除します。	SHIFT + STOP
ループモードの起動、起動解除	LOOP
指定した長さによるループの移動	LOOP + コントロールエンコーダー
1 小節単位による曲再生位置の移動	コントロールエンコーダー
一つ上のトラック選択	Navigate Up
一つ下のトラック選択	Navigate Down
アンドゥー操作	SHIFT + Navigate 左
リドゥー操作	SHIFT + Navigate 右
曲再生位置を後方移動する	RWD
曲再生位置を前方移動する	FFW

### 8.3 Ableton Link との連携

Ableton Live を使用している場合は、KOMPLETE KONTROL キーボードから直接各機能を操作することができます。キーボードにマッピングされる機能は以下となります。

Ableton Live のホスト統合に関しては Ableton Live の設定 (macOS) と Ableton Live の設定 (Windows) を参照してください。

Ableton Live での動作	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
再生開始	PLAY (RESTART)
録音を開始します。	REC (COUNT-IN)
カウントインの起動/起動解除	SHIFT + REC (COUNT-IN)

Ableton Live での動作	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
再生/録音停止	STOP
メトロノームの起動、起動解除	SHIFT + STOP
ループモードの起動、起動解除	LOOP
指定した長さによるループの移動	LOOP + コントロールエンコーダー
1 小節単位による曲再生位置の移動	コントロールエンコーダー
一つ上のトラック選択	Navigate Up
一つ下のトラック選択	Navigate Down
アンドゥー操作	SHIFT + Navigate 左
リドゥー操作	SHIFT + Navigate 右
曲再生位置を後方移動する	RWD
曲再生位置を前方移動する	FFW

## 8.4 Steinberg Cubase/Nuendo サポート

Steinberg Cubase または Nuendo を使用する際、KOMPLETE KONTROL キーボードからこれらの多くの機能を直接操作することができます。キーボードにマッピングされる機能は以下となります。

Cubase/Nuendo のホスト統合に関しては Steinberg Cubase / Nuendo 設定 を参照してください。

Cubase/Nuendo での動作	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
再生開始	PLAY (RESTART)
録音を開始します。	REC (COUNT-IN)
カウントインの起動/起動解除	SHIFT + REC (COUNT-IN)
再生/録音停止	STOP
メトロノームを起動/起動解除します。	SHIFT + STOP
ループモードの起動、起動解除	LOOP
指定した長さによるループの移動	LOOP + コントロールエンコーダー
1 小節単位による曲再生位置の移動	コントロールエンコーダー

Cubase/Nuendo での動作	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
一つ上のトラック選択	Navigate Up
一つ下のトラック選択	Navigate Down
アンドゥー操作	SHIFT + Navigate 左
リドゥー操作	SHIFT + Navigate 右
曲再生位置を後方移動する	RWD
曲再生位置を前方移動する	FFW

## 9 ライブラリのブラウズ

ブラウザで KOMPLETE KONTROL ライブラリにアクセス、内包するインストゥルメントとエフェクトにアクセスします。 Instrument と Effect プリセットファイルの検索、絞込み検索、ロード、または KOMPLETE KONTROL ソフトウェアでは各プリセットファイルを Favorites として登録でき、 KOMPLETE KONTROL キーボードを用いることでもブラウザにアクセスすることができます。この方法でハードウェアのみを用いてプリセットファイルをブラウズできるようになります。

KOMPLETE KONTROL でプリセットファイルとタグを保存することもでき、ユーザーコンテンツを自分用にカスタマイズ、自身のサウンドライブラリを作成することができます。追加項目は自動的に KOMPLETE KONTROL ライブラリペインのユーザーセクションに追加されます。タグの追加と編集はソフトウェアのみで使用できます。 詳細はセクション [↑11.1, ユーザーライブラリにプリセットファイルを保存する](#)、[↑11.3, ユーザープリセットファイルのタグとプロパティーを編集する](#) を参照してください。

### Instruments または Effects をブラウズする代わりに Products をブラウズする

Instruments と Effects に対する方法と同じなので、このセクションでは各プロダクトタイプを Products と呼びます。 ブラウザはプラグインチェーンで選択した内容に合わせて自動的にプロダクトタイプを Instrument または Effect に切り替えます。 Product Types の情報と各 Product Types の切り替えに関しては [↑9.1.1, Product Types: Instrument と Effect](#) を参照してください。

### ワークフローの解説をより把握する為にブラウズモード、ハードウェアにすることを推奨します

KOMPLETE KONTROL キーボードでブラウズを行う際ブラウズモード **Hardware** にすることで、**オンスクリーンオーバーレイ**と比較した場合ユーザーの使用感が向上します。これを理由にここで解説するワークフローでは事前にソフトウェアでブラウズモードハードウェアを使用するように設定してあることを前提に解説を進めます。 詳細は [↑9.1.2, ブラウズモード](#) を参照してください。

オンスクリーンオーバーレイを用いたワークフローに関しては [↑9.13, オンスクリーンオーバーレイによるブラウズ](#) を参照してください。

ブラウザ各部の詳細は [↑4.2, ブラウザ](#) を参照してください。

### 9.1 ブラウザの基本

このセクションではブラウザの基本的な内容を解説します。

### 9.1.1 Product Types: Instrument と Effect

ライブラリにはインストゥルメントとエフェクトを備えていますが同時にこれら 2 種類の Product Types をブラウズすることはできません。ブラウザのプロダクトタイプで選択したプラグインスロットによって「Instrument」、「Effect」に切り変わります。

- KOMPLETE KONTROL を起動、またはプラグインチェーンの最初のプラグインスロットの Product Type は「Instrument」となり、ブラウザの該当するアイコンも反応します。



- それ以降のプラグインスロットを選択すると、Product Type は「Effect」となり、この場合もブラウザの該当するアイコンが反応します。



プラグインチェーンとその使用方法に関しては [↑4.5, プラグインチェーンパネル](#) と [↑10, エフェクトの使用方法](#) を参照してください。

### 9.1.2 ブラウズモード

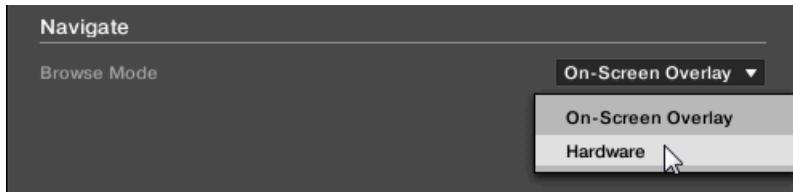
KOMPLETE KONTROL は KOMPLETE KONTROL キーボードを用いた 2 つのブラウズ方法を用意、それらをブラウズモードと呼びます。

- **オンスクリーンオーバーレイ:** デフォルトで **BROWSE** ボタンを押すことで オンスクリーンオーバーレイ がコンピュータースクリーンに表示され、ここでブラウザの現在の状態をすべて確認することができ、キーボードの **NAVIGATE** セクションでコントロールすることができます。 オンスクリーンオーバーレイの詳細は [↑9.13, オンスクリーンオーバーレイによるブラウズ](#) を参照してください。
- **Hardware:** 更に KOMPLETE KONTROL ライブラリのブラウズ時にキーボード のノブとディスプレイを使用することもできます。 この場合は、ブラウザ各機能がキーボードのコントロールセクションに直接マッピングされ、これで KOMPLETE KONTROL ブラウザのワークフローをコンピューターの画面を見ることなく進めることができます。

#### Browse Mode Hardware の選択

ブラウズモード、ハードウェアを起動する方法は以下です。

1. KOMPLETE KONTROL の Preferences を開きます。
2. [Keyboard](#) ページを選択します。
3. *Browse Mode* ドロップダウンメニューで [Hardware](#) を選択します。



→ Control セクションにブラウザ機能がマッピングされ、ページボタンとノブでコントロールできるようになります。



KOMPLETE KONTROL のユーザー補助機能を使用する際は、[Browse Mode](#) が自動的に *Hardware* に切り替わります。

### 9.1.3 ライブラリとメタインフォメーションについて

プリセットファイルの管理、検索、場所の特定、ロード等の KOMPLETE KONTROL プリセットファイルに関する項目を [ライブラリ](#) でこなします。ライブラリは KOMPLETE インストゥルメントのファクトリー・コンテンツと NKS インストゥルメント、エフェクト、ユーザー・コンテンツを含んでいます。

#### タグ

迅速、かつ効率よく正確にプリセットファイル検索を行うには、通常のオペレーションシステムのフォルダ構造の上を行くシステムであるタグを駆使する必要があります。例えばライブラリに含まれる各プリセットファイルは以下の特徴を踏まえたタグ情報を含んでいます。

- プリセットファイルのコンテンツタイプ、プロダクトのファクトリー・ライブラリ内にあるのか、ユーザーによって作成されたものか、といった内容による分類です。
- プリセットファイルが含まれている **Product** — この分類では製品カテゴリー、特定の製品、製品のパンクによって分類されます。

- 各プリセットファイルの特徴で分類するにはタグが用いられ、例えばエフェクトの種類、音声の特徴、使用コンテンツ等でファイルを分類します。

## ライブラリに含まれるプリセットファイルについて

ライブラリに含まれるプリセットファイルは、[Preferences](#) パネルの [Library](#) ページにリスト表示されるフォルダ内の全 KOMPLETE KONTROL 関連ファイルとなります。

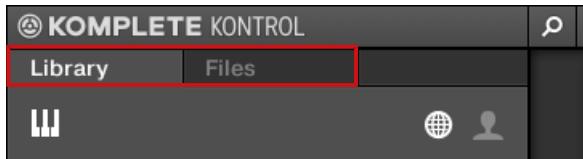
KOMPLETE KONTROL で作成したサウンドは [Library pane](#) のユーザー・コンテンツセクションに保存することもできます。

### 9.1.4 ライブラリの閲覧とハードディスクの閲覧

更にブラウザでは KOMPLETE KONTROL ライブラリをブラウズする他にも一般的な方法でファイルシステム内を閲覧することもできます。各方法でブラウザでは各ツールを備えた専用ペインを用意しています。

- [Library](#) ペインで KOMPLETE KONTROL ライブラリ内をブラウズします。この検索方法で、音楽の用途に合わせてファイルを検索することができます。このペインでプリセットファイルに自由にタグ付けすることができます。
- [files](#) ペインでオペレーションシステムの階層構造を用いてハードディスク内をブラウズすることができます。例えばこのブラウズ方法で KOMPLETE KONTROL ライブラリにインポートしていない KOMPLETE KONTROL 関連ファイルを検索し、インポートすることができます。

ブラウザ上部の対応するタブをクリックして [Library](#) ペインと [Files](#) ペインにアクセスすることができます。



任意のタブをクリックしてブラウザの対応するペインを表示します。

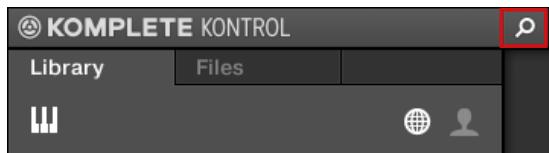


KOMPLETE KONTROL キーボードを使用してファイルシステムからファイルをブラウズ、ロードすることはできません。キーボードのブラウザからはライブラリにすでに追加してあるファイルのみをロードすることができます。新規ファイルはソフトウェアブラウザを用いて常にライブラリにタグとともにインポートする習慣をつけることを推奨します。

## 9.2 ブラウザを開く

ブラウザを開く方法は以下となります。

- ▶ ヘッダのブラウザボタン (虫眼鏡のシンボル) をクリックすると、ブラウザを表示、または閉じることができます。



KOMPLETE KONTROL メニューで *View > Browser* と選択することでブラウザを開くこともできます。



スタンドアローンモードでは、[B] キーを使用して、コンピューターのキーボードからブラウザを表示/非表示することができます。

### キーボードでブラウザを呼び出す

プラグインチェーンに何もない場合、ディスプレイでは PRESS BROWSE と表示されます。

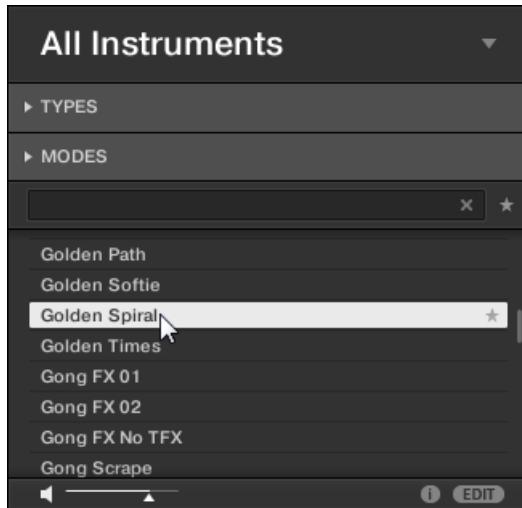
キーボードのディスプレイでブラウザを表示する方法は以下となります。

- ▶ **BROWSE** ボタンを押します。

## 9.3 プリセットファイルのロード

ブラウザからはリザルトリストのプリセットファイルをロードすることができます。 プリセットファイルをロードする際、関連するプロダクトがプラグインエリアで自動的に開きます。

- ▶ プリセットファイルをロードするには、リザルトリストの任意のプリセットファイルをダブルクリックします。



→ プリセットファイルと関連するプロダクトがプラグインエリアで開きます。

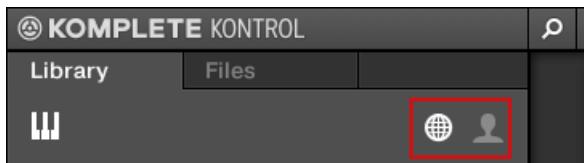
## キーボードを使用してプリセットファイルをロードする

キーボードを使用してプリセットファイルをロードする

1. **BROWSER** ボタンをクリックしてブラウザを開きます。
  2. コントロールセクションのノブ 8 を回す、あるいは **NAVIGATE** セクションのコントロールエンコーダーを回してリザルトリストでプリセットファイルを選択します。
  3. **NAVIGATE** セクションの **ENTER** を押す、または **NAVIGATE** セクションのコントロールエンコーダーを押すことで選択したプリセットファイルをロードします。
- プロダクトを含むプリセットファイルがロードされ、ブラウザが自動的に閉じ、コントロールセクションではプロダクトのパラメーターを表示するようになります。

## 9.4 ファクトリーコンテンツ、ユーザーコンテンツの選択

コンテンツセレクターには 2 つのアイコンがあり、左がファクトリーコンテンツ、右がユーザーコンテンツとなります。



コンテンツセレクターです。

- ▶ NI アイコンをクリックしてファクトリーコンテンツ、ユーザーアイコンをクリックしてユーザーコンテンツを検索します。

### キーボードでファクトリー、ユーザーコンテンツを選択する

キーボードでファクトリー/ユーザーコンテンツを選択する方法は以下です。

- ▶ 左右ページボタンを押して FACTORY コンテンツと USER コンテンツを選択します。デフォルトでは FACTORY コンテンツが選択されます。

### キーボードでファクトリー、ユーザーコン텐ツを選択する

キーボードでファクトリー/ユーザーコンテンツを選択する方法は以下です。

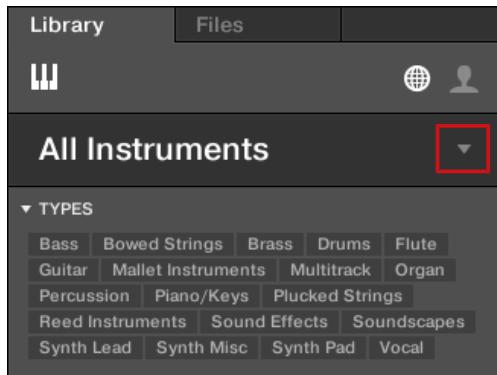
- ▶ Page Left (M) または Page Right (S) ボタンを押して FACTORY コンテンツと USER コンテンツを選択します。デフォルトでは FACTORY コンテンツが選択されます。

## 9.5 プロダクトによるプリセットファイルの絞り込み検索

プロダクトセレクターで特定のプロダクトに関連するプリセットファイルを絞り込みます。

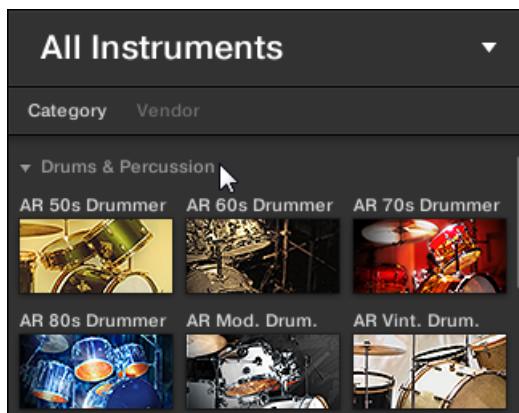
デフォルトでプロダクトセレクターへッダが [All Instruments](#) または [All Effects](#) を表示します。この状態ではまだ特定のプロダクトは選択されていません。リザルトリストで特定のプロダクトのプリセットファイルを絞り込むには、プロダクトセレクターでプロダクトを選択してください。

1. Product セレクターへッダの矢印をクリックします。

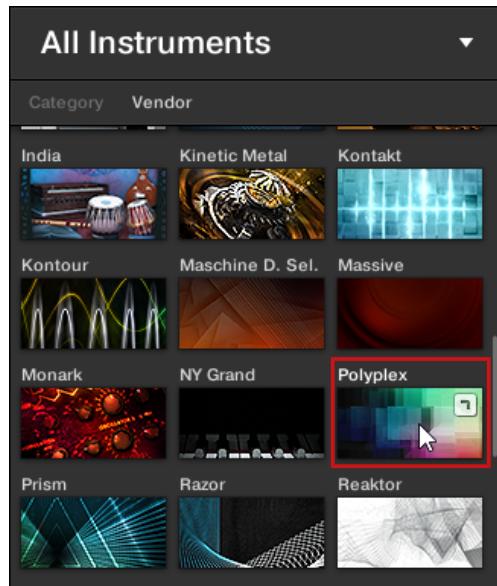


→ プロダクトセレクターが開き、KOMPLETE KONTROL ライブラリの全インストゥルメントとエフェクトのプロダクトリストを表示します。

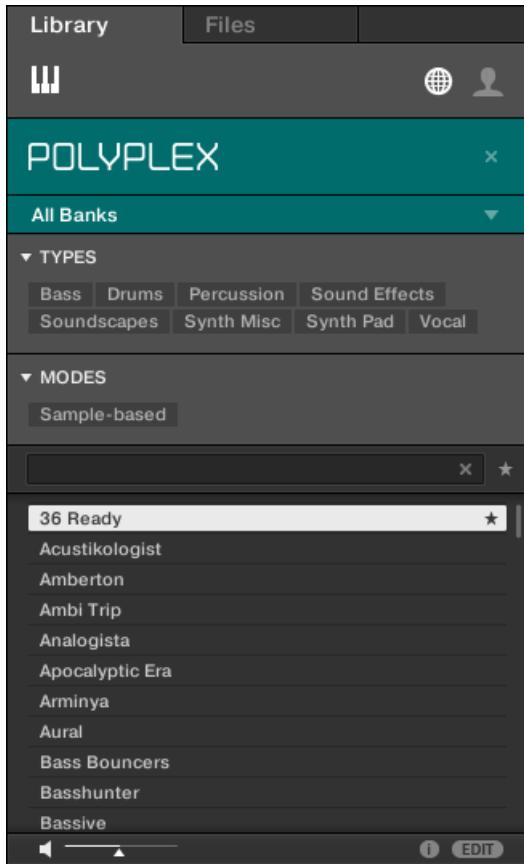
2. Category / Vendor selector で Category または Vendor を選択し、プロダクトを絞り込みます。
3. プロダクトグループをスクロールし、任意のプロダクトを見つけます。



4. プロダクト画像をクリックして選択します。



- プロダクトセレクターへッダが製品名称を表示します。これでリザルトリストで選択した製品に関連する全プリセットファイルを表示します。

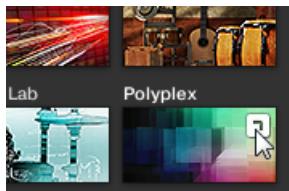


## デフォルトプリセットファイルを備えたプロダクトをロードする

デフォルトプリセットファイルを含んだプロダクトがロードされます。

1. プロダクトセレクターでインストゥルメントエントリーにマウスカーソルを当てます。

- インストゥルメントエントリーの右上隅に現れる矢印をクリックします。



→ デフォルトプリセットファイルを備えたプロダクトをロードします。

### キーボードを使用してプロダクトのプリセットファイルを絞り込む

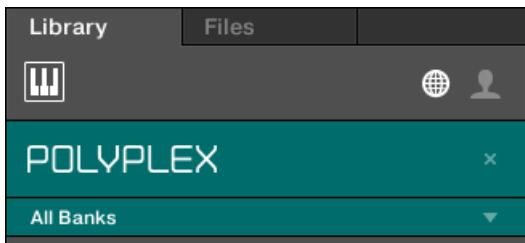
キーボードでプロダクトのプリセットファイルを絞り込む方法は以下となります。

- SHIFT** を押したままにしてブラウザの二次機能にアクセスします。
  - SHIFT** を押したままノブ 1 を回して **CATEGORY** または **VENDOR** を選択してプロダクトリストを整理します。デフォルトでプロダクトリストは全インストゥルメント/エフェクトを表示します。
  - SHIFT** を放します。
  - ノブ 1 を回して、カテゴリー、またはベンダーを選択します。
  - ノブ 2 を回してプロダクトリストをスクロール移動し、任意のプロダクトを検索します。
- これでリザルトリストで選択内容に沿ったすべてのプリセットファイルをブラウズできるようになります。

## 9.6 バンクによるプリセットファイルのプロダクトの絞り込み検索

Banks には追加ライブラリ (EXPANSIONS 等)、オリジナルファクトリー・ライブラリの異なるバージョン、または特定のプロダクトのその他のコンテンツ等が含まれます。

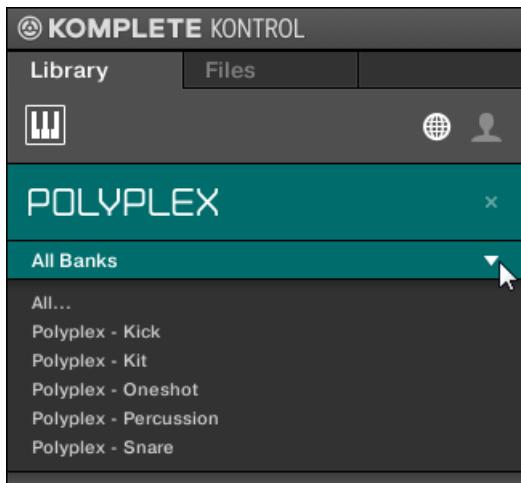
プロダクトリストで特定のプロダクトを選択すると、閉じられたプロダクトセレクターの下に **Bank** ドロップダウンメニューが表示されます。このバンクドロップダウンメニューで選択したプロダクトのプリセットファイルの特定バンクを選択します。



Bank メニューで POLYPLEX 用の [All Banks](#) を表示しています。

選択したプロダクトのプリセットファイルの特定バンクを選択する方法は以下となります。

1. [Banks](#) メニューで矢印をクリックして開きます。
2. 各エントリーからバンクを選択します。



→ 選択すると [バンク](#) メニューが閉じ、選択したバンクが表示されます。 リザルトリストで更に内容を絞り込みます。

閉じたバンクメニューの小さな x をクリックして選択したバンクを削除することができます。

## キーボードを使用してバンクの製品プリセットファイルを絞り込む

選択したプロダクトの特定プリセットファイルバンクを選択する方法は以下となります。

1. ノブ 3 を回して、任意のプロダクトのバンクを選択してください。

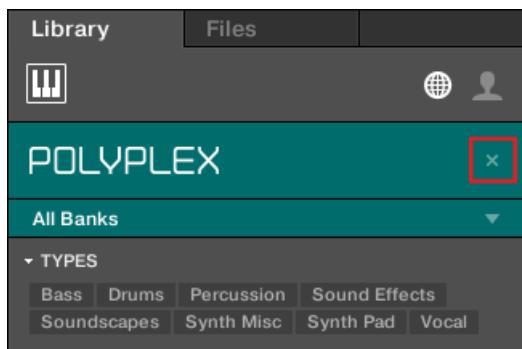
2. 有効であれば、ノブ 4 でサブバンクを選択します。  
→ リザルトリストでは関連するプリセットファイルのみを表示します。

## 9.7 プロダクトセレクションのリセット

その他の製品を選択、または KOMPLETE KONTROL ライブラリ内の全製品用プリセットファイルを表示するには、選択内容をリセットする必要があります。

プロダクトセレクターでの選択内容をリセットする方法は以下です。

- ▶ プロダクト名称の右にある小さな x をクリックしてください。



- これでここまで選択内容がリセットされます。プロダクトセレクターは [All Instruments](#) または [All Effects](#) と表示されます。 [TYPES](#) と [MODES](#) フィルターとプロダクトセレクターの下のリザルトリストは全インストゥルメントとエフェクト用プリセットファイルをすべて含むようになります。



ライブラリ内に関連ファイルがある場合、プロダクトセレクターに製品が表示されます。特定のインストゥルメントが表示されない場合は、製品が正しくインストールされているか確認し、最新のバージョン内容にしておく必要があります。

## キーボードでプロダクトセレクションをリセットする

プロダクトでの選択内容をリセットする方法は以下です。

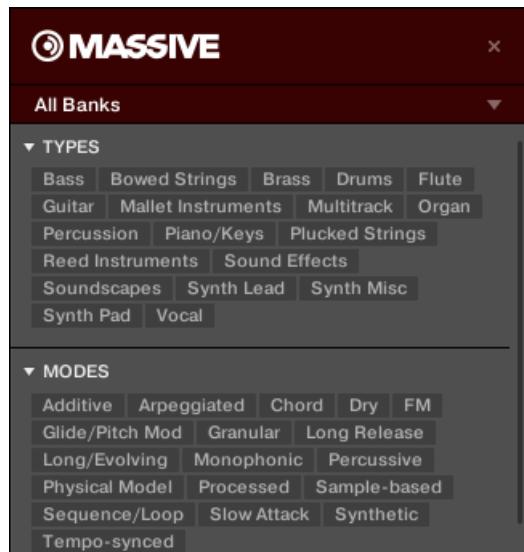
- ▶ ディスプレイで **ALL PRODUCTS** と示すまでノブ 2 を反時計回りに回します。  
→ プロダクトでの選択内容がリセットされます。

## 9.8 Types と Modes タグフィルター



エフェクトに対して MODES タグフィルターはありません。

TYPES と MODES フィルターメニューはプロダクトセレクターの下に表示され、これらでサウンドの特性によってプリセットファイルを検索できます。TYPES と MODES タグフィルターは常に使う必要はありませんが、選択したプロダクト内容をさらに絞り込む場合に特に便利な機能となります。



MASSIVE 用 TYPES と MODES フィルターです。

タグフィルターで任意のタグを選択すると即座にタグによってプリセットファイルが絞り込まれます。検索内容を広範表示させるにはこれらのタグ選択を解除します。

### TYPES

TYPE のタグは 2 つの階層構造（タグとサブタグ）を持っています。

- まず TYPES フィルターでは上層のタグのみを表示します。
- 上層部のタグを選択すると、選択したタグの下にサブタグを備えた下部階層が表示されます。

- 階層構造とは各タグに含まれる各サブタグによる構造となっています。

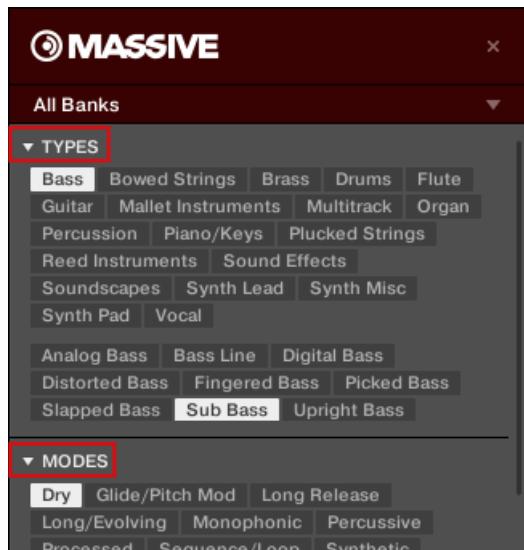
## MODES

Modes フィルターには Type レベルとは独立した追加レベルを備えています。

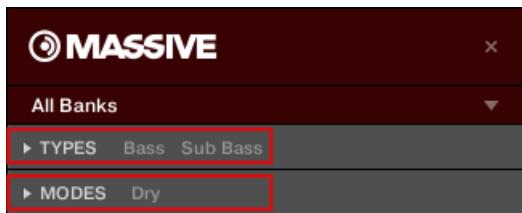
- 基本的に Mode タグは技術的な内容によって分類されています(例、Arpeggiated、Percussive、Synthetic 等)。
- Modes フィルターは常に表示されます。Types フィルターを使用する前に Modes フィルター（あるいは Modes フィルターのみを用いて）を用いて検索を開始することができます。
- Modes フィルター内の有効なタグのリストは Types フィルターで選択した内容によって異なります。選択した Type と Mode タグの両方にファイルが何もない場合は、Type タグが Mode タグの代わりに表示されます。

Types または Modes フィルターでタグを何も選択しないと、リザルトリストでは選択したプロダクトの全タグに関連するファイルが全て表示されます。

Types と Modes フィルターメニューは矢印をクリックすることで最大化/縮小することができます。



最大化した TYPES と MODES タグフィルターメニューです。



縮小した TYPES と MODES タグフィルターメニューです。

### 9.8.1 Types と Modes でプリセットファイルを絞り込む



エフェクトに対して MODES タグフィルターはありません。

ここでは例として Types フィルターを用いて MONARK インストゥルメントからベースライン用プリセットファイルを絞り込んでみます。ここではプロダクトセレクターで MONARK インストゥルメントを選択してある前提で説明を進めます。現時点では TYPES フィルターは上層タグのみを表示しているはずです。

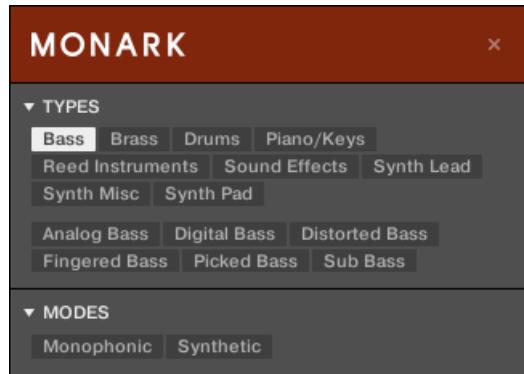


プロダクトセレクターで MONARK インストゥルメントが選択された状態です。

ベースサウンドを検索する方法は以下となります。

1. TYPES フィルターで Bass タグを選択します。

- 選択すると、タグの次の階層に [Analog Bass](#)、[Fingered Bass](#) 等があるサブタイプが表示されます。



- ベースラインとして合いそうなサブタイプを選択します。ここでは [Distorted Bass](#) を選択することにし、これでベースのサブタイプによる絞り込み検索ができます。



- MODES フィルターで [Synthetic](#) タグを選択します。

→ Types と Modes フィルターによってリザルトリスト内容が絞り込まれます。

この方法で似たような特徴を持つインストゥルメントのプリセットファイルをいくつか候補として検索することができます。

## キーボードで Types と Modes を用いてプリセットファイルを絞り込む

ベースサウンドを検索する方法は以下となります。

- ノブ 5 (All Types) を回して Types フィルターから Bass タグを選択します。  
→ ノブ 6 の上に All Sub-Types と表示された 2 次階層が表示されます。
- ノブ 6 を回し、ベースラインとして合いそうなサブタイプ、Distorted Bass を選択します。

→ Types と Modes フィルターによってリザルトリスト内容が絞り込まれます。

### 9.8.2 同じレベルで複数のタグを選択する



エフェクトに対して MODES タグフィルターはありません。

TYPES と MODES フィルターのどちらでも同じレベルで **複数のタグ** を選択することができます。

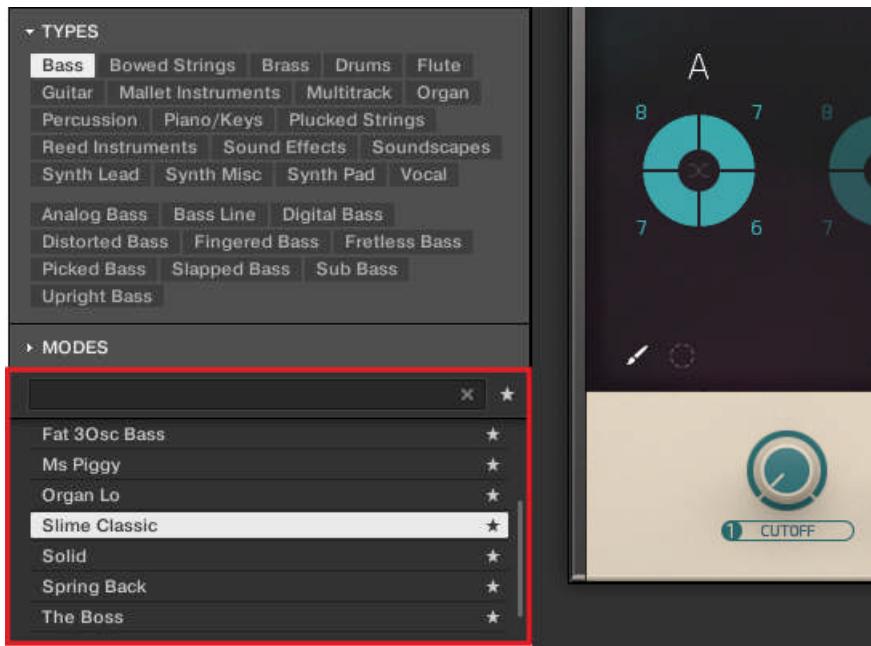
1. コンピューターキーボードの [Shift] を押したままクリックすることで同一階層で隣り合う、または連続する複数のタグを選択します。
  2. コンピューターキーボードの [Ctrl] ([Cmd]、Mac OS) を押しながら同一レベルのタグをクリックすることで各タグを選択することができます。
- Result リストにはタグ選択内容に関連する全ファイルが表示されます。



キーボードを用いて同じレベルにある複数のタグを選択することはできません。ソフトウェアで複数のタグを選択した場合は、キーボードのディスプレイは (multi) と表示されます。

## 9.9 お気に入りの活用 (Favorites)

KOMPLETE KONTROL ブラウザの Favorites で自分が頻繁に使用、お気に入りとして登録しているインストゥルメントプリセットファイルをすばやく閲覧、ロードすることができます。Favorite に登録するプリセットファイルは自由に選ぶことができます。Favorites は Library ペインの追加フィルターとして機能します。この機能を起動すると、リザルトリストでは Favorite 内の検索内容に見合うプリセットファイルを表示します。



KOMPLETE KONTROL ブラウザで Type Bass のタグが付いた全 Favorites を表示しています。

### 9.9.1 Favorites にプリセットファイルを追加する

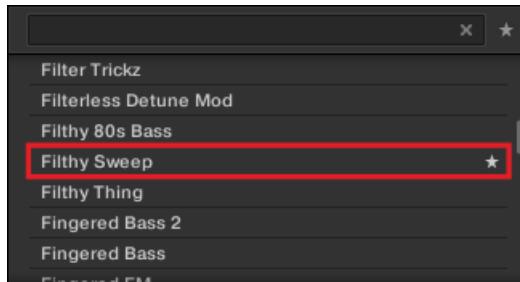
Favorites にプリセットファイルを追加する方法は以下となります。

1. リザルトリストの選択、または選択していないエントリーにマウスカーソルを当てます。  
→ エントリーがハイライト表示され、右にお気に入りアイコンが表示されます。



2. Set Favorite アイコンをクリックし、Favorites に該当するプリセットファイルを追加します。

- プリセットファイルが Favorites に追加されると、名称横に Set Favorite アイコンが表示されるようになります。



選択している、していないに関わらず、Favorites に追加するリザルトリストのプリセットファイルを任意に選択することができます。

### キーボードで Favorites にプリセットファイルを追加する

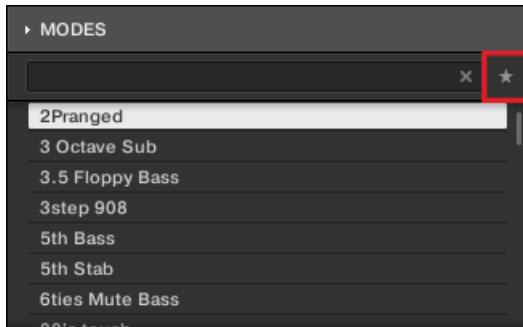
キーボードで Favorites にプリセットファイルを追加する方法は以下となります。

1. ノブ 8 を回してリザルトリストのお気に入りに追加したいプリセットファイルを選択します。
2. **SHIFT** を押したままにします。  
→ ノブ 3 とノブ 4 の下のディスプレイにお気に入り用のパラメーターが表示されます。
3. **SHIFT** を押しながらノブ 4 を時計回りに回し、ディスプレイの SET を ON と表示させます。  
→ プリセットファイルが Favorites に追加されました。

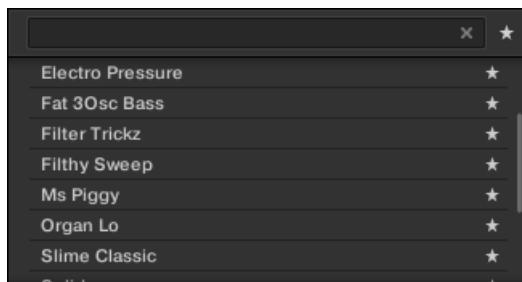
### 9.9.2 リザルトリストでお気に入りを表示する

Favorites フィルターを起動する方法は以下です。

- ▶ 検索フィールドの隣にある Favorites アイコンをクリックして Favorites 内のプリセットを表示します。



- Favorites アイコンが点灯し、リザルトリストでお気に入りとして追加した全プリセットファイルを表示します。



## キーボードでリザルトリストにすべてのお気に入りを表示する

キーボードでリザルトリストにすべてのお気に入りを表示する方法は以下となります。

1. **SHIFT** を押したままにします。  
→ ノブ 3 とノブ 4 の下のディスプレイにお気に入り用のパラメーターが表示されます。
2. **SHIFT** を押しながらノブ 3 を時計回りに回し、ディスプレイの FILTER FAVORITE を ON と表示させます。  
→ これでリザルトリストでお気に入りとして追加した全プリセットファイルを表示します。

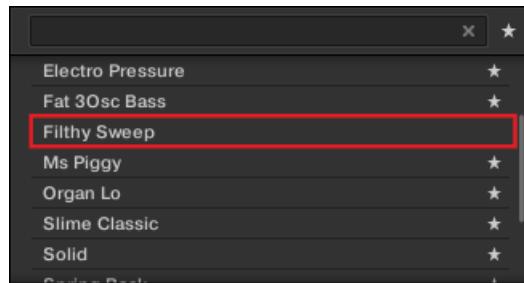
### 9.9.3 Favorites からプリセットファイルを削除する

Favorites からプリセットファイルを削除する方法は以下となります。

- ▶ 点灯している Set Favorite アイコンをクリックし、Favorites から削除対象となるプリセットファイルを追加します。



- プリセットファイルが Favorites から削除されると、Set Favorite アイコンが消えます。次回 Favorites フィルターを選択すると、リザルトリストにこのプリセットファイルが表示されなくなります。



リザルトリストを Favorites でフィルターしていない場合は、Favorites からプリセットファイルを削除することができます。

### キーボードで Favorites からプリセットファイルを削除する

キーボードで Favorites からプリセットファイルを削除する方法は以下となります。

1. お気に入りプリセットファイルの選択
2. SHIFT を押したままにします。

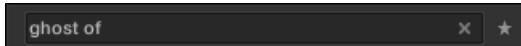
→ ノブ 3 とノブ 4 の下のディスプレイにお気に入り用のパラメーターが表示されます。

3. **SHIFT** を押しながらノブ 4 を時計回りに回し、ディスプレイの SET を OFF と表示させます。

→ プリセットファイルが Favorites から削除されます。

## 9.10 テキスト検索の方法

サーチ フィールドに検索内容を入力します。検索対象はプリセットファイル名称、インストゥルメント、バンク、タイプ、モードタグ等で、文字入力に対して全プロパティーで検索が実行されます。



サーチフィールドです。

1. サーチフィールドをクリックします。
2. 任意のテキストを入力することでこのテキストを含んだファイルが絞り込み検索されます。  
→ 入力を始めるとすぐに、下のリザルトリストで絞り込み表示が始まります。

Types と Mode タグを活用してさらに絞り込み検索を行うことができます。

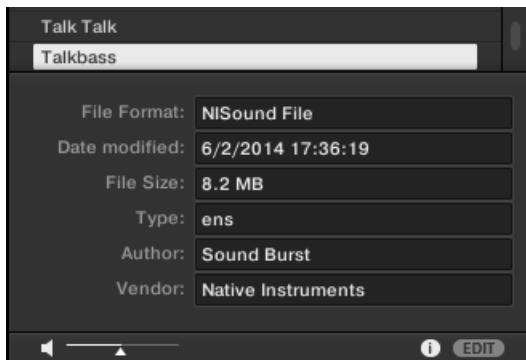
文字検索とタグ検索の両方をリセットするには、サーチフィールドの右にある **Reset button** (小さな x です) を使用します。このリセットではインストゥルメントの選択内容に影響はありません。

## 9.11 プリセットファイル情報の表示

- ▶ コントロールバーの右の **EDIT** ボタンの隣にある **Info** ボタン (小さな「i」です) を押してリザルトリストで選択したファイルの情報を表示します。



→ 選択したファイルの各情報を示すボックスが表示されます。その内容は **File Format**、**Date modified**、**File Size**、**Type**、**Author**、**Manufacturer** プロパティーとなります。



情報ボックスには選択したファイルの各情報が表示されます。

選択したファイルに異なる特徴がある場合は、情報ボックスの該当表示部分が [multi](#) と表記されます。

## 9.12 プリセットファイルのオーディション (Prehear)

プリセットファイルはブラウザ下部にある試聴機能を使ってオーディションを行うことができます。この機能を用いるには試聴機能を起動する必要があります。



Prehear コントロールです。

1. 試聴ボタン（小さなスピーカーアイコンです）を押して試聴機能を有効/無効にします。  
→ Prehear を有効にすると、[Library](#) ペイン、または [Files](#) ペインのリザルトリストで選択したプリセットファイルを試聴できるようになります。
2. Prehear ボタンの隣の Prehear Volume スライダーをドラッグして試聴プリセットファイルの音量を調節します。
3. リザルトリストでエントリーをクリックします。



試聴機能による音声を確認できる状態にするには、KOMPLETE KONTROL の環境設定 (Preferences) でオーディオインターフェイスを設定する必要があります。

### キーボードでプリセットファイルをオーディションする (Prehear)

キーボードで試聴機能を起動/起動解除することもできます。

1. [SHIFT](#) を押したままにすることでディスプレイでブラウザの二次機能を表示します。

- ノブ 7 の下のディスプレイが PREHEAR パラメーターを表示します。
  - 2. SHIFT を押したままノブ 7 をどちらかの方向に回すと画面の表示値が ON または OFF となります。
  - 3. ノブ 8 を回して試聴プリセットファイルの音量を調節します。
  - 4. SHIFT を放します。
  - 5. ノブ 8 を回してリザルトリストで他のプリセットファイルを選択します。
- このプリセットファイルを選択すると、以前のプリセットファイルに変わってこのプリセットファイルが再生されます。

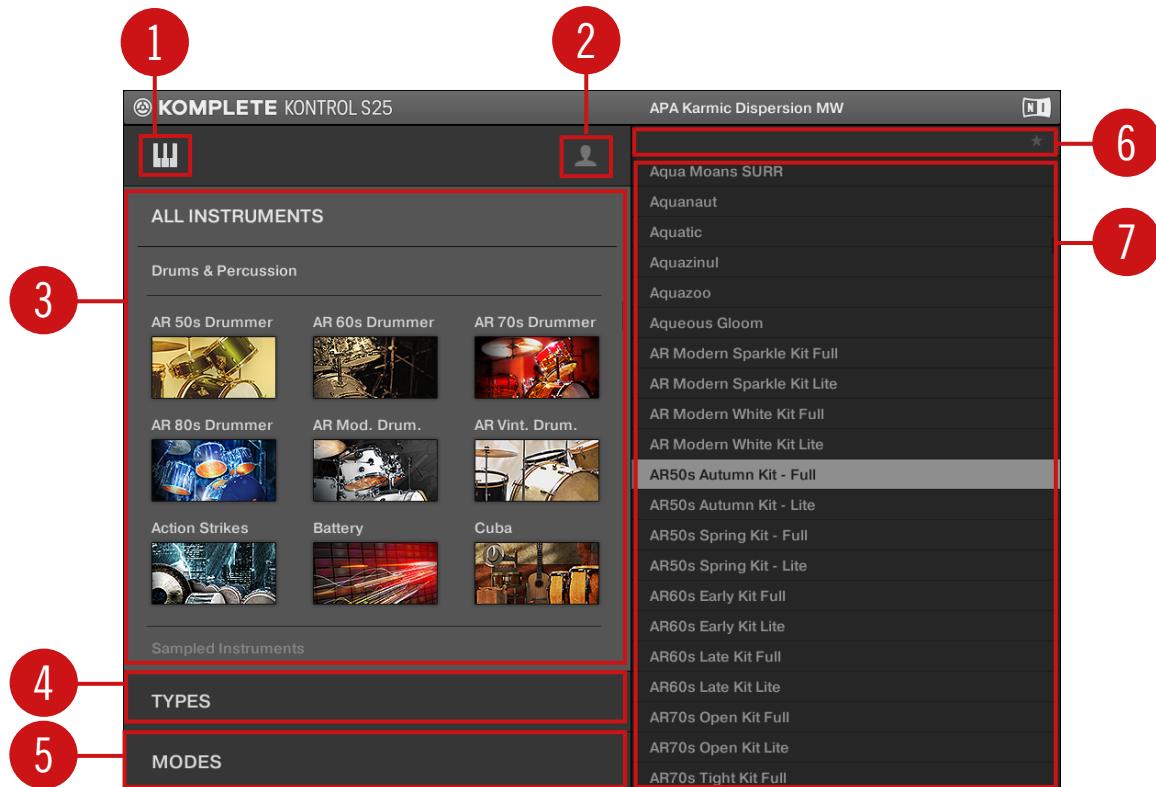
Prehear を起動解除すると、試聴中のプリセットファイルの再生が止みます。

## 9.13 オンスクリーンオーバーレイによるブラウズ

デフォルトのブラウズモード [On-Screen Overlay](#) は環境設定 (Preferences) で選択でき、KOMPLETE KONTROL キーボードの **BROWSE** ボタン BROWSE ボタンを押すことでコンピューター画面に大きくその内容が表示されます。これにより KOMPLETE KONTROL ソフトウェアで頻用する多くの機能に簡単にアクセスすることができるようになります。オンスクリーンオーバーレイにより簡単にサウンドを検索することができます。以下ではオンスクリーンオーバーレイの概要を解説します。

他のブラウズモードの選択方法については、セクション--- MISSING LINK ---を参照してください。

## オンスクリーンオーバーレイのブラウザ概要



## オンスクリーンオーバーレイのブラウザ概要

- (1) **Product Type アイコン**: インストゥルメント、エフェクトのブラウズ時に各内容を表示します。
- (2) **コンテンツセレクター**: ブラウズするファイルを選択します。ユーザーアイコンをオフの状態にしてファクトリーコンテンツを検索、ユーザーアイコンをオンの状態にしてユーザーコンテンツを検索します。
- (3) **プロダクトセレクター**: ドロップダウンメニューをクリックして特定のプロダクト、状況によっては選択したプロダクトのバンクを選択します。選択した内容に関連するファイルのみがリスト (5) に表示されます。
- (4) **TYPES フィルター**: Type と Sub-Type タグに関連したファイルを検索します。
- (5) **MODES フィルター**: Mode タグに関連したファイルを検索します。

(6) **Favorites フィルター**: Favorites フィルターのオンオフ切り替えです。

(7) **リザルトリスト**: リザルトリスト（検索結果リスト）で上記のツールを用いた検索内容に見合うファイルを表示します。

#### 関連項目

『 ブラウズモード [→ 86]

# 10 エフェクトの使用方法

このセクションではプラグインチェーンにエフェクトを追加する方法とプラグインチェーンで管理する方法について解説します。このセクションはブラウザの使用方法とインストゥルメントのロード方法について理解していることを前提に解説を進めます。

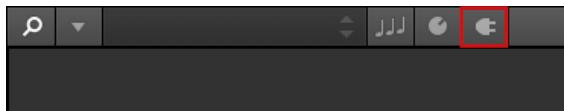
ブラウザの使用方法に関しては [↑9, ライブラリのブラウズ](#) を参照してください。

## 10.1 プラグインチェーンパネルを開く

KOMPLETE KONTROL ソフトウェアでプラグインチェーンを使用するにはプラグインチェーンパネルを開く必要があります。

プラグインチェーンを開く方法は以下です。

- ▶ ヘッダのプラグインチェーンパネルボタンをクリックします。



- プラグインチェーンパネルとロードしたインストゥルメントが表示されます。これでプラグインチェーンにエフェクトを追加できるようになります。



KOMPLET KONTROL キーボードでは選択したプラグインスロットのみが表示されます。

## 10.2 エフェクトの追加

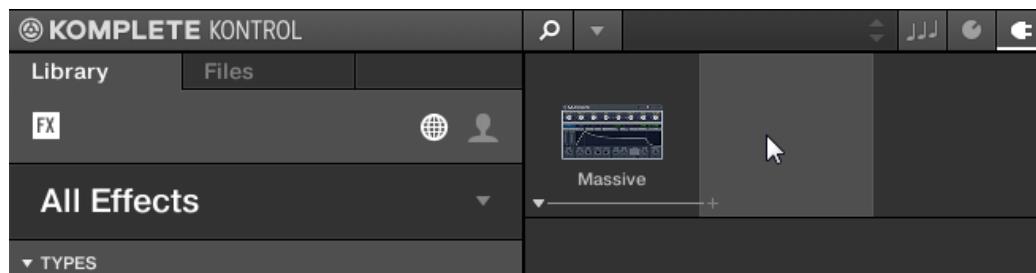
最初のプラグインスロットにインストゥルメントがロードされているはずなので、プラグインにエフェクトを追加します。

プラグインチェーンにエフェクトを追加する方法は以下となります。

- 空のプラグインスロットをクリックして選択します。

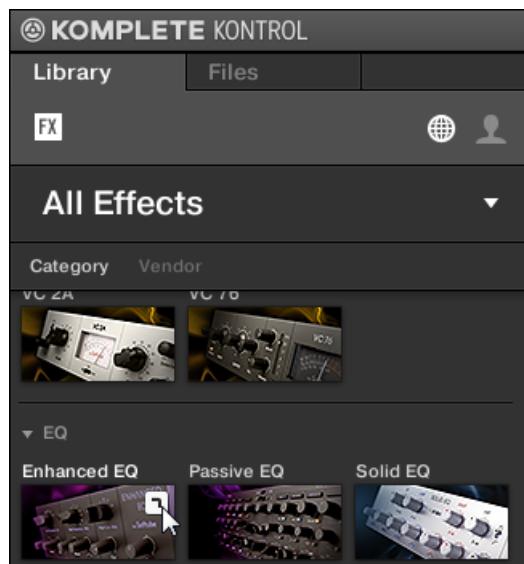


→ プラウザのプロダクトタイプアイコンがインストゥルメントからエフェクトに切り替わります。



→ プロダクトセレクターにエフェクトがリスト表示されます。

2. 任意のエフェクトをブラウズします。



- これでエフェクトがロードされました。画像(非NKSプラグインではジェネリックアイコン)と名称が2番目のプラグインスロットに表示されるようになります。プラグインスロットにさらにエフェクトを追加するには同様の操作を繰り返します。



## キーボードを使用してエフェクトを追加する

最初のプラグインスロットにインストゥルメントがロードされているはずなので、以下の方法でプラグインチェーンにエフェクトを追加します。

1. 一番右にある空のプラグインスロットを選択するまで右ナビゲート矢印ボタンを押します。  
⇒ ディスプレイは PRESS BROWSE. と表示します。
2. **BROWSE** ボタンを押してブラウザを開きます。  
⇒ 現在エフェクトをブラウズしているので左ディスプレイは FACTORY EFFECTS と表示されます。
3. 任意のエフェクトを選択し、コントロールエンコーダーを押してそのエフェクトをロードします。  
→ これでプラグインチェーンにエフェクトが追加されました。プラグインスロットにさらにエフェクトを追加するには同様の操作を繰り返します。

## 10.3 プラグインスロットの選択

プラグインチェーンにいくつかのエフェクトを追加すると、プラグインスロットに直接ジャンプ移動してエフェクトを調整できます。

他のプラグインスロットに直接移動してエフェクトの各コントロールを表示する方法は以下となります。

- ▶ プラグインスロットをクリックして選択します。

### キーボードを使用して他のプラグインスロットを選択する

キーボードを用いてプラグインチェーンの他のプラグインスロットを選択する方法は以下となります。

- ▶ 左右ナビゲート矢印ボタンを押し、プラグインチェーンの各プラグインスロットを選択します。  
→ プラグインのコントロール部は各ノブにマッピングされます。

## 10.4 エフェクトの配置を変える

ドラッグアンドドロップでプラグインチェーンのエフェクトの配置を変えます。

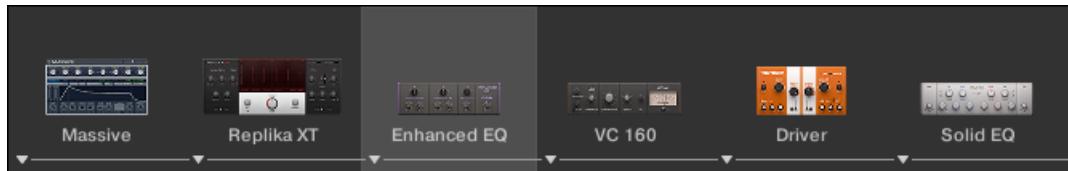
プラグインチェーンでエフェクトの配置を変える方法は以下です。

1. 移動したいプラグインスロットにマウスカーソルを当てます。
2. 左マウスボタンを押したままマウスピンターをプラグインチェーンの任意の位置に移動させます。  
→ プラグインスロット同士の境界線が白く表示され、プラグインスロットでの移動先として表示されます。



3. エフェクトチェーンの任意の位置にエフェクトをドロップします。

- これでエフェクトがプラグインチェーン内の新しい位置に配置され、他のプラグインスロットも対応して配置がかわります。



KOMPLETE KONTROL キーボードでエフェクトの配置を変えることはできません。

## 10.5 プラグインチェーンのスクロール

理論上 プラグインチェーンには無制限にエフェクトを追加することができます。複数のエフェクトを追加し、プラグインチェーンが GUI 用のスペースよりも多くのエフェクトを収納した場合、左右の境界線のどちらかに大きなスクロール用の矢印が表示されるようになります。



右スクロール矢印

プラグインチェーンをスクロールする方法は以下です。

- ▶ 任意の方向の矢印をクリックします。

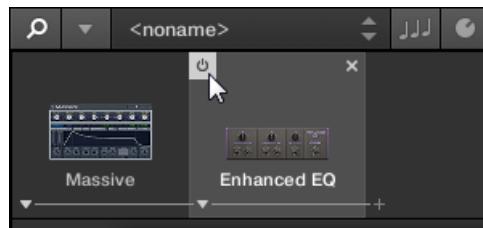
## 10.6 エフェクトのバイパス

元音を比較するために一時的にエフェクトを停止する場合はエフェクトをバイパスします。

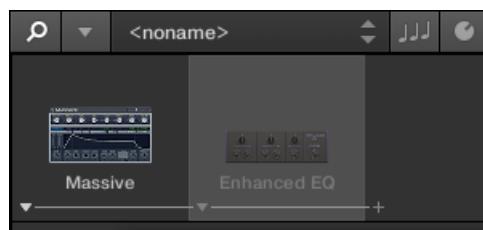
以下はエフェクトをバイパスする方法です。

1. エフェクトをバイパスしたいプラグインスロットにマウスカーソルを当てます。  
→ 追加コントロールが表示されます。

2. プラグインスロットの左上のバイパスボタンをクリックします。



→ エフェクトがバイパスされそのエフェクト効果がなくなり、画像が灰色表示となります。

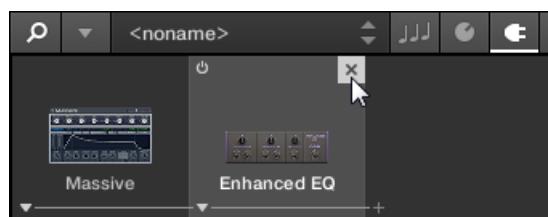


KOMPLETE KONTROL キーボードでエフェクトをバイパスすることはできません。

## 10.7 エフェクトの削除

プラグインチェーンからエフェクトを削除する方法は以下です。

1. 削除したいエフェクトがあるプラグインスロットにマウスカーソルを当てます。  
→ 追加コントロールが表示されます。
2. プラグインスロットの右上の削除ボタンをクリックします。



→ これでプラグインチェーンからエフェクトが削除されます。



KOMPLETE KONTROL キーボードでプラグインチェーンのエフェクトを削除することはできません。

# 11 ライブラリの管理

ブラウザでプリセットファイルを管理することができます。このセクションではユーザー ライブラリにプリセットファイルを保存、管理する方法と KOMPLETE KONTROL で使用できるユーザーファイルのインポート方法を解説します。

インストゥルメントプリセットファイル管理のワークフローとエフェクトプリセットファイル管理のワークフローは同じです。 Product Type Instrument またはエフェクトはブラウザでは選択できません（プラグインチェーンで選択します）。Product Types の情報と各 Product Types の切り替えに関しては [↑9.1.1, Product Types: Instrument と Effect](#) を参照してください。

ブラウザ各部の詳細は [↑4.2, ブラウザ](#) を参照してください。

## 11.1 ユーザーライブラリにプリセットファイルを保存する

KOMPLETE KONTROL では インストゥルメントで作成したサウンドを簡単にユーザープリセットファイルとして保存することができます。保存したプリセットファイルは自動的に Library ペインのユーザーコンテンツに追加され、KOMPLETE KONTROL ライブラリのその外のプリセットファイルと同様に、検索等を行うことができます。ハードドライブにはユーザープリセットファイルは以下のフォルダに保存されます。

- Windows: *C:\Users\<your user name>\Documents\Native Instruments\User Content\*
- macOS: *Macintosh HD/Users/<your user name>/Documents/Native Instruments/User Content/*

KOMPLETE KONTROL で保存した KOMPLETE インストゥルメント用プリセットファイルは、スタンドアローン、プラグイン各バージョン内で使用できます。例えば、KOMPLETE KONTROL を用いて保存した KONTAKT ファイルを、上記したユーザーコンテンツフォルダから KONTAKT スタンドアローン、または プラグイン上で開くことができます。



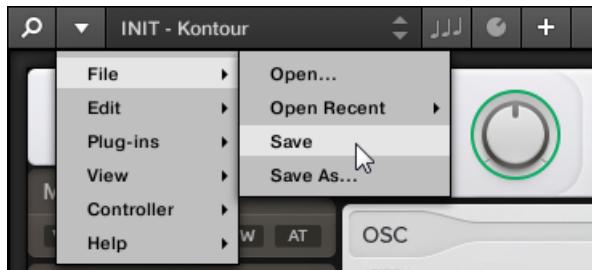
KOMPLETE KONTROL で保存したプリセットファイルは MASCHINE で使用することもできます。MASCHINE の Library ペインのユーザーコンテンツセクションに追加するには、MASCHINE Preferences の Library ページの User ペインの Rescan をクリックします。

### プリセットファイルの保存

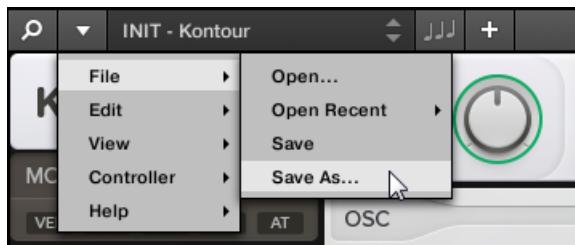
新規プリセットファイルのサウンドを保存する方法は以下です。

1. プリセットファイルを保存したいインストゥルメントまたはエフェクト プラグインスロットを選択します。

2. KOMPLETE KONTROL メニューの *File* サブメニューで *Save* をクリックします。



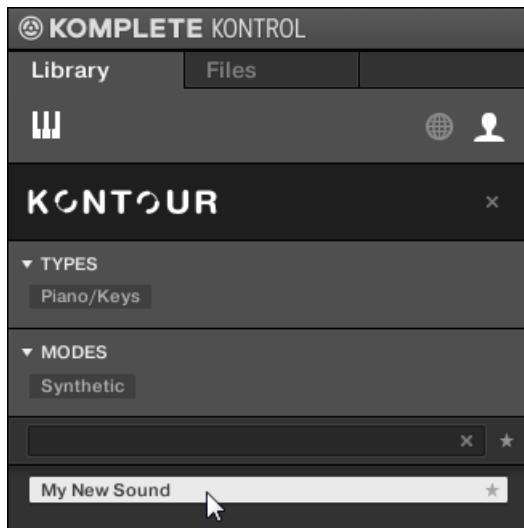
また、編集しているプリセットファイルを別名で保存する場合は、KOMPLETE KONTROL メニューの *File* サブメニューで *Save As...* をクリックします。



3. プリセットファイルの新規名称を入力して *Save Preset* ダイアログで *Save* をクリック、プリセットファイルを保存します。



→ Library ペインのユーザー コンテンツに新しいプリセットファイルが表示されるようになります。



## 11.2 ユーザーライブラリからプリセットファイルを削除する

リザルトリストで直接プリセットファイルを削除することができます。

1. 任意のプリセットファイルを右クリックし、コンテキストメニューで *Delete* を選択します。複数のユーザー プリセットファイルを同時に削除する場合は、上記したように選択してから右クリックします。  
→ 警告ダイアログが表示され、この削除によって KOMPLETE KONTROL ライブラリのみではなくハードウェアからも選択しているプリセットファイルを削除する、といった趣旨のメッセージが表示されます。
2. **OK** をクリックして削除します(または **Cancel** をクリックして削除をキャンセルします)。  
→ プリセットファイルは KOMPLETE KONTROL ライブラリとハードディスクから削除されます。



ファクトリー コンテンツを使用する場合は、コンテキストメニューに *Delete* エントリーは表示されません。

## 11.3 ユーザープリセットファイルのタグとプロパティーを編集する

KOMPLETE KONTROL にユーザープリセットファイルを保存する際、使用しているインストゥルメント内容に沿って各インストゥルメントとバンクにも自動アサインされます。ユーザープリセットファイルの属性を設定するには、ファイルの Type 、 Mode タグとプロパティーを編集します。これにより Library ペインでの Type と Mode フィルターを使用する際の検索を効率よく行うことができるようになります。



Type と Mode タグは MASCHINE ブラウザでも認識されます。これで MASCHINE の Library ペインのユーザーコンテンツセクションでも容易に KOMPLETE KONTROL 使用時に保存したユーザープリセットファイルを検索することができます。



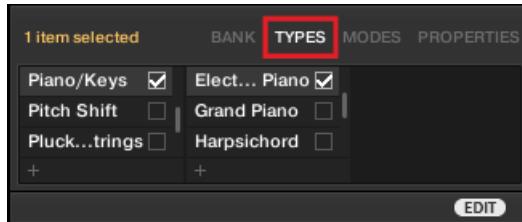
エフェクトに対して MODES タグフィルターはありません。

以下の方法でプリセットファイルのタグをアサイン、プロパティーを編集します。

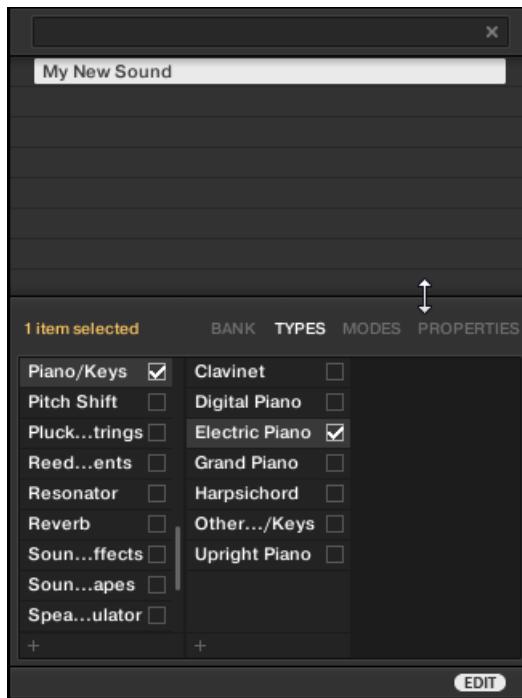
1. リザルトリストでプリセットファイルを選択し、Control バーで EDIT をクリックして Attribute Editor を開きます。



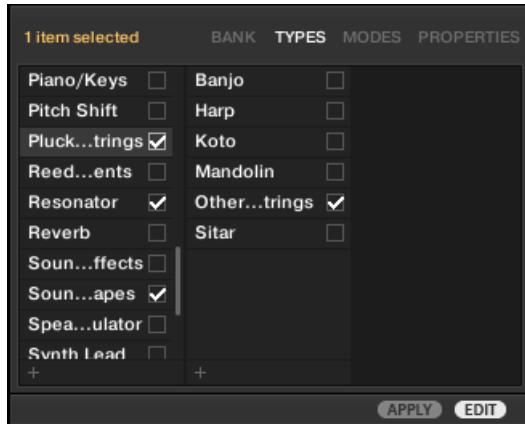
2. TYPES をクリックしてプリセットファイルの Type タグを編集します。



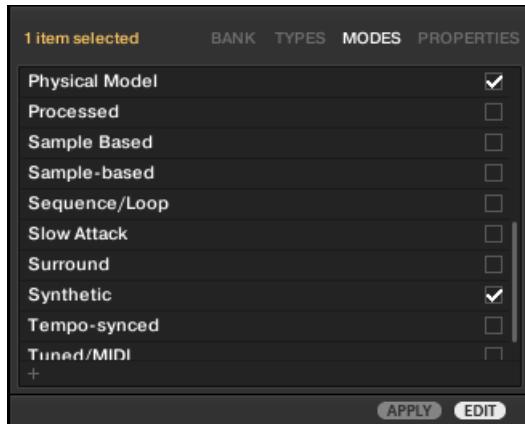
3. Attribute Editor の上にある境界線部分を上方向にドラッグしてサイズを変更します。これでタグ付け作業を効率よく行えます。



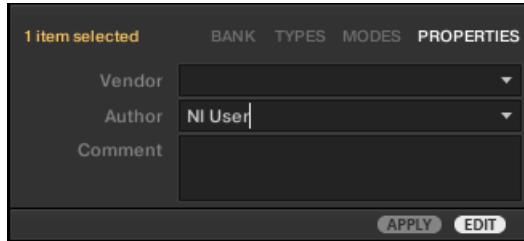
4. 各名称の横にあるチェックボックスをクリックしてプリセットファイルに任意のタグをアサインします。



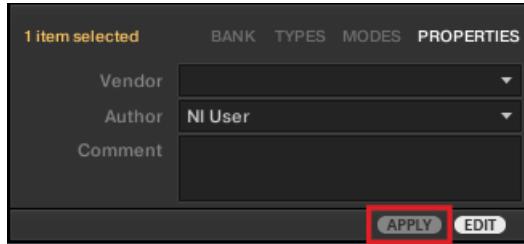
5. MODES をクリックしてプリセットファイルの Mode タグを編集します。アサイン方法は Type タグのときと同じで、各名称の横にあるチェックボックスをクリックします。



6. **PROPERTIES** をクリックしてプリセットファイルの追加情報を編集します。 **Author** フィールドに自分の名前を入力したり、そのプリセットファイルを共有するのであれば、**Comment** にメモを残すのも良いでしょう。



7. Attribute Editor での編集内容を適用するには、**APPLY** をクリックします。



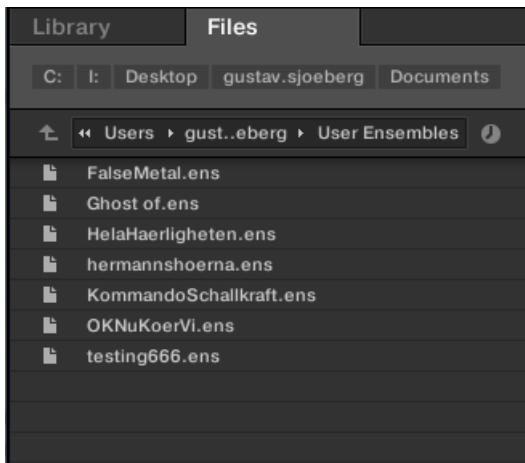
→ これでプリセットファイルが Types と Modes での選択内容に沿ってタグ付けされ、プロパティーでの編集内容が保存されます。Attribute Editor を閉じるには **EDIT** をもう一度クリックします。

## 11.4 Files ペインの使用

このセクションでは **Files** ペインを用いたハードディスク内のファイルのブラウズ操作について解説します。**Files** ペインのリザルトリストではその上のロケーションバーで指定したパスにあるファイルとフォルダを表示します。



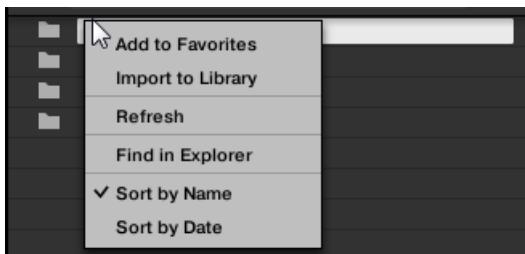
KOMPLETE KONTROL に互換性のあるファイルのみがリザルトリストに表示されます。



Files ペインのリザルトリストです。

#### 11.4.1 Files ペインのリザルトリストの追加機能

リザルトリストの Files ペインには追加コマンドを含むコンテクストメニューがあります。単一のエントリーまたは複数のエントリーを選択してそれらを右クリックすると表示されます。



Files ペインのリザルトリストのコンテクストメニューです。

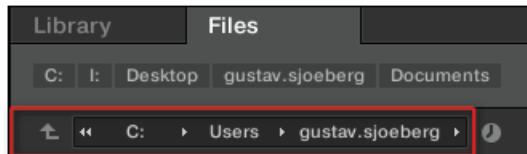
コマンドは以下となります。

コマンド	内容
<i>Add to Favorites</i> (フォルダのみ)	Favorites に選択したフォルダを追加します。
<i>Import to Library</i> (フォルダのみ)	ライブラリに選択したフォルダをインポートします。
<i>Refresh</i>	フォルダの内容を編集した場合にリスト内容をリフレッシュします。

コマンド	内容
<i>Find in Explorer / Find in Finder</i>	選択したフォルダがある Explorer/Finder ウィンドウを表示します。
<i>Sort by Name</i>	アイテムの名称によってリザルトリスト順を並び替えます。
<i>Sort by Date</i>	アイテムの日付によってリザルトリスト順を並び替えます。

## 11.4.2 ロケーションバーでファイルロケーションをナビゲートする

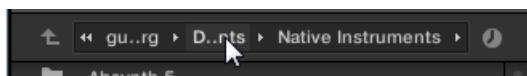
Location バーで選択したパスの表示、または編集を行います。リザルトリストではパスの内容を常に表示します。



ロケーションバーです。

ロケーションバーには以下のツールがあります。

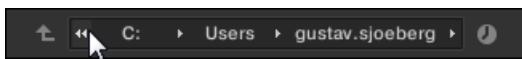
- **上矢印:** 左の上矢印を用いてファイルシステム階層を上に移動します。
- **選択したパス:** パスを表示した状態で以下のことが行えます。
  - フォルダ名称をクリックしてそのフォルダに移動します。



- **右矢印** をクリックしてサブフォルダを表示、その中のエントリーをクリックして各フォルダに移動します。

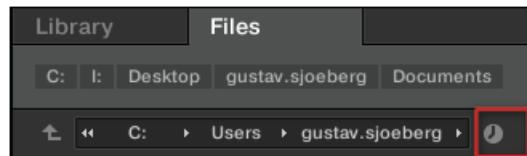


- パスで全レベルを表示しきれない場合は、パスの二つの左向き矢印をクリックして残りの上部レベルを表示し (Workspace がファイルシステム内の最上部となります)、リストの各エントリーをクリックすることでその場所に移動します。



### 11.4.3 最近使ったファイルがある場所への移動

ロケーションバーの右の時計アイコンはリセントロケーション (Recent Locations) ボタンです。



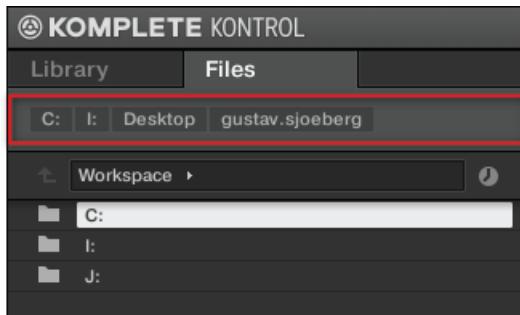
リセントロケーションボタンです。

KOMPLETE KONTROL は最後に使用した 10 の場所を記憶し、保存します。

- ▶ リセントロケーションボタンを押し、リスト表示される最近使用した場所に移動します。
- 場所はロケーションバーにロードされ、リザルトリストにはその内容が表示されます。

### 11.4.4 ファイル場所をお気に入りにする

Files ペインの上部には Favorite バーがあり、ここに全 Favorite フォルダを表示します。Favorites フォルダ（お気に入り）はファイルシステム内の特定の場所へのショートカットとして機能します。



Files ペイン上部の Favorite バーです。

Favorite フォルダは Files ペインで同じフォルダを何度も使用する場合に便利です。デフォルトのお気に入りフォルダはハードディスクのルートフォルダ、デスクトップフォルダ、ユーザーフォルダ等となります。

#### Favorite（お気に入り）フォルダへのジャンプ

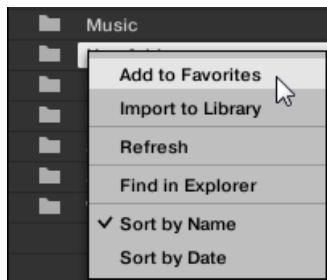
- ▶ Favorite バーで任意の Favorite フォルダをクリックして各場所に移動します。

→ 選択した場所はロケーションバーにロードされ、リザルトリストにその内容が表示されます。

## Favorite フォルダの追加と削除

頻繁に使うフォルダを Favorites バーに追加することができます。この操作はリザルトリストで行います。

1. Favorite として使用したいフォルダを含む親フォルダに進み、このフォルダがリザルトリストで表示されるようにします。
2. リザルトリストで任意のフォルダを右クリックし、コンテキストメニューで *Add to Favorites* を選択します。



Favorite バーから各 Favorite を削除することも可能です。

- Favorite フォルダを削除するには、Favorite バーで右クリックし、*Remove from Favorites* を選択します。

## 11.5 VST プラグインのロード

KOMPLETE インストゥルメントと Native Kontrol Standard (NKS) をサポートする VST プラグインは KOMPLETE KONTROL ライブラリからプリセットファイルを選択することで自動的にロードされます。

プラグインを直接ロードすることも可能で、各 VST プラグインを KOMPLETE KONTROL で活用することができます。VST プラグインには Smart Play 機能を使用することが可能で、各パラメーターをキーボードにマッピングし、KOMPLETE KONTROL ユーザーライブラリにプリセットファイルを保存することができます。

以下は KOMPLETE KONTROL に VST プラグインをロードする方法です。

- ▶ KOMPLETE KONTROL メニューの *Plug-ins* サブメニューでロードしたいプラグインを選択します。



*Plug-ins* サブメニューに使用したい VST プラグインが表示されない場合は、ハードドライブの VST プラグインフォルダが Preferences の [Plug-ins](#) ページの [Locations](#) に追加されているか確認してください。

## 11.6 NKS インストゥルメントのインストール

Native Kontrol Standard (NKS) はソフトウェアインストゥルメントフォーマットで、第 3 者製品を MASCHINE と KOMPLETE KONTROL ハードウェア、ソフトウェアの両方で連動させ、KOMPLETE インストゥルメント/エフェクトと同等の操作性を確保するためのファイル形式となっています。

Native Kontrol Standard は以下の内容を含んでいます。

- ブラウジングの一貫性を保つための KOMPLETE KONTROL ブラウザでの連動性
- 即座の操作に対応するフルパラメーターマッピング
- Light Guide 等の KOMPLETE KONTROL 各機能のサポート

NKS インストゥルメントは KOMPLETE KONTROL ブラウザの KOMPLETE インストゥルメントの隣にあります。全プリセットファイルにはタグ付けが施してあり、ブラウザでの絞り込み検索結果には、KOMPLETE インストゥルメントと NKS インストゥルメントの内容が含まれます。NKS インストゥルメントからプリセットをロードすると、各パラメーターがキーボードのコントロール部に自動的にマッピングされます。

## NKS 対応 VST プラグインのインストール

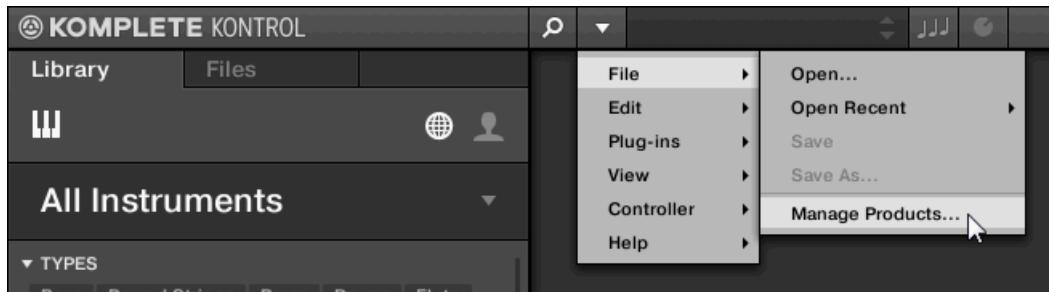
NKS をサポートする VST をインストールすると、インストール直後の KOMPLETE KONTROL 起動時に自動的にライブラリに追加されます。 NKS サポート対応プリセットファイルを含んだフォルダは Preferences の Library ページの Factory ベインで管理します。 詳細は [6.5.4, Preferences – Library ページ](#) を参照してください。

## NKS 対応 KONTAKT/REAKTOR インストゥルメントのインストール

第 3 者製 KONTAKT/REAKTOR インストゥルメント には、プリセットファイルとサンプルを含んだ全インストゥルメントファイルを内包する専用フォルダが用意されます。 インストーラーを起動する代わりに、このフォルダをハードドライブに保存する必要があります。 Native Access で起動します (KOMPLETE KONTROL ライブラリに追加されます)。 KONTAKT/REAKTOR を使用している場合は、インストゥルメントは自動的に対応するブラウザに追加されます。

NKS 対応 の KONTAKT インストゥルメントを起動し、KOMPLETE KONTROL ライブラリに追加する方法は以下です。

1. KOMPLETE KONTROL ソフトウェアのスタンドアロンバージョンを起動します。
2. KOMPLETE KONTROL メニューで *File* サブメニューを開き、*Manage Products...*をクリックします。



⇒ Native Access が開き、インストールしている全ての製品を表示します。

3. Native Access の左上隅の [Add a serial](#) をクリックします。

The screenshot shows the 'Native Access' software interface. On the left, there's a sidebar with 'Software' categories: 'Not installed' (16 items) and 'Available updates' (4 items). The 'Installed products' category is selected and highlighted in grey. At the top left of the main area, there's a button labeled '⊕ Add a serial' with a cursor icon pointing at it. The main area is titled 'INSTALLED PR' and shows a list of installed products, with one item named 'Abbey R' visible.

4. インストゥルメントのシリアル番号を入力し、[ADD SERIAL](#) をクリックします。

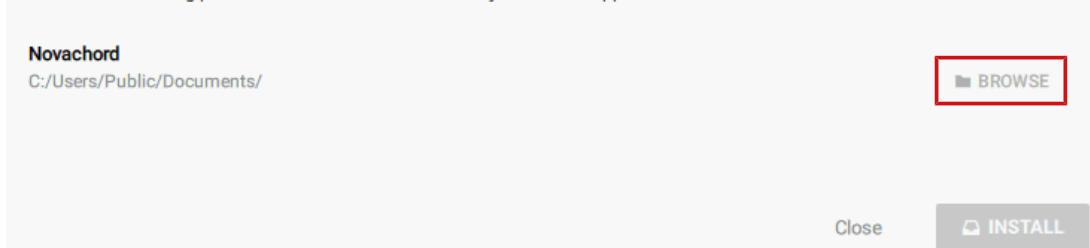
The screenshot shows the 'ADD A SERIAL' dialog box. It has a text input field where the serial number '80154' is entered. Below the input field is a link 'Where can I find my serial number?'. At the bottom, there's a note about agreeing to the EULA, a 'Cancel' button, and a large blue '⊕ ADD SERIAL' button.

- Native Access はインストゥルメントファイルを含むフォルダをブラウズするよう提案します。これを行う前に、コンピューターのフィルダ内のエンドロケーションにコピーしたか確認する必要があります。
5. [BROWSE](#) をクリックし、ファイルダイアログでインストゥルメントファイルを含むフォルダを表示します。

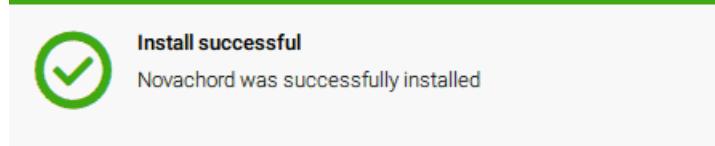
6. INSTALL をクリックし、KOMPLETE KONTROL ライブラリにインストゥルメントを追加します。

### THANK YOU FOR REGISTERING NOVACHORD

To continue installing please browse to the folder where you have unzipped Novachord.



- インストゥルメントがインストールされました。KOMPLETE KONTROL は自動的に新規コンテンツをスキャンし、KOMPLETE KONTROL ブラウザにインストゥルメントを追加します。



KOMPLETE KONTROL ライブラリと KONTAKT ブラウザはこのフォルダに含まれるファイルを参照するようになります。このフォルダはインストール後に削除したり移動しないことを推奨します。移動や削除を行った場合、KOMPLETE KONTROL と KONTAKT がインストゥルメントファイル検索を行えなくなります。インストゥルメントが見つからない場合は Preferences の Library ページの Rescan 機能を用いてライブラリをアップデートし、正しいフォルダ位置を検出してください。

## 11.7 KOMPLETE KONTROL 対応ユーザーファイルをインポートする

膨大な KOMPLETE ファクトリーライブラリの他に、自身のサンプル、または他のユーザーからのREAKTOR アンサンブル、または KONTAKT インストゥルメントファイルを使用する場合もあるでしょう。Files ペインからファイルを直接ロードすることもできますが、キーボードのブラウザ、または Library ペインでこれらのファイルを検索、ロードすることはできません。

まずはライブラリにファイルをインポートしてください。ファイルをインポートするといつても現在サンプルを保管しているファイルディレクトリを移動するというわけではなく、ブラウザにファイルディレクトリを認識させる方式を採用しています。そのため、ファイルを移動する度に、[Preferences パネル](#)の [Library](#) ページでファイルパスを認識させる必要があります。

[Files](#) ペインでは全フォルダをインポートすることができます。選択したフォルダ内の KOMPLETE KONTROL に互換性のある全ファイルがインポートされます。

## 手順

フォルダのインポート方法は以下となります。

1. [FILES](#) ペインでインポートするファイルがあるフォルダまでナビゲートします。
  2. 任意のフォルダを選択します。
  3. ファイルブラウザの右下にある [IMPORT](#) をクリックしてください。
    - Attribute Editor が表示されます。
  4. Attribute Editor でライブラリにインポートするファイルにタグ付けを行います。
  5. ブラウザ右下の [OK](#) をクリックしてライブラリにファイルをインポートします。
- 選択したフォルダ内の KOMPLETE KONTROL に互換性のある全ファイルがライブラリにインポートされます。ファイルがユーザー・コンテンツとして追加されます。更にインポートしたフォルダのパスが [Preferences パネル](#)の [Library](#) ページにある [User](#) ペインのユーザー・ライブラリリストに追加されます。



タグの追加、削除はインポート後いつでも行うことが可能です。しかしその後の手間を考えると、インポート時にタグをつけておくことが懸命でしょう。

# 12 インストゥルメントとエフェクトパラメーターの操作

このセクションでは KOMPLETE KONTROL キーボードを使用したインストゥルメントとエフェクトパラメーターのコントロール方法とパラメーターマッピングのカスタマイズ方法について解説します。

## 12.1 事前にマッピングが施されたインストゥルメント/エフェクトについて

全 KOMPLETE / NKS インストゥルメントとエフェクト にはあらかじめマッピングが施されており、プレマップドインストゥルメント 自動アサインされたコントロール部 KOMPLETE KONTROL にインストゥルメントをロードすると直ちにキーボードのノブと Touch Strips に対して主要パラメーターが自動的にアサインされます。MIDI ラーン機能を用いてマッピング設定やノブのアサインを行う必要はありません。



KOMPLETE KONTROL ソフトウェアのプラグインパネルの各プリセットファイル用パラメーターマッピングは、カスタマイズ可能です。詳細は [↑12.4, プラグインパネルを用いたパラメーターマッピングのカスタマイズ](#) を参照してください。

## 12.2 パラメーターの調節

インストゥルメントをロードすると、キーボードの 8 個のノブに 8 種のインストゥルメントパラメーターが自動的にアサインされます。KOMPLETE KONTROL キーボードのノブを回すとマッピングされたパラメーターが反応し、KOMPLETE KONTROL ソフトウェアでもその動きが確認できます。

- ▶ インストゥルメントのパラメーターを調節するには、キーボードの対応するノブを回してください。マッピングされた 8 個のノブのパラメーターナームはディスプレイに表示されます。

## 12.3 パラメーターページの切り替え

多くのインストゥルメント/エフェクト には 8 個以上のパラメーターがあります。追加パラメーターに素早くアクセスするには、コントロールセクションの左のページボタン（左右矢印ボタンです）を用いてページ間を移動します。これによりノブが対応するインストゥルメントパラメーターに即座に再マッピングされます。

- ▶ 他のパラメーターページに移動し、新しいコントロールパラメーターページを表示するには左右ページ矢印ボタンのどちらかを押します。
- **PAGE** ディスプレイでは現在のパラメーターページとロードしたプロダクトが含むページ総数を表示します。

## 12.4 プラグインパネルを用いたパラメーターマッピングのカスタマイズ

一つのインストゥルメントのプリセットファイルに対してパラメーターマッピングのカスタマイズを行う場合は、プラグインパネルの Edit モードを起動する必要があります。

- ▶ プラグインパネルのエディットモードを起動、起動解除するには右上隅の Edit モードボタンをクリックします。



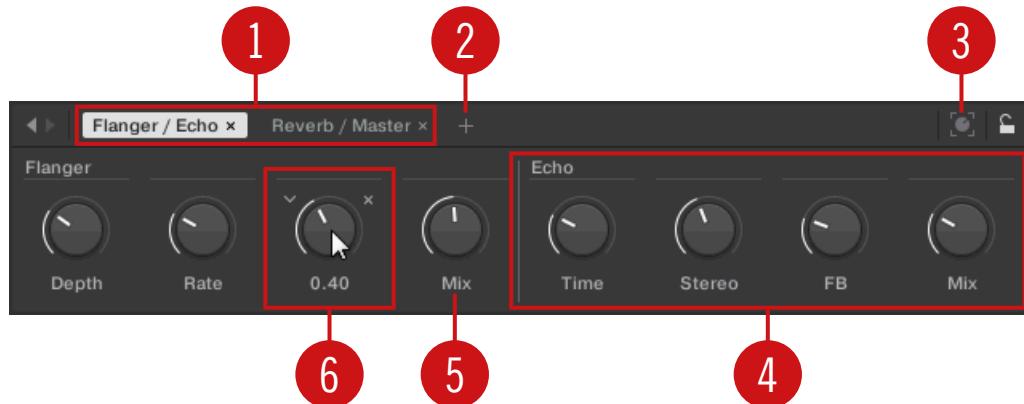
Edit モード では以下の設定を行うことができます。

- パラメーター用マッピングの追加、削除、置き換え
- コントロール部にパラメーターをラーン機能でアサインする
- コントロール部の名称変更
- コントロールセクションへのページ追加、または既存のページの削除
- ページからグループコントロールへの追加、セクション名称の変更



内容を変更したプリセットファイルは KOMPLETE KONTROL ユーザーライブラリに保存することでその後も使用することができるようになります。詳細は [↑ 11.1, ユーザーライブラリにプリセットファイルを保存する](#) を参照してください。

## プラグインパネルエディットモード



プラグインパネルのエディットモードです。

KOMPLETE KONTROL キーボードのコントロールセクションの各ページ(1) はプラグインパネルの最上部にラベル表示されます。

- 各ラベルをクリックして該当ページを表示、編集します。現在表示しているページはハイライト表示されます。
- ページを削除するには、ラベルの隣の x アイコンをクリックします。

Add Page ボタン (2) で現在のプリセットファイル用に対してコントロールセクション上で更にページを追加することができ、この際プラグインパネルのラーンボタン(3) がラーンモードを起動します。

- ラーンモードでプラグインパネルのコントロールを選択し、インストゥルメントのパネルのパラメーターを動かすことで、このパラメーターが選択したコントロールにアサインされます（青くハイライト表示されます）。

コントロールをセクション (4) 内でグループ化し、関係する各パラメーターを表示させることもできます。

- パラメーターの上の空欄部分をダブルクリックし、名称を入力、[エンター] または他の部分をクリックし、選択したパラメーターが属する新規セクションを作成することができます。
- 既存のセクションの名称を変更するには、名称をダブルクリックし、新規名称を入力します。[エンターアー] またはその外の部分をクリックすることで新規名称が適用されます。

各コントロールの名称はプラグインパネル (5) の対応するノブの下に表示されます。

- ▶ コントロールの名称を変更するには、名称部をダブルクリックし、新規名称を入力します。[エンター] またはその外の部分をクリックすることで新規名称が適用されます。

Edit モードでコントロール (6) にマウスを置くと、このコントロールのパラメーターマッピング内容を変更する追加オプションを使用できる状態となります。

1. コントロールのノブの左の矢印アイコンをクリックしてドロップダウンメニューからパラメーターを表示、このコントロールにマッピングするパラメーターを選択します。
2. コントロールのノブの右の x アイコンをクリックして、現在のページからこのコントロールを削除します。

# 13 Smart Play - スケールとコード演奏と編集

KOMPLETE KONTROL の Scale エンジン は多様なスケールを各種用意しています。この機能でピアノ等のインストゥルメントを演奏ミスなく、例えばマイナーペンタトニックスケールで演奏することができるようになります。Chord モードで用意されたスケールを用いて、ノートをコード演奏することが可能となります。更にアルペジエーターを使用することで、KOMPLETE KONTROL キーボードの一つの鍵盤を押す、または受信した MIDI ノート入力によってスケールを自動演奏することができます。

Perform Panel でスケールを選択し、Scale エンジンを起動すると、キーボードにスケールがマッピングされ、Light Guide もそのスケールを示すようになります。これでキーボードのどの鍵盤を押しても、またはホストを介してどの MIDI ノートが送信されても、ノートが設定したスケールを発音するようになります。

## 13.1 音楽理論について

KOMPLETE KONTROL はスケールとハーモニー用機能を装備しており、KOMPLETE インストゥルメントのコード演奏、またはアルペジオ演奏が可能となります。以下ではその内容を解説しています。

### スケール

音楽は通常リズムとハーモニーによって構成されます。例外も多くありますが、ここではスケール、コード、アルペジオシーケンスを理解するための解説を進めます。

全ノートとキーはピッチに対応します。鍵盤で各キーはセミトーンのピッチに対応し、隣り合うキーの音程は半音分異なります(チューニングによっては異なる場合があります)。ハーモニーが濁ることなくメロディーやコードを奏でるには、通常ノートはスケールとして大別された中から演奏します。西洋音楽ではスケールはピアノの 7 つの白鍵盤、5 つの黒鍵盤上で表現され、このまとまりをオクターブと呼びます。オクターブと称される所以は 8 番目(ラテン語、オクタバス)のキーが連続する 7 つの白鍵盤の後に繰り返され、また同じキーを発音することによるものです。このキーはルートノートと呼びます。スケールは、オクターブとして機能する白、黒鍵盤の特定の組み合わせのことを指します。スケール内のキーのみを演奏することで、「キーが合っている」ということになります。スケールはノートの絶対値によって定義されるものではなく、ピッチの変異の過程での関連性によって定義されるということを強調しておく必要があるでしょう。例えばメジャースケールは「全音-全音-半音-全音-全音-全音-半音」で構成され、鍵盤上下に変調することでルートノートを変更し、この規則にしたがって演奏することでスケールが保たれる、ということになります。

## コード

ポリフォニックインストゥルメントで複数ノートを同時に演奏する、これをコード演奏といいます。では、スケール上の各ノートを複数選択してコードがどのように構成されるか検証してみましょう。ここではCメジャースケールを使用します。上記解説したように、メジャースケールは2つの全音、その後半音を通過し、3つの全音を通過した後、半音に到達します。ではこの規則を踏まえれば、ルートノートCを起点にCメジャーコードを演奏するには、C、E、Dのキーを同時に押す、という事になります。このCメジャーコードは、ルートノート(C)、3度(E) 5度(G)で構成され、3和音(メジャートライアド)と呼びます。音楽的ハーモニーを踏まえたこの和音を演奏することで、複数のノートを同時に演奏し、コードとして成立させることができます。

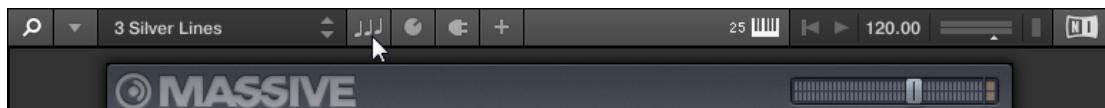
## Arpeggiator (アルペジエーター) シーケンス

上記セクションではノートを組み合わせたコード演奏について解説しました。これらのコードを分離してリズミカルに演奏することをアルペジオ演奏といいます(アルペジエーターシーケンスと呼ぶ場合もあります)。コードがノートにハーモニーを追加する役割として考えるなら、アルペジオによるシーケンスはそのコードに時間とリズムを追加する役割、と考えることができます。3つのノートを同時に押すことでコード演奏する代わりに、この3つのノートを様々な順序と、様々なリズムで演奏します。この方法でモノフォニックインストゥルメントを、コードに基づいて演奏することが可能となります。

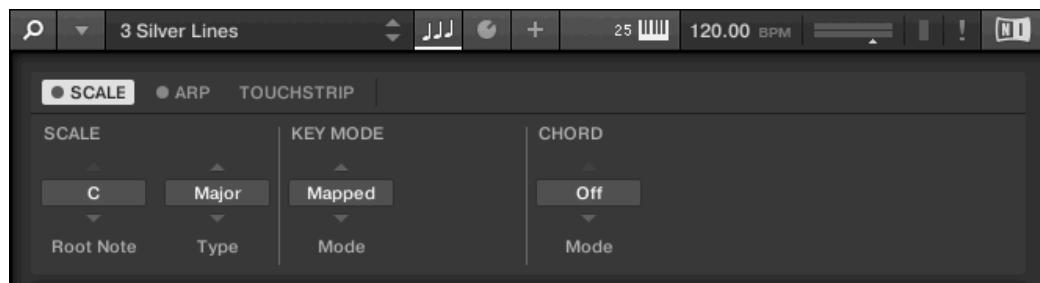
## 13.2 スケールエンジンを起動する

スケールエンジンを起動する方法は以下です。

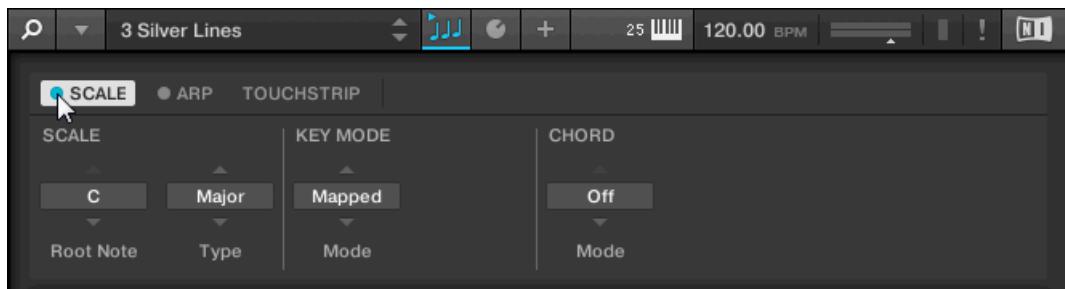
1. ヘッダのパフォームパネルボタンをクリックしてパフォームパネルを表示します。



→ Perform パネルが表示されます。



- Scale エンジンを起動するには、パフォームセクションの **SCALE** の隣のチェックボックスをクリックし青く表示させます。



### キーボードでスケールエンジンを起動する

- Scale エンジンを起動するには、キーボードの **PERFORM** セクションで **SCALE (EDIT)** を押します。

## 13.3 演奏するスケールの選択

KOMPLETE KONTROL キーボードでスケールを選択、演奏する方法は以下となります。

- SHIFT + SCALE (Edit)**を押し、コントロールセクションの ディスプレイとノブに SCALE パラメーターをマッピングします。
- スケール選択にはノブ 2 (BANK、デフォルト設定は MAIN)を回し、ノブ 3 (TYPE、デフォルト設定は MAJOR) を回して任意の設定にします。
- 選択したスケールを演奏するには、**SCALE (Edit)** ボタンが点灯しているか確認します。

- 選択したスケールに対応して鍵盤がマッピングされます。マッピング内容は Light Guide でも反映されます。点灯していないキーを押した場合でも、スケールにあった一番近い鍵盤が点灯していないキーに変わって対応します。
4. インストゥルメントパラメーターをノブとディスプレイに更にマッピングするには、**SHIFT + SCALE (Edit)** を押します。**NAVIGATE** セクションの **BACK** ボタンを押しても良いでしょう。スケールエンジン自体は起動したままとなります。



CHROM を選択すると、全鍵盤がマッピングされます。

## 13.4 コードの演奏

同時にいくつかの鍵盤を押さえる（またはホストから複数の MIDI ノートを同時に送信する）事でコードを演奏することは当然できますが、KOMPLETE KONTROL では Smart Play セクションを用いた独自のコード演奏機能があります。



複数のノートをコードとして演奏するには、インストゥルメントがポリフォニックのものである必要があります。

鍵盤の一つのキーでコードを演奏するための設定方法は以下となります。

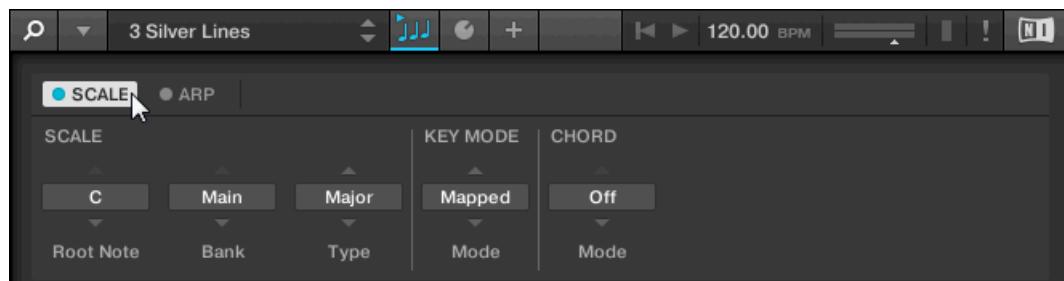
1. **SHIFT + SCALE (EDIT)** を押し、コントロールセクションの ディスプレイとノブに SCALE パラメーターをマッピングします。
2. Chord モードを起動するには、ノブ 5 を回して CHORD を HARM にします (デフォルトは OFF です)。
3. ノブ 6 の下の画面に表示される **Chord Type** パラメーターでコードのインターバルを設定します (デフォルトは 1-3-5 です)。
4. コード機能を用いて演奏するには、**SCALE (EDIT)** ボタンが点灯しているか確認します。  
→ Chord モードが起動し、*Harmonizer* に設定されます。キーを押すことで自動的に（スケール設定による）点灯しているキーの音程を発音します。同時に **3 度**、**5 度** のノートも選択したスケール基準にあわせて発音します。ノブ 6 の設定によって何度のノートを発音するかが変化します (1-3-5、では 1 度、3 度、5 度のノートを発音します)。再生中のノートは Light Guide でも表示されます。

5. インstrumentパラメーターをノブとディスプレイに更にマッピングするには、**SHIFT + SCALE (EDIT)** を押します。NAVIGATE セクションの BACK ボタンを押しても良いでしょう。スケールエンジン自体は起動したままとなります。

## 13.5 スケールとコードの編集

Scale エンジンパラメーターを使用してスケールとコードを任意に編集することができます。

- ▶ KOMPLETE KONTROL ソフトウェアでスケールエンジンパラメーターを編集するには、パフォームパネルの **SCALE** をクリックしてハイライト表示させます。



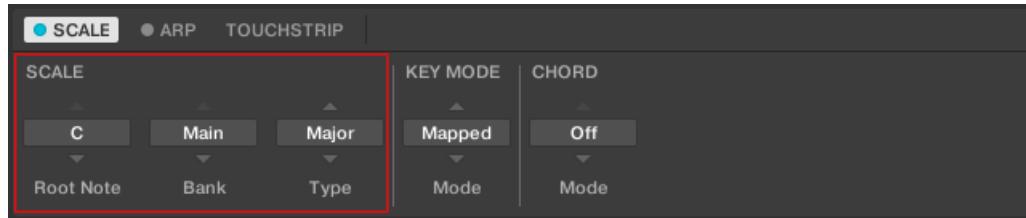
- ▶ Scale Edit モードを起動し、キーボードのコントロールセクションにスケールエンジンパラメーターをマッピングするには **SHIFT + SCALE (EDIT)** を押します。
- キーボードのコントロールセクションの **PAGE** ディスプレイが **SCALE** となり、スケールエンジンパラメーターを編集できるようになります。

### 使用できる SCALE パラメーター

- キーボードにスケールをマッピングし、ルートノートを設定するには、SCALE パラメーターである **Root Note**、**Bank**、**Type** を使用します。
- キーボード上に選択したスケールがどのようにマッピングされるか設定するには、KEY MODE パラメーターを使用します。
- 鍵盤使用の際に自動的にコード演奏を行うようにするには、CHORD パラメーター **Mode** と **Type Position** を使用します。

## 13.6 SCALE パラメーターの設定

SCALE パラメーター Root Note と Bank、Type で鍵盤にマッピングされるスケールを選択し、ルートノートを選択します。



SCALE パラメーターの Root Note、Bank、Type です。

### 13.6.1 SCALE ルートノート

最初の SCALE パラメーターは Root Note です。スケールエディットモードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 1 にマッピングされます。スケールのルートノートを設定することでスケールの起点が設定されます。それ以降のスケールノートは、SCALE パラメーターで選択するスケールの種類によって異なります (以下参照)。異なる Root Note を選択することで上下にスケールを変化させることもできます。



Light Guide キーボードは完全点灯した LED で Root Note を表示し、その外の有効なキーは全点灯より暗い状態となります。

Root Note セッティングには以下の値があります。

- C, C#, D, D#, E, F, F#, G, G#, A, A#, B

### 13.6.2 SCALE バンクとタイプ

左から 2、3 番目の SCALE パラメーターは Bank と Type です。スケールエディットモードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ に 2 と 3 にマッピングされます。これらを使用して KOMPLET KONTROL キーボードにマッピングされるスケールを選択します。各 Bank には 15 のテーマごとに分類したスケール群があり、Type コントロールで選択することができます。

例えば Root Note を C にし、Bank の Main から Type をデフォルトの Major にした場合は、スケールは C メジャーとなり、C, D, E, F, G, A, B (その後、オクターブ上の C が続きます) のノートがマッピングされます。Root Note を G にすると、G, A, B, C, D, E, F# (G が続きます) ノートを含んだ G メジャースケールとなります。発音されるノート間隔は「全音-全音-半音-全音-全音-全音-半音」となり、これが Major スケールの法則として機能します。

ホストから MIDI 入力でインストゥルメントを演奏する場合は、MIDI のノートは Type で選択したスケールに基づいて演奏されます。例えば (Root Note を C に設定し、) C-D-D# ノートを含んだ MIDI パターンが演奏された場合、Type が Chromatic (キーボードでは CHROM と表示されます) であればそのまま演奏されますが、Bank が Main、Type が Major となっている場合は C-D-E のノートを演奏します。



Light Guide は選択した Type を LED の点灯で示し、有効ではないキーは無点灯となります。

各スケールは以下となっています。

## Main Scales

スケール	Bank	Type	スケール内容
Chromatic	Main	Chrom	1 b2 2 b3 3 4 b5 5 b6 6 b7 7
Major	Main	Major	1 2 3 4 5 6 7
Minor	Main	Minor	1 2 b3 4 5 b6 b7
Harm Min	Main	Harm Min	1 2 b3 4 5 b6 7
Maj Pent	Main	Maj Pent	1 2 3 5 6
Min Pent	Main	Min Pent	1 b3 4 5 b7
Blues	Main	Blues	1 b3 4 #4 5 b7
Japanese	Main	Japanese	1 2 b3 5 b6
Freygish	Main	Freygish	1 b2 3 4 5 b6 b7
Gypsy	Main	Gypsy	1 2 b3 #4 5 b6 7
Arabic	Main	Arabic	1 b2 3 4 5 b6 7
Altered	Main	Altered	1 b2 #2 3 #4 b6 b7

スケール	Bank	Type	スケール内容
Whole Tone	<i>Main</i>	<i>WH Tone</i>	1 2 3 #4 #5 b7
H-W Dim	<i>Main</i>	<i>H-W Dim</i>	1 b2 #2 3 #4 5 6 b7
W-H Dim	<i>Main</i>	<i>W-H Dim</i>	1 2 b3 4 #4 #5 6 7

## Modes Scales:

スケール	Bank	Type	スケール内容
Ionian	<i>Modes</i>	<i>Ionian</i>	1 2 3 4 5 6 7
Dorian	<i>Modes</i>	<i>Dorian</i>	1 2 b3 4 5 6 b7
Phrygian	<i>Modes</i>	<i>Phrygian</i>	1 b2 b3 4 5 b6 b7
Lydian	<i>Modes</i>	<i>Lydian</i>	1 2 3 #4 5 6 7
Mixolydian	<i>Modes</i>	<i>Mixolyd</i>	1 2 3 4 5 6 b7
Aeolian	<i>Modes</i>	<i>Aeolian</i>	1 2 b3 4 5 b6 b7
Locrian	<i>Modes</i>	<i>Locrian</i>	1 b2 b3 4 b5 b6 b7
Ionian b2	<i>Modes</i>	<i>Ion b2</i>	1 b2 3 4 5 6 7
Dorian b5	<i>Modes</i>	<i>Dor b5</i>	1 2 b3 4 b5 6 b7
Harm Phryg	<i>Modes</i>	<i>Har Phry</i>	1 b2 b3 4 5 b6 7
Phryg Major	<i>Modes</i>	<i>Phry Maj</i>	1 b2 b3 4 5 6 7
Lydian b3	<i>Modes</i>	<i>Lyd b3</i>	1 2 b3 #4 5 6 7
Major Locrian	<i>Modes</i>	<i>Maj Loc</i>	1 2 3 4 b5 b6 b7
Minor Locrian	<i>Modes</i>	<i>Min Loc</i>	1 2 b3 4 b5 b6 b7
Super Locrian	<i>Modes</i>	<i>Sup Loc</i>	1 b2 b3 b4 b5 b6 b7

## Jazz Scales

スケール	Bank	Type	スケール内容
Lydian $\flat 7$	Jazz	<i>Lyd</i> $\flat 7$	1 2 3 $\#4$ 5 6 $\flat 7$
Altered	Jazz	<i>Altered</i>	1 $\flat 2$ $\#2$ 3 $\#4$ $\flat 6$ $\flat 7$
Diminished	Jazz	<i>Diminshd</i>	1 $\flat 2$ $\#2$ 3 $\#4$ 5 6 $\flat 7$
Mixo b13	Jazz	<i>Mix b13</i>	1 2 3 4 5 $\flat 6$ $\flat 7$
Mixo b9 b13	Jazz	<i>Mixb9b13</i>	1 $\flat 2$ 3 4 5 $\flat 6$ $\flat 7$
Lydian $\flat 7$ b2	Jazz	<i>Lyd</i> $\flat 7$ b2	1 $\flat 2$ 3 $\#4$ 5 6 $\flat 7$
Bebop	Jazz	<i>Bebop</i>	1 2 3 4 5 6 $\flat 7$ 7
Whole Tone	Jazz	<i>Whole Tn</i>	1 2 3 $\#4$ $\#5$ $\flat 7$
Blues Maj	Jazz	<i>Blues Ma</i>	1 2 $\flat 3$ 3 5 6
Blues Min	Jazz	<i>Blues Mi</i>	1 $\flat 3$ 4 $\#4$ 5 $\flat 7$
Blues Combined	Jazz	<i>BluesCmb</i>	1 2 $\flat 3$ 3 4 $\#4$ 5 6 $\flat 7$
Lydian #5	Jazz	<i>Lyd</i> #5	1 2 3 $\#4$ $\#5$ 6 7
Jazz Minor	Jazz	<i>Jazz Mi</i>	1 2 $\flat 3$ 4 5 6 7
Half Dim	Jazz	<i>Half Dim</i>	1 2 $\flat 3$ 4 $\flat 5$ $\flat 6$ $\flat 7$
Augmented	Jazz	<i>Augmenta</i>	1 $\flat 3$ 3 5 $\#5$ 7

## World Scales

スケール	Bank	Type	スケール内容
Hungarian Min	World	<i>Hung Min</i>	1 2 $\flat 3$ $\#4$ 5 $\flat 6$ 7
Hungarian Maj	World	<i>Hung Maj</i>	1 $\#2$ 3 $\#4$ 5 6 $\flat 7$
Neapolitan	World	<i>Neapoltn</i>	1 $\flat 2$ $\flat 3$ 4 5 $\flat 6$ 7
Spanish	World	<i>Spanish</i>	1 $\flat 2$ $\flat 3$ 3 4 5 $\flat 6$ $\flat 7$
Greek	World	<i>Greek</i>	1 2 $\flat 3$ $\flat 4$ 5 $\flat 6$ $\flat 7$

スケール	Bank	Type	スケール内容
Jewish 1	<i>World</i>	<i>Jewish 1</i>	1 ♭2 3 4 5 ♭6 ♭7
Jewish 2	<i>World</i>	<i>Jewish 2</i>	1 2 ♭3 #4 5 6 ♭7
Indian 1	<i>World</i>	<i>Indian 1</i>	1 ♭2 ♭3 #4 5 ♭6 7
Indian 2	<i>World</i>	<i>Indian 2</i>	1 2 ♭3 #4 5 6 7
Indian 3	<i>World</i>	<i>Indian 3</i>	1 ♭2 2 4 5 ♭6 6
Indian 4	<i>World</i>	<i>Indian 4</i>	1 #2 3 4 5 #6 7
Mid East 1	<i>World</i>	<i>M East 1</i>	1 ♭2 3 4 5 ♭6 7
Mid East 2	<i>World</i>	<i>M East 2</i>	1 ♭2 3 4 ♭5 ♭6 7
Mid East 3	<i>World</i>	<i>M East 3</i>	1 ♭2 ♭3 4 ♭5 6 ♭7
Mid East 4	<i>World</i>	<i>M East 4</i>	1 ♭2 3 4 ♭5 6 ♭7

## 5-Tone Scales

スケール	Bank	Type	スケール内容
Penta I	<i>5-Tone</i>	<i>Pent I</i>	1 2 3 5 6
Penta II	<i>5-Tone</i>	<i>Pent II</i>	1 2 4 5 ♭7
Penta III	<i>5-Tone</i>	<i>Pent III</i>	1 ♭3 4 ♭6 ♭7
Penta IV	<i>5-Tone</i>	<i>Pent IV</i>	1 2 4 5 6
Penta V	<i>5-Tone</i>	<i>Pent V</i>	1 ♭3 4 5 ♭7
Hirajoshi	<i>5-Tone</i>	<i>Hira</i>	1 2 ♭3 5 b6
Insen	<i>5-Tone</i>	<i>Insen</i>	1 ♭2 4 5 ♭7
Kokin Joshi	<i>5-Tone</i>	<i>Kokin</i>	1 2 4 5 b6
Akebono	<i>5-Tone</i>	<i>Akebono</i>	1 2 ♭3 5 6
Ryukuan	<i>5-Tone</i>	<i>Ryukuan</i>	1 3 4 5 7
Abhogi	<i>5-Tone</i>	<i>Abhogi</i>	1 2 ♭3 4 6

スケール	Bank	Type	スケール内容
Bhupkali	<i>5-Tone</i>	<i>Bhupkali</i>	1 2 3 5 b6
Hindolam	<i>5-Tone</i>	<i>Hindolam</i>	1 b3 4 b6 b7
Bhupalam	<i>5-Tone</i>	<i>Bhupalam</i>	1 b2 b3 5 b6
Amritavarshini	<i>5-Tone</i>	<i>Amrita</i>	1 3 #4 5 7

## Modern Scales

スケール	Bank	Type	スケール内容
Octatonic	<i>Modern</i>	<i>Octatonic</i>	1 2 b3 4 #4 #5 6 7
Acoustic	<i>Modern</i>	<i>Acoustic</i>	1 2 3 #4 5 6 b7
Augmented	<i>Modern</i>	<i>Augmenta</i>	1 b3 3 5 #5 7
Tritone	<i>Modern</i>	<i>Tritone</i>	1 b2 3 b5 5 b7
Leading Wh Tone	<i>Modern</i>	<i>Lead Wh</i>	1 2 3 #4 #5 #6 7
Enigmatic	<i>Modern</i>	<i>Enigmatic</i>	1 b2 3 #4 #5 #6 7
Scriabin	<i>Modern</i>	<i>Scriabin</i>	1 2 3 #4 6 b7
Tcherepnin	<i>Modern</i>	<i>Tcherepn</i>	1 #1 #2 3 4 5 #5 6 7
Messiaen I	<i>Modern</i>	<i>Mes I</i>	1 2 3 #4 #5 #6
Messiaen II	<i>Modern</i>	<i>Mes II</i>	1 b2 #2 3 #4 5 6 b7
Messiaen III	<i>Modern</i>	<i>Mes III</i>	1 2 b3 3 #4 5 b6 b7 7
Messiaen IV	<i>Modern</i>	<i>Mes IV</i>	1 b2 2 4 #4 5 b6 7
Messiaen V	<i>Modern</i>	<i>Mes V</i>	1 b2 4 #4 5 7
Messiaen VI	<i>Modern</i>	<i>Mes VI</i>	1 2 3 4 #4 #5 #6 7
Messiaen VII	<i>Modern</i>	<i>Mes VII</i>	1 b2 2 b3 4 #4 5 b6 6 7

## Major Scales

スケール	Bank	Type	スケール内容
Natural	<i>Major</i>	<i>Natural</i>	1 2 3 4 5 6 7
Lydian	<i>Major</i>	<i>Lydian</i>	1 2 3 #4 5 6 7
Mixolydian	<i>Major</i>	<i>Mixolyd</i>	1 2 3 4 5 6 b7
Major Minor	<i>Major</i>	<i>Maj Min</i>	1 2 3 4 5 b6 b7
Harmonic Major	<i>Major</i>	<i>Har Maj</i>	1 2 3 4 5 b6 7
Dbl Har Major	<i>Major</i>	<i>Dbl Maj</i>	1 b2 3 4 5 b6 7
Neapolitan Maj	<i>Major</i>	<i>Nea Maj</i>	1 b2 3 4 5 6 7
Major Locrian	<i>Major</i>	<i>Maj Loc</i>	1 2 3 4 b5 b6 b7
Blues Major	<i>Major</i>	<i>Blues Ma</i>	1 2 b3 3 5 6
Bebop Major	<i>Major</i>	<i>Bebop Ma</i>	1 2 3 4 5 #5 6 7
Hexa 1	<i>Major</i>	<i>Hexa 1</i>	1 2 3 5 6 7
Hexa 2	<i>Major</i>	<i>Hexa 2</i>	1 2 3 4 5 6
Penta 1	<i>Major</i>	<i>Penta 1</i>	1 2 3 5 6
Penta 2	<i>Major</i>	<i>Penta 2</i>	1 3 4 5 7
Penta 3	<i>Major</i>	<i>Penta 3</i>	1 3 5 6 7

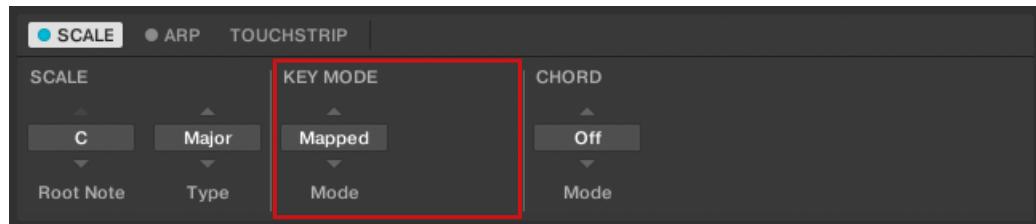
## Minor Scales

スケール	Bank	Type	スケール内容
Natural	<i>Minor</i>	<i>Natural</i>	1 2 b3 4 5 b6 b7
Dorian	<i>Minor</i>	<i>Dorian</i>	1 2 b3 4 5 6 b7
Phrygian	<i>Minor</i>	<i>Phrygian</i>	1 b2 b3 4 5 b6 b7
Minor Major	<i>Minor</i>	<i>Min Maj</i>	1 2 b3 4 5 6 7
Harmonic Minor	<i>Minor</i>	<i>Har Min</i>	1 2 b3 4 5 b6 7

スケール	Bank	Type	スケール内容
Dbl Har Minor	Minor	Dbl Min	1 2 ♭3 #4 5 ♭6 7
Neapolitan Min	Minor	Nea Min	1 ♭2 ♭3 4 5 ♭6 7
Minor Locrian	Minor	Min Loc	1 2 ♭3 4 ♭5 ♭6 ♭7
Blues Min	Minor	Blues Mi	1 ♭3 4 #4 5 ♭7
Bebop Minor	Minor	Bebop Mi	1 2 ♭3 4 5 ♭6 ♭7 7
Hexa 1	Minor	Hexa 1	1 2 ♭3 5 ♭6 ♭7
Hexa 2	Minor	Hexa 2	1 2 ♭3 4 5 b6
Penta 1	Minor	Penta 1	1 2 ♭3 5 b6
Penta 2	Minor	Penta 2	1 ♭3 4 5 ♭7
Penta 3	Minor	Penta 3	1 ♭3 5 ♭6 ♭7

## 13.7 KEY MODE パラメーターの設定

KEY MODE パラメーターは Mode のみです。スケールエディットモードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 3 にマッピングされます。ここで選択したスケールをキーボードの鍵盤にマッピングします。この設定は Light Guide にも反映します。



KEY MODE パラメーター Mode です。

3 つのモードを配した KEY MODE メニューの詳細は、以下で解説します。

- Guide
- Mapped (デフォルト)
- Easy

## Mapped モード(デフォルト)

*Mapped* モードで選択したスケールに対応してキーボードにノートがマッピングされます。選択したスケール以外のノートは無効の状態となります。対応するキーを押すと選択したスケールを発音します。Light Guide は有効なキーをフル点灯する LED で示します。[Root Note](#) は更に明るい LED で表示します。



各セクションでは [Root Note](#) と [SCALE](#) に間に KEY MODE がデフォルト値でマッピングしてある状態を前提に解説します。

## Guide モード

*Guide* モードで、ノートは *Mapped* モードと同様にキーボードにマッピングされますが、選択したスケール以外のノートも有効な状態となります。マッピングは Light Guide 上で有効なスケールを示します。

## Easy モード

*Easy* モードでは選択したスケールのノートはキーボードの白鍵盤部分のみにマッピングされます。黒鍵盤を演奏しても無効の状態なので他のノートを発音することはありません。



KEY MODE *Easy* で 12 ステップの Chromatic を選択した場合、マッピング内容は *Mapped* モードでの内容と同じになります。

[Root Note](#) は常に 中央の C (C3 と呼びます) にマッピングされます。選択したスケールが 7 つのノートを含む場合は、鍵盤の 1 オクターブ分の白鍵盤にマッピングされます。この場合、[Root Note](#) はキー C となります。選択したスケールが 7 つ以上、以下のノート数となる場合、7 つの白鍵盤とはマッチしないので、オクターブごとに [Root Note](#) の位置が変化します。

Light Guide はキーボードの白鍵盤全てをハイライト表示します。[Root Note](#) は更に明るい LED で表示します。

以下は *Easy* モードを使用したマッピング例です (*Major* と *Minor* 設定)。

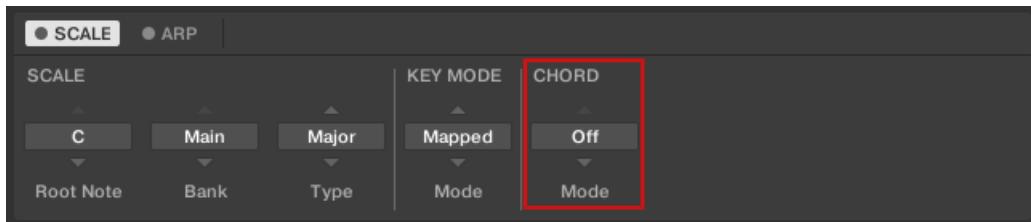
Scale Type	Key Mode が Easy モードの場合のマッピング							
白鍵盤	C3	D3	E3	F3	G3	A3	B3	
<i>Major</i>								
マッピング内容	R	2	3	4	5	6	7	

Scale Type	Key Mode が Easy モードの場合のマッピング							
例 Root Note が C の場合	C	D	E	F	G	A	B	
Minor								
マッピング内容	R	2	b3	4	5	b6	b7	
例 Root Note が C の場合	C	D	Eb	F	G	Ab	Bb	

## 13.8 CHORD パラメーターの設定

### 13.8.1 CHORD モード

CHORD 最初のコードパラメーターは [Mode](#) です。スケールエディットモードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 5 にマッピングされます。KOMPLETE KONTROL キーボード、またはホストの MIDI 入力ノートを用いて単一ノートによりコードを生成します。



CHORD パラメーター [Mode](#) です。



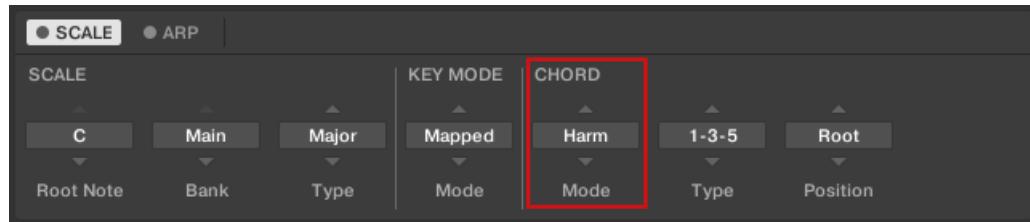
Light Guide はコードを LED のフル点灯で示し、起動しているキーは半分点灯した状態、無効のキーは無点灯となります。

CHORD Mode は一つの無効(*Off*)の状態と、2 つの起動した状態があります（以下参照）。

- *Off*
- *Harm*
- *Chd Set*

## Harm

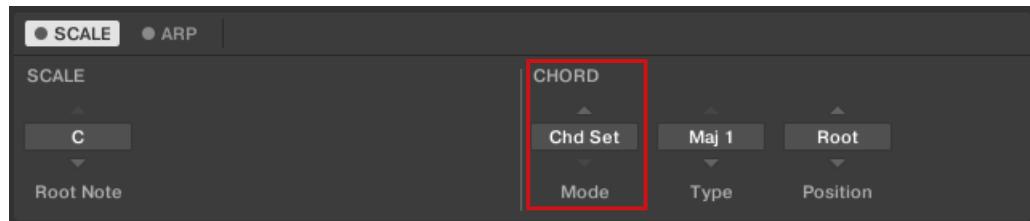
CHORD Mode を *Harm* にすると、CHORD Type メニューで選択した SCALE Type によりノートが設定され、コードを構成する基本となります。例えばトライアドはルートノート、3 度、5 度となります (CHORD Type 1-3-5)。



CHORD パラメーター Mode を *Harm* にしています。

## Chd Set

CHORD Mode を *Chd Set* にすると、CHORD Type メニューで現在の Root Note によりメジャー/マイナーコードを選択できるようになります。



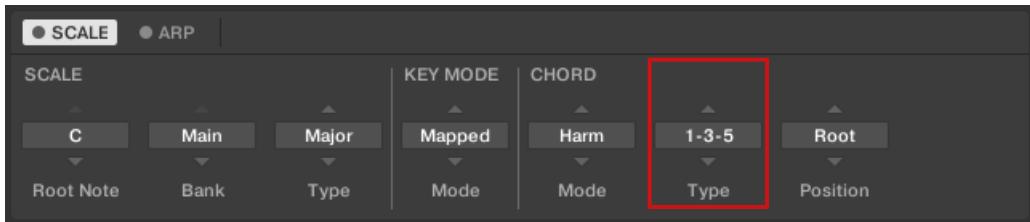
CHORD パラメーター Mode を *Chd Set* にしています。



SCALE Type と KEY MODE パラメーターは CHORD Mode を *Chd Set* にした場合機能しなくなります。

### 13.8.2 CHORD タイプ

次の CHORD パラメーターは Type です。スケールエディットモードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 6 にマッピングされます。ここで単一ノート入力によって生成されるコードを設定します。



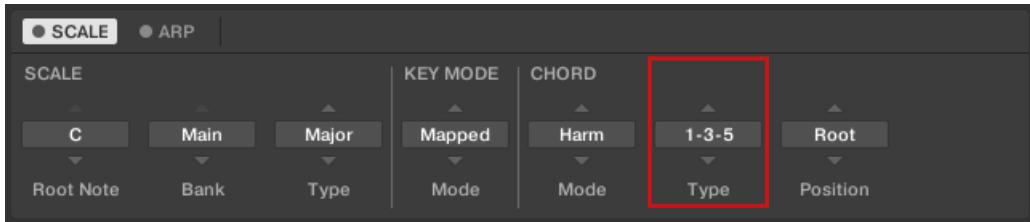
CHORD パラメーター Type です。



Light Guide はコードを LED のフル点灯で示し、起動しているキーは半分点灯した状態、無効のキーは無点灯となります。

有効な CHORD Type 値は CHORD Mode を Harm または Chd Set にするかで異なります。

#### CHORD Type, CHORD Mode Set to Harmonizer



CHORD パラメーター Type を 1-3-5 (Mode は Harm にしています) にしています。

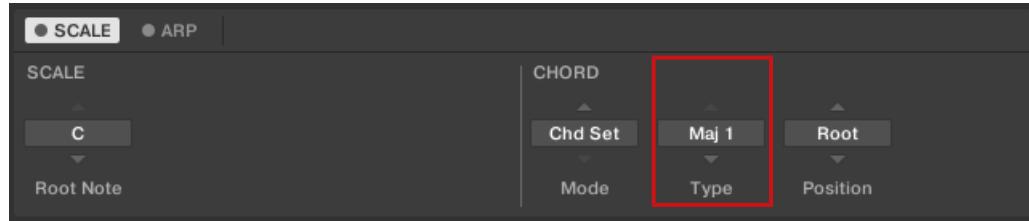
CHORDMode を Harm にした場合は、CHORD Type では選択した SCALE Type による各ノートを表示します。これで Chrom スケール以外の全スケールで、コードを構成するノート間隔を選択することができるようになります。

ノート間隔は KOMPLETE KONTROL キーボード、またはホストから送信された単一の MIDI ノートに適用されます。例えば Root Note を C、SCALE Type を Minor、CHORD Mode を Harm にし、CHORD Type を 1-3-5 にすることで C マイナートライアドが生成されます。ここまで解説が難解であれば、任意の値を設定してキーボードの Light Guide を確認して、どのキーが有効、無効であるか、どのノートが再生されるか試してみてください。

CHORD Mode を Harm にすると、CHORD Type セッティングには以下の値が表示されます。

Chord Type	演奏ノートに追加されるノート
オクターブ	オクターブ
1-3	3rd
1-5	5th
1-3-5	3rd と 5th
1-4-5	4th と 5th
1-3-5-7	3rd、5th、7th
1-4-7	4th と 7th

## CHORD Type, CHORD Mode Set to Chd Set



CHORD パラメーター Type で値を Maj 1 (Mode は Chd Set にします) にします。

CHORD Mode を Chd Set にし、例えば Root Note を C にすると、CHORD Type メニューに選択可能なコードがリストアップされます。例えば選択肢は Maj 4 や Min 7 となり、これらがルートノート C を使用した場合メジャー、マイナーコードを生成します。

CHORD Mode を Chd Set にすると、CHORD Type には以下の値が含まれるようになります。

- Maj 1、Maj 2、Maj 3、Maj 4、Maj 5、Maj 6、Maj 7、Maj 8、Min 1、Min 2、Min 3、Min 4、Min 5、Min 6、Min 7、Min 8

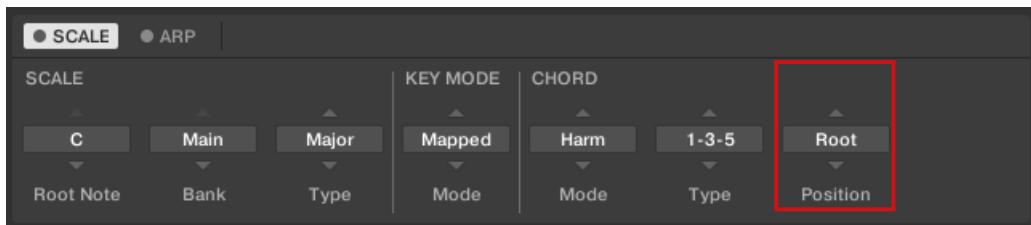
## CHORD Type and the Chromatic Scale

*Chrom* スケールではオクターブの全セミトーンが含まれます。これは全白鍵盤、黒鍵盤をオクターブ全域に渡って 12 ステップの *Chrom* スケールを演奏している、ということになります。スケール内で全てのセミトーンを使用でき、これらのキーでコードを演奏できます。SCALE TYPE として *Chrom* を選択すると、自由に CHORD Type を選択することが可能となります。以下は生成可能な有効なコードです。

Chord Type	再生ノートに追加されるセミトーン
オクターブ	12
Perf 4 (Perfect 4)	5
Perf 5 (Perfect 5)	7
Major	4 と 7
Minor	3 と 7
Sus 4 (Suspended 4)	5 と 7
Maj 7 (Major 7)	4、7 と 11
Min 7 (Minor 7)	3、7 と 10
Dom 7 (Dominant 7)	4、7 と 10
Dom 79 (Dominant 9)	4、7、10、と 14
Min 7 b5 (Minor 7 b5)	3、6 と 10
Dim 7 (Diminished 7)	3、6 と 9
Aug (Augmented)	4 と 8
Quartal	5、10 と 15
Trichd (Trichord)	5 と 11

### 13.8.3 CHORD ポジション

三番目の CHORD パラメーターは Position です。スケールエディットモードを選択すると、キーボードでのこの機能はコントロールセクションのノブ 7 にマッピングされます。この機能で単音から生成されるコードのノートを各位置で発音、コード変移をより音楽的にします。



CHORD パラメーター、Position です。

Position パラメーターは CHORD Type を Harm または Chd Set にすることで使用でき、以下の設定値を使用できるようになります。

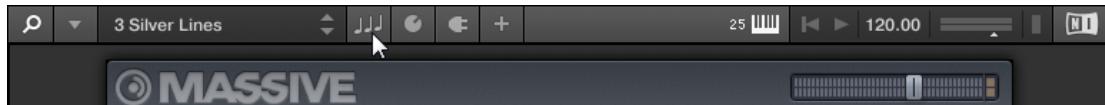
Position(ポジション)	内容
Root	選択したコードのルートポジションが常に発音されます。
-1 から -8	Position をマイナス値にすることで現在のコードの最高ノート値がオクターブ下に移動し、コードが選択したスケールに合わせて反転します。
+1 から +8	Position をプラス値にすることで現在のコードの最低ノート値がオクターブ上に移動し、コードが選択したスケールに合わせて反転します。
Auto	コード変更の際に、より人が演奏したような発音内容となります。各コードで使用したノートが自動的に使用されるようになります。

## 14 Smart Play – アルペジオ演奏と編集

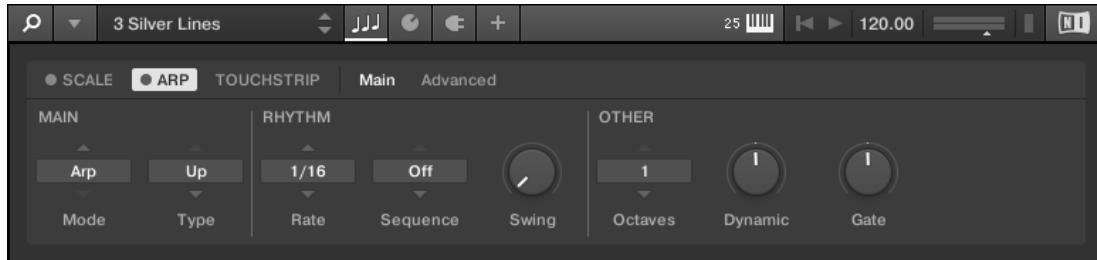
Smart Play 機能の柔軟なアルペジエーターで、鍵盤を押すことでインストゥルメントを演奏することができます。Scale エンジンで作成したスケールとコードを用いたアルペジオ演奏も可能です。アルペジオ演奏では KOMPLETE KONTROL キーボードのいずれかを押すか、ホストから MIDI ノートを送信するのみとなります。

### KOMPLETE KONTROL ソフトウェアでアルペジエーターを起動する

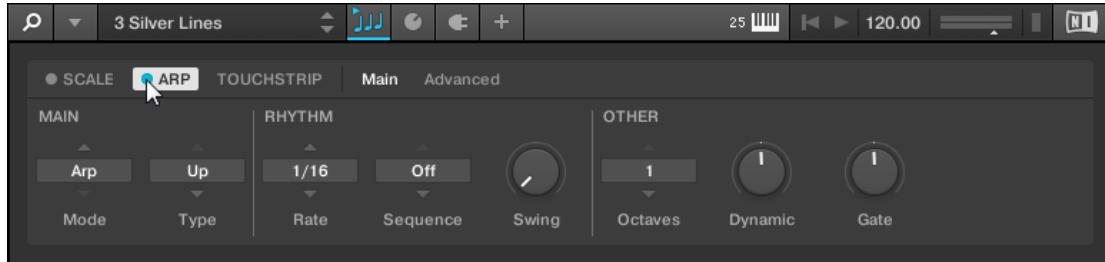
- ▶ ヘッダのパフォームパネルボタンをクリックしてパフォームパネルを表示します。



→ パフォームパネルが KOMPLETE KONTROL に表示されます。



- ▶ アルペジエーターエンジンを起動するには、パフォームパネルの ARP の隣のチェックボックスをクリックします。



## キーボードでアルペジエーターを起動する

- ▶ アルペジエーターを起動するには、キーボードの **PERFORM** セクションで **ARP (EDIT)** を押します。

## 14.1 Arpeggiator (アルペジエーター) の演奏

KOMPLETE KONTROL の Smart Play を使用することで、複雑なアルペジエーターシーケンスの作成と演奏ができます。

### Arpeggiator (アルペジエーター) の演奏

1. キーボードの **ARP (Edit)** ボタンを押してアルペジエーターを起動します。
2. 各キーを弾くことでアルペジオ演奏します。
3. アルペジエーターは自動的に弾いた鍵盤に対応してアルペジオ演奏します。

### アルペジエーターパラメーターの編集

コントロールセクションのアルペジエーターパラメーターでシークエンスを更に設定することも可能です。

1. **SHIFT + ARP (EDIT)** を押し、Control セクションの ディスプレイとノブをアルペジエーターパラメーターにマッピングします。
2. シーケンスの演奏順序を変更するには例えば UP-DOWN の場合はノブ 2 (TYPE を回し (デフォルト値は UP です) 変更します。
3. アルペジオ演奏範囲を決める OCTAVES を変更するには、ノブ 6 (デフォルトは 1 です) を例えば 4 にします。  
→ これでアルペジオがオクターブ間を行き来するようになります。
4. インストゥルメントパラメーターをノブとディスプレイに更にマッピングするには、**SHIFT + ARP (EDIT)** を押します。NAVIGATE セクションの **BACK** ボタンを押しても良いでしょう。アルペジエーターは起動したままとなります。

## 14.2 サステインペダルでアルペジエーターをコントロールする

サステインペダルでアルペジエーターをコントロールすることもできます。

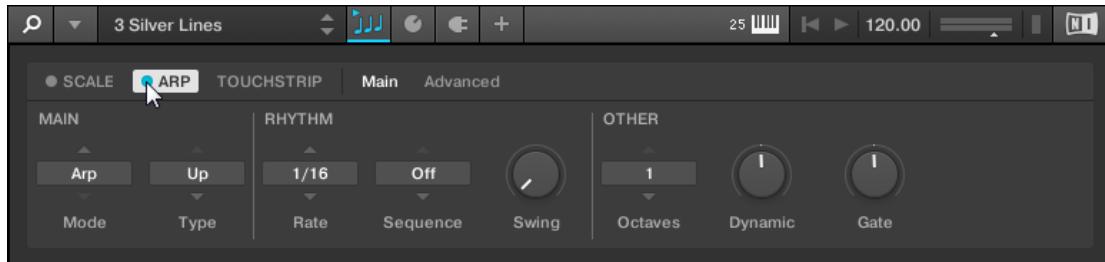
- 鍵盤を押している間にサステインペダルを押し、鍵盤を放すと、アルペジオ演奏が継続されます。これでフットスイッチがアルペジエーターのトリガーとして機能します。鍵盤を演奏すると、現在のシーケンスに新規ノートが追加されます。

- 鍵盤を押していない状態でサステインペダルを放すと、シーケンスと全演奏ノートが停止します。鍵盤を押している状態でサステインペダルを放すと、押している鍵盤以外の全ノートが演奏を停止します。この際押している鍵盤の演奏を継続します。

## 14.3 アルペジエーターの編集

アルペジエーターには各パラメーターがあり、ノートシーケンスに多彩な表現力を与えます。

- ▶ KOMPLETE KONTROL ソフトウェアでアルペジエーターパラメーターを編集するには、パフォームパネルの **ARP** をクリックしてハイライト表示させます。



- ▶ Arpeggiator Edit モードを起動し、キーボードのコントロールセクションにアルペジエーターパラメーターをマッピングするには **SHIFT + ARP (EDIT)** を押します。
- キーボードのコントロールセクションの **PAGE** ディスプレイが **ARP** となり、アルペジエーターパラメーターを編集できるようになります。Arpeggiator Edit モードには 2 ページ分のパラメーターがあります。

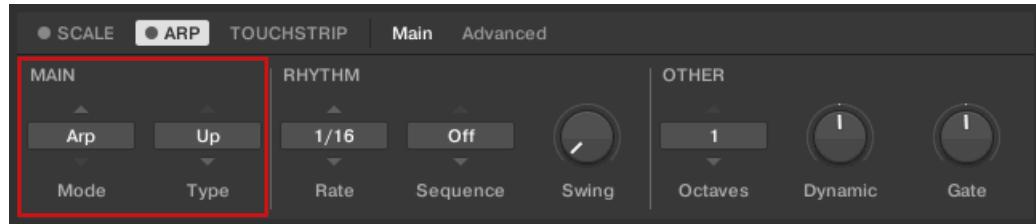
### 各アルペジエーターパラメーター詳細

- *Arp* と *Note Repeat* モードの切り替え、アルペジエーターの再生順序を切り替えるには **MAIN** パラメーター **Mode** と **Type** を使用します。
- アルペジエーターの再生順序をかえ、様々なリズムを生成するには、**RHYTHM** パラメーターの **Rate**、**Sequence**、**Swing** を使用します。
- アルペジエーター用のノートレンジやベロシティ、レンジスを変更するには、**OTHER** パラメーターの **Octaves**、**Dynamic**、**Gate** を使用します。
- 気に入ったアルペジオシーケンスのバージョンを作る場合は、**ADVANCED** パラメーターの **Retrigger**、**Repeat**、**Offset**、**Inversion** を使用します。
- アルペジオを起動するキーレンジを変更するには、**RANGE** パラメーター **Min. Key** と **Max. Key** を使用します。

- アルペジオを持続再生するには、[HOLD](#) パラメーターを使用します。

## 14.4 MAIN パラメーター

MAIN パラメーター [Mode](#) と [Type](#) で *Arp* と *Note Repeat* モードの切り替え、アルペジオの再生順序を変更します。



MAIN パラメーター [Mode](#) と [Type](#) です。

### 14.4.1 MAIN モード

最初の MAIN パラメーターは [Mode](#) です。キーボードでは Arp Edit モードのコントロールセクションのノブ 1 にマッピングされます。ここでは *Arp* または *Note Repeat* を選択することができます。選択内容によってアルペジエーターパラメーターの異なるセットが編集用に表示されます。

[Mode](#) 設定時には以下のモードがあります。

- Arp* モードで鍵盤によるコード演奏によりアルペジエーターシーケンスを生成、または Scale エンジンのアウトプットを用いて生成します。ARP 起動し、[Mode](#) を *Arp* にすると、Scale エンジンを用いて生成したコードでアルペジオ演奏します。この場合、選択したスケールによるアルペジオ演奏を行うには、鍵盤の一つを押さえるだけとなります。
- Note Repeat* モードで、アルペジエーター機能が解除され、KOMPLETE KONTROL が MIDI ノートオフメッセージを受信するまでノートが連続再生されます。各パラメーター [Rate](#)、[Swing](#)、[Gate](#) パラメーターを使用してリピートのリズムを設定します。

### 14.4.2 MAIN タイプ

次の MAIN パラメーター、[Type](#) は *Arp* モードのみで有効な機能です。Arp エディットモードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 2 にマッピングされます。アルペジオノートの演奏順序を設定します。ルートノートを基点にコードがどのように演奏されるか設定します。Order Played

を選択すると、KOMPLETE KONTROL キーボードで鍵盤に触れた順番でアルペジオ演奏されます。ホストで Type パラメーターをオートメーションすることでアルペジオ演奏に変化をつけることができるでしょう。

Type セッティングには以下の値があります。

- Up, Down, Up & Down (UP-DOWN キーボード)、Order Played (PLAYED キーボード)、Chord

## 14.5 RHYTHM パラメーター

RHYTHM パラメーター Rate、Sequence、Swing で様々なアルペジオを生成することができます。



RHYTHM パラメーター Rate、Sequence、Swing です。

### 14.5.1 RHYTHM Rate

最初の RHYTHM パラメーター Rate は、Arp と Note Repeat モードの両方にあります。Arp エディットモードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 3 にマッピングされます。アルペジエーターのビートはグローバルテンポと同調し、設定値幅は 1/1 から 1/128 となります。(1/1 と 1/128 以外の) 全ノート値には通常音符、付点音符、三連符があります。付点音符は通常の音符より 1.5 倍の長さとなります。三連符は通常ノートの 2/3 の長さとなります。

Rate セッティングには以下の値があります。

- 1/1
- 1/2 Dotted (1/2 D)
- 1/1 Triplet (1/1 T)
- 1/2
- 1/4 Dotted (1/4 D)
- 1/2 Triplet (1/2 T)
- 1/4
- 1/8 Dotted (1/8 D)

- *1/4 Triplet (1/4 T)*
- *1/8*
- *1/16 Dotted (1/16 D)*
- *1/8 Triplet (1/8 T)*
- *1/16*
- *1/32 Dotted (1/32 D)*
- *1/16 Triplet (1/16 T)*
- *1/32*
- *1/64 Dotted (1/64 D)*
- *1/32 Triplet (1/32 T)*
- *1/64*
- *1/128 Dotted (1/128 D)*
- *1/64 Triplet (1/64 T)*
- *1/128*

## 14.5.2 RHYTHM Sequence

次の RHYTHM パラメーター [Sequence](#) は Arp モードのみにあります。 Arp エディットモードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 4 にマッピングされます。アルペジオノートにリズムによる変化を与えます。選択肢は 8 つです。 [Sequence](#) 使用時に [Rate](#) パラメーター (参照) を編集することで異なるテンポによるリズムのバリエーションを生成することが可能となります。 [Rate](#) を通常値、または付点音符による値にすると、[Sequence](#) は 16 ステップのノートシーケンスを生成します。 [Rate](#) を三連符による値にすると、[Sequence](#) は 12 ステップのノートシーケンスを生成します。

再生中にシーケンスリズムを変更することも可能です。例えばシーケンス 1 を使用中にシーケンス 2 を選択すると、MIDI ノートの 5 番目以降がシーケンス 2 の内容に切り替わります。

[Sequence](#) セッティングには以下の値があります。

- *Off, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8*



SEQUENCE パラメーターの設定値を確認するには、ノブ 4 をタップします。

### 14.5.3 RHYTHM Swing

3番目の RHYTHM パラメーター [Swing](#) は、*Arp* と *Note Repeat* モードの両方にあります。Arp エディットモードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 5 にマッピングされます。Swing をノートシーケンスに追加し、より自然な「ノリ」を与えることができます。Swing を追加することでシーケンス上の各二番目のノートの再生位置が絶妙にずれます。これで音楽にグルーヴを追加することができます。

Swing はドラッグコントロールで、設定値は 0% から 100% までです。

1. 0% でノートシーケンスに何の変化も起きません。
2. Swing 値を上げることで毎 2 個目のノートの発音タイミングを遅らせます。この遅れ度合いは現在のステップサイズと同調して設定されます。

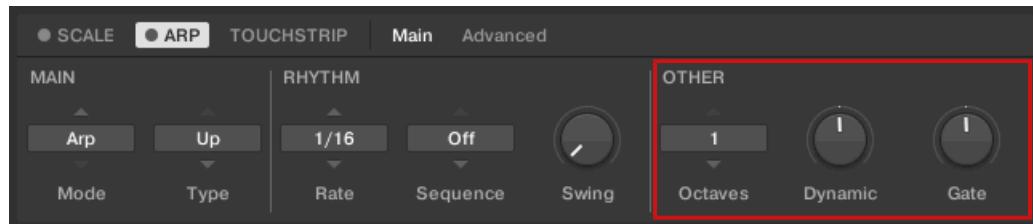


SWING パラメーターの設定値を確認するには、ノブ 5 をタップします。

Swing 設定時に [Gate](#) パラメーターを設定することでグルーヴにバリエーションをつけることが可能となります。例えば Gate を 100% にすると、KOMPLETE KONTROL が各ノートを発音する前に MIDI ノートオフメッセージを送信し、シーケンスをレガート再生します。Gate 値が 100% 以下の場合は、Swing 値が適用された後にノートサイズが変化します。

### 14.6 OTHER パラメーター

OTHER パラメーター [Octaves](#)、[Dynamic](#)、[Gate](#) でアルペジオのノートレンジ、ベロシティ、レンジスを変更します。



OTHER パラメーター Octaves、Dynamic、Gate です。

### 14.6.1 OTHER Octaves

最初の OTHER パラメーター [Octaves](#) は *Arp* モードのみで使用できます。Arp エディットモードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 6 にマッピングされます。ここでアルペジオのオクターブレンジを設定します。KOMPLETE KONTROL キーボードでシーケンスの再生範囲となるオクターブを選択することができ、また、最高 8 オクターブ分までの再生幅を設定、コードやスケールの演奏域が行き届く範囲を設定します。

Type パラメーターでの設定内容によって、再生オクターブ範囲は押した鍵盤以上のオクターブ域 (*Up*) または以下(*Down*) そして上下 (*Up & Down*) となります。

[Octaves](#) セッティングには以下の値があります。

- 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8



OCTAVES パラメーターの設定値を確認するには、ノブ 6 をタップします。

### 14.6.2 OTHER Dynamic

次の OTHER パラメーター [Dynamic](#) は *Arp* モードのみで使用できます。Arp エディットモードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 7 にマッピングされます。この機能はインプットベロシティ設定機能で、例えば KOMPLETE KONTROL キーボードを押す、またはホストソフトウェアの MIDI 入力ノート値を [Dynamic](#) パラメーターで編集します。各ノートに対して値を適用できます。各ノートのベロシティ値は [Dynamic](#) パラメーター値での設定によって変化します。

[Dynamic](#) はドラッグコントロールで、設定値は 1.0% から 200.0% までです。



DYNAMIC パラメーターの設定値を確認するには、ノブ 7 をタップします。

### 14.6.3 OTHER Gate

3 番目の OTHER パラメーター [Gate](#) は *Arp* と *Note Repeat* モードの両方で使用できます。Arp エディットモードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 8 にマッピングされます。ここでシーケンスのノートレンジスを設定します。1% から 99% まで値を変更することでノートの長さが短くなります。101% から 200% まで値を変更することでノートの長さが長くなります。

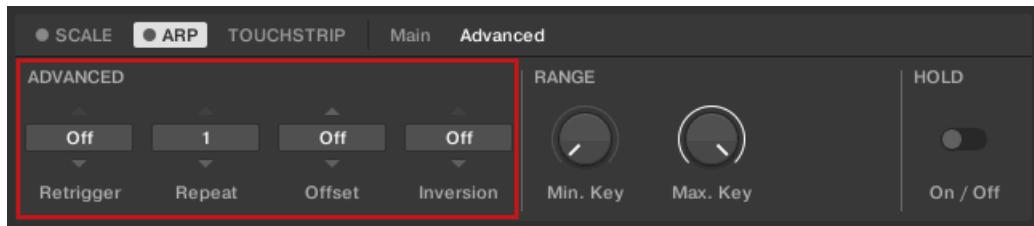
[Gate](#) はドラッグコントロールで、設定値は 1.0% から 200.0% までです。



GATE パラメーターの設定値を確認するには、ノブ 8 をタップします。

## 14.7 ADVANCED パラメーター

ADVANCED パラメーター Retrigger、Repeat、Offset、Inversion で気に入ったアルペジオのバージョンを作成することができます。



ADVANCED パラメーター Retrigger、Repeat、Offset、Inversion です。

### 14.7.1 ADVANCED Retrigger

最初の ADVANCED パラメーター Retrigger は Arp モードのみで使用できます。キーボードでは Arp Edit モードの PAGE 2 を選択すると、コントロールセクションのノブ 1 にマッピングされます。Retrigger でシーケンス内の音数とは関係なくアルペジオが最初の地点にいつ戻るか設定することができます。

以下はその例です。

- アルペジオが 5 つの音数で構成されている状態 (1 - 2 - 3 - 4 - 5) で Retrigger を 3 にするとアルペジオは 1 - 2 - 3 をリピートします。
- アルペジオが 5 つの音数で構成されている状態 (1 - 2 - 3 - 4 - 5) で Retrigger を 8 にするとアルペジオは 1 - 2 - 3 - 4 - 5 - 1 - 2 - 3 - とリピートします。

Sequence のその他のノートはステップとして扱われます。

- 例えばアルペジオの音数が 6 の場合、Sequence は 1 - 2 - 3 - 休符 - 4 - 5 - 6 - 休符 となり、Retrigger を 5 にすると、1 - 2 - 3 - 休符 - 4 - とリピート再生されます。

## 14.7.2 ADVANCED Repeat

次の ADVANCED パラメーター [Repeat](#) は Arp モードのみで使用できます。キーボードでは Arp Edit モードの PAGE 2 を選択すると、コントロールセクションのノブ 2 にマッピングされます。Repeat でアルペジオの各ノートがリピートされる回数を設定します。

以下はその例です。

- アルペジオが 3 つの音数で構成されている状態 (1 - 2 - 3) で Repeat を 3 にすると、アルペジオは 1 - 1 - 2 - 2 - 2 - 3 - 3 - 3 - と再生されます。

## 14.7.3 ADVANCED Offset

3 番目の ADVANCED パラメーター [Offset](#) は Arp モードのみで使用できます。キーボードでは Arp Edit モードの PAGE 3 を選択すると、コントロールセクションのノブ 2 にマッピングされます。Offset でアルペジオ順が移動するステップ数を設定します。

以下はその例です。

- アルペジオが 5 つの音数で構成されている状態 (1 - 2 - 3 - 4 - 5) で Offset を 0 にすると、アルペジオは 1 - 2 - 3 - 4 - 5 - と再生されます。
- アルペジオが 5 つの音数で構成されている状態 (1 - 2 - 3 - 4 - 5) で Offset を +1 にすると、アルペジオは 2 - 3 - 4 - 5 - 1 - と再生されます。
- アルペジオが 5 つの音数で構成されている状態 (1 - 2 - 3 - 4 - 5) で Offset を -1 にすると、アルペジオは 5 - 1 - 2 - 3 - 4 - と再生されます。

## 14.7.4 ADVANCED Inversion

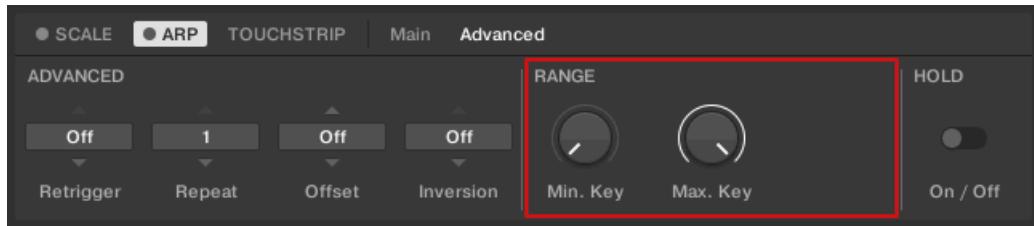
4 番目の ADVANCED パラメーター [Inversion](#) は Arp モードのみで使用できます。キーボードでは Arp Edit モードの PAGE 4 を選択すると、コントロールセクションのノブ 2 にマッピングされます。Inversion でアルペジオの順序が逆になります。

以下はその例です。

- アルペジオが 3 つの音数で構成されている状態 (1 - 2 - 3) で Type を Up にし、Inversion を 0 にすると、アルペジオは 1 - 2 - 3 と再生されます。
- アルペジオが 3 つの音数で構成されている状態 (1 - 2 - 3) で Type を Up にし、Inversion を 1 にすると、アルペジオは 1 - 2 - 3 - 2 - 3 - と再生されます。
- アルペジオが 3 つの音数で構成されている状態 (1 - 2 - 3) で Type を Up にし、Inversion を 2 にすると、アルペジオは 1 - 2 - 3 - (2 - 3 - 1 octave up) - (3 - 1 - 2 octave up) - と再生されます。

## 14.8 RANGE パラメーター

RANGE パラメーター [Min. Key](#) と [Max. Key](#) でアルペジオをトリガーするキーレンジを設定します。



RANGE パラメーター [Min. Key](#)、[Max. Key](#) です。

### 14.8.1 RANGE Min. Key

最初の RANGE パラメーターは [Min. Key](#) で、Arp モードのみで使用することができます。キーボードでは Arp Edit モードの PAGE 5 を選択すると、コントロールセクションのノブ 2 にマッピングされます。[Min. Key](#) で Arp シーケンスで使用できるノートの下限を設定します。



この設定を行っても [Min. Key](#) の設置値よりも下にある音程はアルペジオ再生されます。

### 14.8.2 RANGE Max. Key

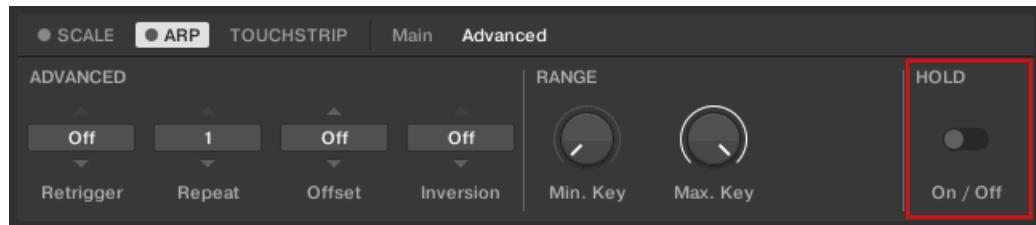
2 番目は RANGE パラメーター [Max. Key](#) で、Arp モードのみで使用できます。キーボードでは Arp Edit モードの PAGE 6 を選択すると、コントロールセクションのノブ 2 にマッピングされます。[Max. Key](#) で アルペジエーターシーケンスで使用できるノートの上限を設定します。



この設定を行っても [Max. Key](#) の設置値よりも上にある音程はアルペジオ再生されます。

## 14.9 HOLD パラメーター

HOLD パラメーター [On / Off](#) は *Arp* と *Note Repeat* モード両方で使用できます。キーボードでは Arp Edit モードの PAGE 8 を選択すると、コントロールセクションのノブ 2 にマッピングされます。HOLD 機能でアルペジエーターによるノート演奏をラッチ演奏します。On に設定すると、アルペジエーターはキーボードで押した鍵盤によるシーケンスを持続的に演奏します。



HOLD パラメーター [On / Off](#) です。

HOLD はスイッチコントロールで、[On / Off](#) *On* と *Off* のどちらかを選択できます。

1. HOLD が *On* の状態で他の鍵盤を押すと、新シーケンスが演奏されます。
2. アルペジエーターの再生をとめるには HOLD パラメーターを *Off* にします。



さらにキーボードの **PERFORM** セクションで **ARP (Edit)** を押すことでアルペジエーターを完全に停止することもできます。もう一度アルペジエーターのスイッチを入れると、HOLD が再び起動し、ラッチ演奏を続けることができます。

# 15 Touch Strips (タッチストリップ) の設定

このセクションでは Touch Strips の設定方法とその内容について解説します。

## 15.1 Touch Strip 設定項目へのアクセス

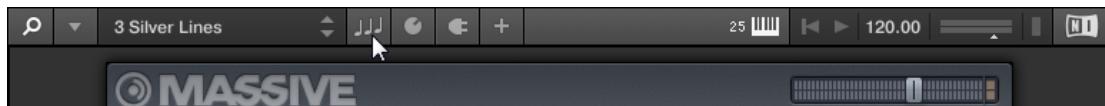
Touch Strips の性質を設定するには、KOMPLETE KONTROL ソフトウェアの Perform パネルを開く、またはキーボードの Control セクションから直接パラメーターにアクセスします。



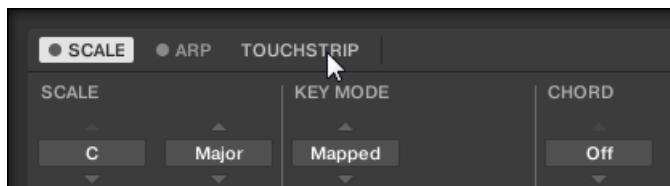
パフォームパネルの Touch Strip 設定項目には KOMPLETE KONTROL キーボードを接続することでアクセスできるようになります。

KOMPLETE KONTROL ソフトウェアでパフォームパネルを開きタッチストリップ設定画面を開く方法は以下となります。

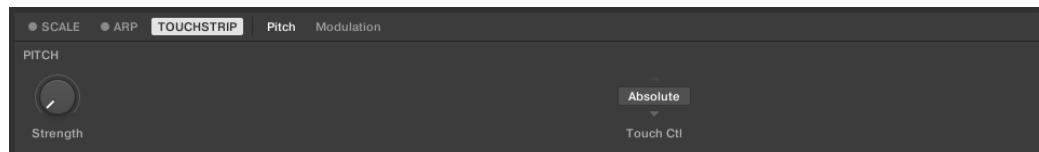
1. KOMPLETE KONTROL ヘッダのパフォームパネルボタンをクリックしてパフォームパネルを表示します。



2. TOUCHSTRIP をクリックしてタッチストリップセッティングを表示します。



⇒ パフォームパネルに Pitch Strip 用タッチストリップ設定項目が表示されます。



3. Modulation Strip 設定項目を表示するには Modulation をクリックします。

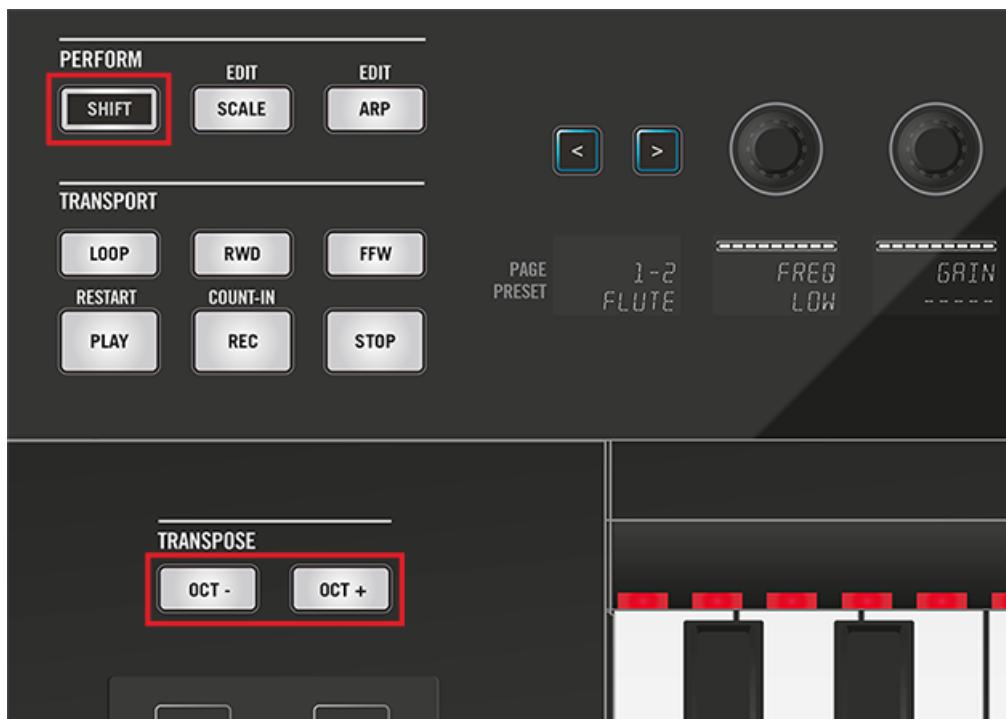
→ パフォームパネルに Modulation Strip 用タッチストリップ設定項目が表示されます。



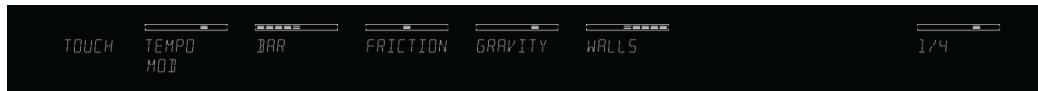
## キーボードから Touch Strip 設定項目にアクセスする

KOMPLETE KONTROL キーボードから Touch Strip 設定項目にアクセスする方法は以下となります。

1. Pitch Strip 設定項目にアクセスするには **SHIFT + OCT-** を押す、また Modulation Strip 設定項目にアクセスするには **SHIFT + OCT+** を押します。



- コントロールセクションに Touch Strip セッティング項目が表示され、ノブで編集することができるようになります。Modulation Strip のパラメーターセットは選択したモードによって内容が異なります。



2. Touch Strip 設定項目の表示を解除するには **SHIFT + OCT- / OCT+** を押します。

タッチストリップセッティングには KOMPLET KONTROL キーボードがスタンドアローンの場合、ハードウェアからアクセスすることも可能です。[↑7.3, スタンドアロン MIDI コントローラーとしてキーボードを使用する](#) を参照してください。

## 15.2 Pitch Strip (ピッチストリップ) の設定

KOMPLET KONTROL キーボードの Pitch Strip (左側の Touch Strip) では Absolute モード、または Relative モードのどちらかを選択します。各モードの解説は以下にあります。

### Absolute モード (デフォルト)

Pitch Strip は、通常のピッチベンドコントロールと同様に機能します。このモードを Absolute (アブソルート) といいます。Pitch Strip の中心のデフォルト位置から離れた場合、値が瞬時にジャンプし反応します。Pitch Strip 上に指を置くと、値が瞬時にその値へと移動し、指を置いている間はその値が保たれます。指を放すと値がデフォルト値に戻ります。

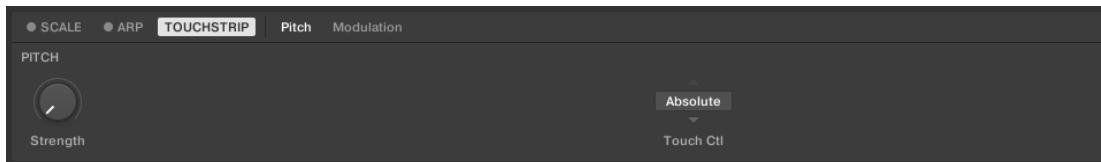
### リレティブ (Relative) モード

Pitch Strip は Relative (リレティブ) モードにすることも可能です。これでパラメーターはピッチストリップ上の指の動きに反応するようになります。リレティブモード使用時に現在の値はピッチストリップのどこに指を置いても値を維持します。値を変えるにはミュージションストリップ上で指を上下に動かします。これで突然値が変化しないようにピッチストリップに指を置く場所を気にすることなく、パラメーター操作を行うことができるようになります。

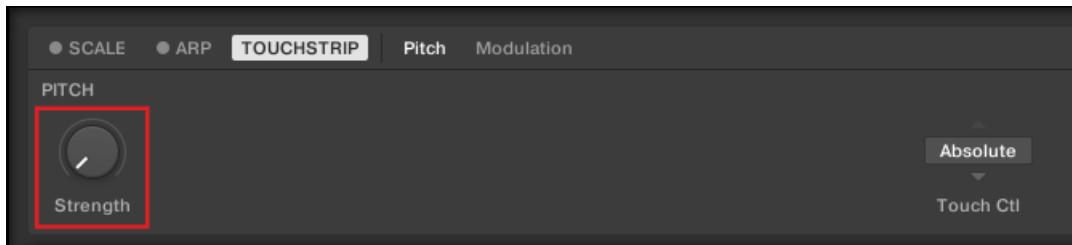
#### 15.2.1 アブソルートモードの調節

値がデフォルト位置まで戻るまでのレートを設定します。

1. Touch Strip 設定項目で Pitch ページを選択します。



2. Strength で値が元に戻るまでのレートを設定します。



→ Strength 設定を高くすると、値が元に戻る速さが早くなります。

## ハードウェアでアブソルートモードを調節する

キーボードから Strength 設定にアクセスすることもできます。

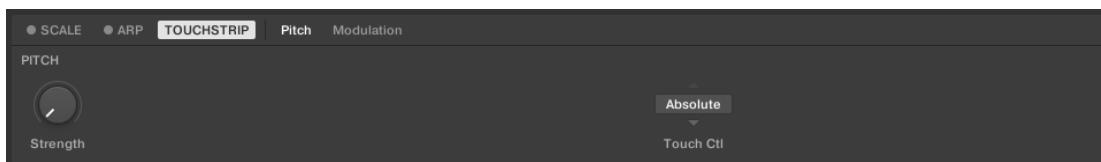
1. SHIFT + OCT- を押してコントロールセクションに Pitch Strip パラメーターを表示、編集します。
2. ノブ 1 を回して STRENGTH パラメーターを調節します。



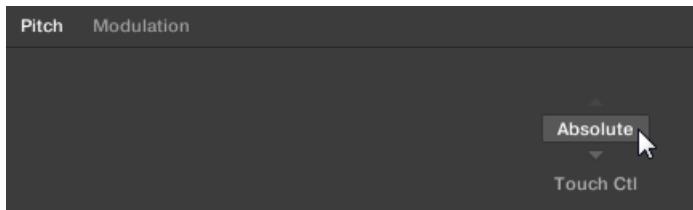
## 15.2.2 リレティブモードの起動

ピッチストリップのリレティブを起動する方法は以下です。

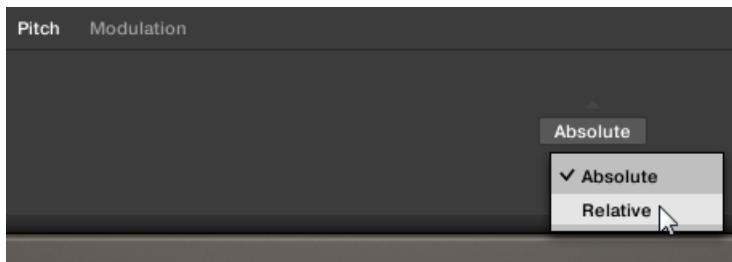
1. タッチストリップ設定項目の Pitch ページに進みます。



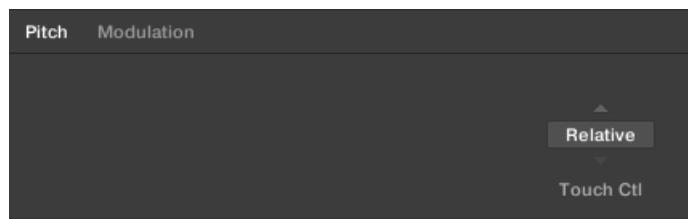
2. Touch Ctl メニューをクリックします(デフォルトは Absolute です)。



3. ドロップダウンリストで Relative エントリーをクリックします。



→ これでリレティブモードが起動します。



### ハードウェアで Relative モードに切り替える

キーボードでリレティブモードに切り替えることも可能ですが。

1. SHIFT + OCT- を押してコントロールセクションに Pitch Strip パラメーターを表示、編集します。
2. ノブ 9 を回して RELATIVE モードに切り替えます。

## 15.3 Modulation Strip (モジュレーションストリップ) の設定

KOMPLETE KONTROL キーボードのタッチストリップは多機能モジュレーションコントロールで、Modulation Strip の各モードをそれぞれ設定することができます。

### 15.3.1 Modulation Strip モード

この Modulation Strip には5つのモードがあり、各モードで独自のコントロール性質を持っています。各モードの専用パラメーターセットで Modulation Strip の性質を任意の状態に設定することができます。全 Modulation Strip の各モードと、各パラメーターは以下で解説しています。

#### Standard Mode

これは KOMPLETE KONTROL キーボードのモジュレーションストリップのデフォルトモードで、モジュレーションコントロールの通常操作に対応します。このモードで Touch Strip は指の位置を認識し、アサインしてあるインストゥルメントパラメーターに値を適用します。ストリップ上に指を置くと、値が瞬時にその値へと移動、その値が保たれます。この性質をアブソルートといいます (Standard はリレティブにすることも可能です)。Standard モードではモジュレーションストリップ用に以下の追加設定項目があります。

- [Display](#) メニュー: ここでモジュレーションストリップの状態表示方法を選択します。選択肢は *Bar* または *Dot* です。*Bar* でストリップのデフォルト位置から LED が表示を始め、現在の値を表示 (レベルメーターに似ています)、*Dot* では現在の値のみを LED で表示します。
- [Touch Ctl](#) メニュー: ここで *Absolute* (デフォルト)、または *Relative* を選択します。リレティブ使用時に現在の値はピッヂストリップのどこに指を置いても値を維持します。値を変えるにはモジュレーションストリップ上で指を上下に動かします。

#### Spring Mode

このモードで Modulation Strip の中心のデフォルト位置から離れた場合、値が瞬時に (ばねのように) ジャンプし反応します。ばねの現在の位置 (パラメーター値のことです) は青 LED で表示されます。ストリップ上に指を置くと、値が瞬時にその値へと移動し、指を置いている間はその値が保たれます。指を放すと値がデフォルト値に戻ります。この性質をアブソルートといいます (Standard はリレティブにすることも可能です)。このモードは Pitch Strip の性質と同じです。Spring モードではモジュレーションストリップ用に以下の追加設定項目があります。

- [Display](#) メニュー: ここでモジュレーションストリップの状態表示方法を選択します。選択肢は *Bar* または *Dot* です。*Bar* でストリップのデフォルト位置から LED が表示を始め、現在の値を表示 (レベルメーターに似ています)、*Dot* では現在の値のみを LED で表示します。
- [Strength](#): ばねがデフォルト位置まで戻るまでのレートを設定します。[Strength](#) 設定を高くすると、値が元に戻る速さが早くなります。
- [Touch Ctl](#) メニュー: ここで *Absolute* (デフォルト)、または *Relative* を選択します。リレティブ使用時に現在の値はピッヂストリップのどこに指を置いても値を維持します。値を変えるにはモジュレーションストリップ上で指を上下に動かします。

## Ball Mode

このモードで指に対してボールが吸い付くような動きで値が反応します。ボールの現在の位置(パラメーター値のことです)は青LEDで表示されます。ストリップの特定の場所に指を置くと、現在値から指の方向に向かって値が移動し、指の位置で値が止まります。値がたどり着く前に指を放すと、値はモジュレーション上を一定の間移動し、その後速度が落ち停止します。更に、現在値に指を置き、どちらかの方向にその値をドラッグして指を放すことで、値を滑らせることが可能です。指の移動速度によって値の移動速度が速くなります。Ballモードではモジュレーションストリップ用に以下の追加設定項目があります。

- **Display** メニュー: ここでモジュレーションストリップの状態表示方法を選択します。選択肢は *Bar* または *Dot* です。*Bar* でストリップのデフォルト位置から LED が表示を始め、現在の値を表示(レベルメーターに似ています)、*Dot* では現在の値のみを LED で表示します。
- **Friction** スライダー: 指を放したときの値の速度低下を調節します。**Friction** 値が高いほど、値が止まるまでの速度が速くなります。一番左に設定すると、値は止まらなくなります。一番右に設定すると、値がすぐ止まるようになります。
- **Gravity** スライダー: 指が値をひきつける度合いを調節します。**Gravity** 値が高いほど、値の移動速度が速くなります。このパラメーターは値を滑らせる場合の度合いには影響しません(上記参照)。
- **Walls** ボタン: レンジ幅の限界に到達した場合の値の反応を設定します。**Walls** をオンにすると、値が限界値で跳ね返るようになります。**Walls** をオフにすると、値が反対の限界値に移動し、同じ方向に移動します。

## Tempo Mode

Ballモードと同様に、Tempoモードはボールが指に吸い付くように値が反応します。ボールの現在の位置(パラメーター値のことです)は青LEDで表示されます。Ballモードと同様に操作することが可能ですが(上記)、この場合ボールはテンポにあわせて移動します。これにより、モジュレーションストリップでテンポと同期するモジュレーション制御を行うことができます。KOMPLETE KONTROLをプラグインモードで使用している場合、テンポはホストで設定します。スタンドアローンのKOMPLETE KONTROLを使用している場合、ソフトウェアインターフェイスのヘッダーでテンポを設定します。Ballモードではモジュレーションストリップ用に以下の追加設定項目があります。

- **Display** メニュー: ここでモジュレーションストリップの状態表示方法を選択します。選択肢は *Bar* または *Dot* です。*Bar* でストリップのデフォルト位置から LED が表示を始め、現在の値を表示(レベルメーターに似ています)、*Dot* では現在の値のみを LED で表示します。
- **Rate** メニュー: 13のビートシグニチャーのうちの一つを選択し、ビートにあわせたボールの移動に、ここでの値を採用します。選択肢は *1/8* から *4/1* で、三拍子や付点も使用できます。

- **Friction** スライダー: ボールの動きがテンポに同調するまでのレートを設定します。Friction 値を高くすると、Rate メニューで設定したビートにボールが同期する速度が速くなります。右いっぱいにすると、ボールはすぐにテンポに同調するようになります。
- **Gravity** スライダー: 指が値をひきつける度合いを調節します。Gravity 値が高いほど、値の移動速度が速くなります。このパラメーターは値を滑らせる場合の度合いには影響しません（上記参照）。
- **Walls** ボタン: レンジ幅の限界に到達した場合の値の反応を設定します。Walls をオンにすると、値が限界値で跳ね返るようになります。Walls をオフにすると、値が反対の限界値に移動し、同じ方向に移動します。

### Stepped Mode

**Stepped:** このモードで Modulation Strip が 2 から 5 つのセクションに分割され、白 LED で表示されます。指で押すと、2 つから 5 つの場所に均等に割り当てられた各セクションの値が適用されます。現在有効なセクション (パラメーター値) は 3 つの青 LED で表示されます。Stepped モードではモジュレーションストリップ用に以下の追加設定項目があります。

- **Divisions** メニュー: モジュレーションストリップのセクション分割数を設定します。

### 15.3.2 Modulation Strip モードの選択と編集

KOMPLETE KONTROL ソフトウェアで Modulation Strip のモードを選択し、以下のパラメーター内容を編集することができます。

1. Touch Strip 設定項目の **Modulation** ページです。

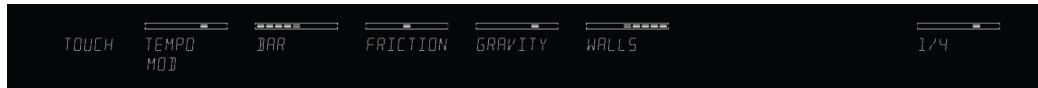


2. Modulation Strip 用 **Mode** を選択します。
3. Touch Strip 設定項目の **Modulation** ページの各モードの追加パラメーターを編集します。

### ハードウェアで Modulation Strip モードを選択、編集する

Mode を選択し、キーボードの追加パラメーターを編集します。

1. **SHIFT + OCT+** を押してコントロールセクションに Modulation Strip パラメーターを表示、編集します。
2. ノブ 1 を回し、モードを選択します。  
→ 各モードの追加パラメーターがコントロールセクションの他のノブにマッピングされます。



3. 各ノブを使用して各パラメーターを編集します。

# 索引

## A

### Accessibility (ユーザー補助)

機能概要 [15]

Training Mode [15]

### ユーザー補助 [13]

キーボード概要 [13]

### ユーザー補助機能

Activate Speech Output [14]

### ARP (EDIT) ボタン [43]

### ARP ページ [44]

### Arpeggiator

Rhythm [167]

Sequence [167]

### Arpeggiator Mode

Note Repeat [165]

### Arpeggiator シーケンス [143]

### アルペジエーターシーケンス [164]

### アルペジエーター [164]

advanced パラメーター [170]

Dynamic [169]

編集 [164]

Gate [169]

Groove [168]

Hold [173]

Inversion [171]

Main [165]

Main Mode [165]

Main Type [165]

Max. Key [172]

Min. Key [172]

note value [166]

Octaves [169]

Offset [171]

Other [168]

シーケンスの演奏 [163]

Range [169] [172]

rate [166]

Repeat [171]

Retrigger [170]

リズム [166]

サステインペダルコントロール [163]

Swing [168]

tempo [166]

Velocity [169]

### ASIO ドライバ [58]

### オーディオドライバ(選択) [57]

### オーディオインターフェイス

選択とアウトプット [56]

設定 [56]

### プリセットファイルのオーディション [109]

### 自動アサインされるコントロール部 [138]

**B**

- BACK ボタン [45]
- BROWSE ボタン [45]
- ブラウズモード [86]
- ブラウズモード
  - ハードウェア [86]
  - オンスクリーンオーバーレイ [86]
- ブラウザ [27]
  - Files ペイン [33]
  - ディスプレイの表示内容 [35]
  - ディスプレイ上 [35]
  - Library ペイン [29]
  - プリセットファイルのロード [89]
  - On-Screen Overlay [110]
  - プロダクトセレクター [31]
  - 表示と非表示 [89]
- Browsing
  - Product types [86]

**ブラウズ**

- ファクトリー、またはユーザーコンテンツの選択 [90]
- プリセットファイルの情報の表示 [108]
- バンクによる絞り込み [95]
- TYPES と MODES による絞り込み [100]
- インストゥルメントによるプリセットファイルの絞り込み [91]
- テキストサーチの実行 [108]
- セレクションのリセット [97]
- TYPES と MODES タグフィルター [98]

**C**

- コードモード [156]
- コードポジション [160]
- Chord タイプ [158]
  - Chromatic Scale [160]
- Chords
  - コードの編集 [146]
  - 生成 [160]
  - コード演奏 [145]
- コード [143]
  - コードセット [156]
  - 生成 [156] [158]
  - ハーモナイザー [156]
- Chromatic Scale [160]
- コンテンツセレクター [30]
  - オンスクリーンオーバーレイ [111]
- Control encoder [45]
- Control セクション [43]
  - ページボタン [44]
- コントローラー設定 [69]
- インストゥルメントとエフェクトパラメーターのコントロール
  - 事前にマッピングが施されたインストゥルメントについて [138]
  - パラメーターの調節 [138]
  - パラメーターマッピングのカスタマイズ [139]
- インストゥルメントとエフェクトパラメーターの操作 [138]
- インストゥルメントパラメーターのコントロール
  - パラメーターページの切り替え [138]

**D****ディスプレイ**

Control セクション [44]

**Driver**

オーディオドライバの選択 [57]

**E****Effects** [113]**エフェクト**

バイパス [119]

配置を変える [118]

**ENTER ボタン** [45]**F****Favorites**

追加 [104]

表示 [105]

削除 [107]

Favorites の使用 [103]

**FFW ボタン** [42]**Files ペイン** [33]

リザルトリストの追加機能 [129]

Control バー [35]

Favorite バー [34]

IMPORT ボタン [35]

Information ボタン [35]

Location バー [34]

ファイル位置のナビゲート [130]

Recent Locations ボタン [35]

リザルトリスト [35]

Files ペインの使用 [128]

**H****Hardware ページ (Preferences)** [69]

アクセシビリティ機能用ボリューム [70]

Browse モード [70]

アクセシビリティ機能を有効にする [70]

Light Guide [70]

Velocity Scaling [70]

**ヘッダ**

Browser [28]

CPU メーター [29]

Keyboard ボタン [28]

Main メニュー [28]

Master ボリュームコントロール [29]

NI ロゴ [29]

パフォームパネルボタン [28]

Plug プラグインチェーンパネルボタン [28]

プラグインパネルボタン [28]

プリセットディスプレイ [28]

テンポコントロール [29]

トランスポートコントロール [29]

View ボタン [28]

**ホストオートメーション** [74]**ホストコントロール** [41]**ホスト統合** [23]

ホストの設定 [24]

Ableton Live との連携 [82]

Apple GarageBand との連動 [81]

Apple Logic Pro X との連動 [81]

MASCHINE との連動 [78]

Steinberg Cubase/Nuendo との連携 [83]

設定 [23]

サポートホスト [23] [78]

**高次連動** [78]**ホストトランSPORTコントロール** [41]

## I

**IMPORT ボタン** [137]

**KOMPLETE KONTROL** に互換性があるユーザ

ーファイルをインポートする [136]

**INSTANCE ボタン** [45] [75]

**インスタンス**

自動切換え [52]

切り替え [52]

**Instrument Views** [48]

Additional View [49]

Default View [49]

Edit View [51]

## K

**key switch** [44]

**Key velocity** [69]

**Keyboard 概要**

Control セクション [41]

キーベッド [41]

Light Guide [41]

NAVIGATE セクション [41]

タッチストリップ [41]

TRANSPORT セクション [41]

**キー ボード概要** [40]

PERFORM [40]

**キー ボード**

コントロール [40]

LED [46]

**ノブ**

Control セクション [44]

**KOMPLETE KONTROL**

主要機能 [18]

**KOMPLETE KONTROL**

ワークフロー [18]

## L

**Latency** [58]

**LED**

キーベッド [46]

Light Guide [46]

**Libraray ペイン**

EDIT ボタン [31]

Information ボタン [31]

**Library ペイン** [29]

コンテンツセレクター [30]

コントロールバー [31]

Favorites [31]

Library [30]

MODEs フィルター [31]

試聴コントロール [31]

プロダクトセレクター [30] [31]

Product Type アイコン [30] [111]

リザルトリスト [31]

サーチフィールド [31]

TYPES フィルター [30]

**ライブラリ** [87]

KOMPLETE KONTROL キーボードを用いた

ブラウズ [86]

オンスクリーンオーバーレイを用いたブラウズ  
[86]

自身のファイルのインポート [136]

管理 [122]

プリセットファイル [122]

タグ [87]

**Light Guide** [46]

LED [46]

デフォルトの状態でプラグインをロードする [70]

**Location バー**

ファイル位置のナビゲート [130]

**Locations バー**

- お気に入りへのファイル追加/削除 [132]
  - Favorite フォルダへのジャンプ [131]
  - 現在のファイルの場所へのナビゲート [131]
- LOOP ボタン [42]**

**M****Master Volume**

- ソフトウェアでの調節 [55]

**Master ボリュームコントロール [29]****MIDI**

- オートメーション [74]
- 設定 [58]
- 外部機器の接続 [26]
- MIDI アプリケーション/機器の制御 [73]
- パラメーターのコントロール [74]
- MIDI 入力 [73]
- MIDI コミュニケーション [73]
- MIDI 送信 [73]
- MIDI クロックの受信 [73]
- 加工した MIDI ノートのルーティングと録音 [73]
- MIDI インストゥルメントのトリガーと MIDI ノートの録音 [73]

**MIDI モード [75]**

- MIDI アサイン [76]
- MIDI モードへの切り替え [76]

**MODES フィルター [31]****MODES フィルター**

- オンスクリーンオーバーレイ [111]

**Modulation Strip [178]**

- Spring モード [179]
- Tempo モード [180]

**Stepped**

- Modulation Strip [181]

**音楽理論**

- Arpeggiator シーケンス [143]
- コード [143]
- スケール [142]

**N**

**Native Kontrol Standard** [133]

**Navigate 矢印** [45]

**Navigate セクション**

BACK ボタン [45]

BROWSE ボタン [45]

Control encoder [45]

ENTER 矢印 [45]

INSTANCE ボタン [45]

Navigate 矢印 [45]

**NKS**

NKS サポート KONTAKT /REAKTOR インス

トゥルメントをインストールする [134]

NKS インストゥルメントのインストール  
[133]

NKS サポート VST プラグインのインストー  
ル [134]

**Note Repeat モード** [165]

**O**

**OCT- ボタン** [41]

**OCT+ ボタン** [41]

**On-Screen Overlay**

ブラウザ [110]

**P**

**ページボタン** [44]

ページのスキップ [44]

**PAGE ディスプレイ** [44]

**パラメーターページ** [44]

**ペダル**

エクスプレッションペダルの接続 [24]

サステインペダルの接続 [24]

サステインペダルの極性の設定 [25]

**Perform パネル**

Scale [142]

**パフォームパネル** [36]

概要 [36]

**PERFORM セクション** [42]

ARP (EDIT) ボタン [43]

SCALE (EDIT) ボタン [43]

SHIFT ボタン [43]

**Pitch Strip** [176]

**PLAY ボタン** [42]

**プラグインエリア** [39]

**Plug-in chain**

プラグインスロットの選択 [118]

**Plug-in チーンパネル** [38]

概要 [38]

**プラグインチーンパネル**

開く [113]

プラグインチーン [38]

プラグインスロット [38]

**プラグインチーン**

エフェクトのバイパス [119]

プラグインチーン [38]

プラグインスロット [38]

エフェクトの削除 [120]

エフェクトの配置を変える [118]

- スクロール [119]  
プラグインパネル [37]  
Edit モード [139]  
概要 [37]  
プラグインスロット [38]  
**プラグイン**  
デフォルトの状態でプラグインをロードする [70]  
**Preferences** [55]  
Audio ページ [56]  
General ページ [60]  
Hardware ページ [69]  
Library ページ [61]  
MIDI ページ [58]  
Plug-ins ページ [65]  
Usage Data Tracking [60]  
**Audio と MIDI の設定**  
オーディオルーティング [56]  
**プリセットファイルの試聴** [109]  
事前にマッピングが施されたインストゥルメント  
に [138]  
**PRESET ボタン** [45]  
**PRESET ディスプレイ** [44]  
**プリセットファイル**  
ユーザープリセットファイルの削除 [124]  
見つける [87]  
管理 [122]  
管理 [87]  
ライブラリへの保存 [122]  
ユーザープリセットファイルの保存 [122]  
**Product セレクター**  
Product セレクターへッダ [32]  
**プロダクトセレクター** [30] [31]  
Category/Vendor セレクター [32]
- オンスクリーンオーバーレイ [111]  
プロダクトリスト [32]  
**Product types**  
Instrument and Effect [86]

## R

- REC (COUNT-IN) ボタン [42]  
エフェクトの削除 [120]  
エフェクトの配置を変える [118]  
**クロックのリセット**  
キーボード [54]  
ソフトウェア [54]  
**リザルトリスト**  
オンスクリーンオーバーレイ [112]  
**リザルトリスト** [31]  
**Root Note** [147]  
**RWD ボタン** [42]

**S****選択**

サンプルレートの [57]

**Scale [142]**

Scale パラメーター [146]

コードポジション [160]

Chord タイプ [158]

スケールの編集 [146]

キーモード [154]

スケール演奏 [144]

**SCALE (EDIT) ボタン [43]****Scale エンジン [142]****スケールエンジン**

起動 [143]

**SCALE ページ [44]****Scale タイプ [147]**

Chromatic [160]

**Scales**

5-Tone [151]

Jazz [150]

Main [148]

Major [153]

Minor [153]

Modern [152]

Modes [149]

World [150]

**スケール [142]****スケール**

コードモード [156]

コード [156]

Root Note [147]

Scale タイプ [147]

スケール [147]

**検索**

プリセットファイル [87]

**Setting up**

キーボードをコンピューターに接続する [20]

**設定**

スタンドアロンアプリケーション [21]

**SHIFT ボタン [43]****ソフトウェア概要 [27]**

ブラウザ [27] [29]

ヘッダ [27] [28]

プラグインエリア [27]

プラグインエリア [39]

**サウンドカード**

アウトプットルーティング [56]

設定 [56]

**スタンドアロンアプリケーション**

設定 [21]

**スタンドアロンモード**

スタンドアロン MIDI コントローラーとしてキ

ーボードを使用する [76]

**STOP ボタン [42]**

インスタンスの切り替え [52]

**T****タグ**[カテゴリ \[87\]](#)[タグを使用したプリセットファイルの検索 \[87\]](#)**Tempo**[キー ボードでテンポを設定する \[55\]](#)[ソフトウェアでテンポを設定する \[54\]](#)**テキストサーチ [108]****Touch Strips [46]**[Absolute モード \[176\]](#)[設定項目にアクセスする \[174\]](#)[Modulation Strip \[178\]](#)[Pitch Strip \[176\]](#)[Preferences \[69\]](#)**Transport と Tempo コントロール [53]**[Play ボタン \[53\]](#)[Reset ボタン \[53\]](#)[Tempo コントロール \[53\]](#)**TRANSPORT セクション [41]****Transpose ボタン [41] [47]**[OCT- ボタン \[47\]](#)[OCT+ ボタン \[47\]](#)**TYPES と MODES**[同じレベルで複数のタグを選択する \[103\]](#)**TYPES フィルター [30]**[オンスクリーンオーバーレイ \[111\]](#)**U****Usage Data Tracking**[起動/起動解除 \[61\]](#)**ユーザー ライブ ライ**[フォルダの追加 \[64\]](#)[フォルダの削除 \[65\]](#)**ユーザー プリセット ファイル**[削除 \[124\]](#)[タグとプロパティーの編集 \[125\]](#)[保存 \[122\]](#)**スタンダード アロン MIDI コントローラーとしてキー ボードを使用する [76]****V****Velocity scaling [69]****ボリューム コントロール [29]****VST plug-ins**[ロード \[132\]](#)**VST プラグイン [66] [132]**[管理 \[66\]](#)